

浅野誠

日常生活

2010～2016

本書は、私のブログ「田舎暮らし・人生創造・浅野誠」（2013年2月まで）「沖縄南城・人生創造・浅野誠」（2013年2月以降）記事のなかから、「日常生活」「近隣」カテゴリに入るものを集め、掲載年月日順に並べたものである。

エッセイ風のもが多く「硬い」といわれることもある私のブログのなかでは、比較的「柔らかい」記事がほとんどだ。気楽にご覧ください。私なりの生活のありようについてのメッセージがにじみ出ているように思います。

2017年5月

目次

近況報告

2016年

p 7

PM2.5 卓球の新ワザ 庭作業 来客 暇?忙?	12月15日
吃音キャンプ 卒業生との出会い 親戚の伊志嶺兄弟優勝 スーパームーン	11月16日
世界のウチナーンチュ大会 正子・ロビンズ・サマーズさんの絵	11月5日
迷い犬 グッピー三世代家族に 娘からのプレゼント 南城祭 卓球 高齢受給者証	10月26日
60代最後の日 この頃の私	10月11日
風邪ひき 学生訪問 授業準備 近隣に宿泊施設増える	9月26日
十五夜行事 字常会 シュガーホール 書棚崩壊と復旧作業	9月21日
保育園運動会見学 整理ストレッチ	9月11日
孫たち 高齢者講習 歯の治療	8月13日
乱読の楽しみ	8月5日
研究会・会議 グッピー出産 ウィンドウズ10 近隣の新築工事	7月14日
猫嫌いの私が猫と付き合い始めた	6月30日
プリンター修理交換 知念利津子リサイタル 体力低下	5月17日
いろいろと	5月5日
雨の浜下りの日 来客とのユンタク	4月10日
新年度の私の仕事 授業・諸委員会・研究など	4月09日
卓球 沖展 PM2.5	3月30日
出会い 暇人レベルが下がってきた	2月20日

2015年

p 26

PM2.5 不発弾処理 パイプつまり テレビに映る サガリバナ カニステル 年末の話題	12月31日
PM2.5の来襲	12月17日
繁忙のトンネルを抜ける 忘年会 字共同作業	12月8日
南城の集落の暮らしの話を聞く 聖地での服装	10月22日
ネズミ カラス 歯肉のはれ 中高年卒業生との出会い 60代は残り一年	10月13日
学童クラブ 英語演劇 川平朝申研究と美術 九州教育学会打合せ	10月6日
シルバーウィーク 来客 那覇の卓球大会 南城青年芸能祭	9月23日
時間的ゆとり 体調 卓球 家電取り扱い	9月19日
いろいろな出会い	8月24日
HP掲載ファイルの製本 ベランダで鳩の交尾 アロマ・ハーブの会	8月19日

甕がこわれメダカ全滅 サボテン大木が根元から折れる 台風被害	7月10日
来客からいただいた沢山の土産菓子で体重増のこのごろ	7月03日
大量のカニステルの赤ちゃん	6月22日
決断! 補聴器	5月20日
ネパール大地震	5月7日
ちょっぴり忙しくなってきた	4月29日
研究の仕事 出会い 行事	2月27日
八重瀬岳の花見 猿人の湯 カラオケ 来客 鼻うがい	1月31日
今年の正月 訪問者 新しいラクラクホン	1月6日

2014年

p 44

夜明け前の散策 ハブ 猫 犬 いろいろな出会い	12月24日
長引く「痰との格闘」 リッターあたり29キロ余の燃費 読書など	12月16日
1ドル120円は喜べるどころの話ではない 生活破綻をおそれる	12月8日
与那原・具志頭散策 久しぶりの風邪	12月5日
奥武島いまいゆ市場 南風原文化センター 太陽光発電一年	11月2日
自動車の買い替え	10月30日
近隣の人に作ってもらった作務衣など ラージボール卓球大会	10月3日
後期授業準備 論文執筆 人生計画など	9月15日
玉城・南城生活満10年	9月10日
我が家の夕陽さえぎり役の千年木	9月8日
生活指導学会終わる 南城市議会選挙 海岸清掃 竜巻	9月2日
南城卓球60代優勝 訪問者のシーズン	8月25日
孫たち イノーで遊ぶ	8月13日
気分と身体の洗濯 NHK 真打競演 マッサージ 人間ドック	7月28日
家電製品操作に振り回される 認知症病棟訪問	7月23日
台風の後片付け	7月18日
台風襲来 訪問した海外からの家族の初体験	7月10日
補聴器 原稿書き	6月29日
規格外の超高級ゴーヤいただく ゴキブリがボイラーをストップさせる	6月4日
歯 卓球 再び忙しくなったこのごろ	5月31日
テレビに映る 臨終の夢 前歯が折れる 日程間違い	4月27日
医師が人間に還る 「神様のカルテNo.2」 数年ぶりの映画鑑賞	4月3日
新年度スタート 消費税8% 今年の担当授業 散策・ウミガメ	4月2日
沖展鑑賞	3月29日
外階段完成 マッサージ 床屋 朝早い目覚め	3月13日
尚巴志円卓会議 磯崎主佳展&大池功コンサート ラージボール卓球大会	3月3日
コンピュータ入れ替えとスケジュールが込み合うこのごろ	3月2日

散歩の長距離化 体調良し 猫 本の買い出し 1月29日
 初日の出 潮花御嶽 濱川御嶽 受水走水 ジュンク堂で本買い出し 1月1日

2013年

p 70

メダカはたくさん産卵するが、親が卵・幼魚を食べるので、育てるのは難しい 12月13日
 久しぶりの風邪 クバ植え 12月8日
 新しい鍋での簡単料理 料理大会 近隣の宴会 教職員卓球 10月29日
 卓球 誕生日 孫からのみやげ 10月14日
 後期授業準備や研究作業ほか 9月27日
 光ファイバーへの乗換勧誘にどうしたらよいか 8月31日
 研究生活と「那覇オープン」卓球試合出場など 8月27日
 孫たちの海岸遊び 8月23日
 孫たちの恐竜づくり 夏休み工作教室 in イオンタウン南城大里 8月18日
 腰の変化 出会い 6月08日
 中山豊年祭 南城市学童連絡協議会総会 南城市卓球試合 いろいろとある日々 5月26日
 ハーブ企画 芸大大学院講師!! 他字補強メンバーとして卓球出場へ 5月14日
 「浅野誠」の同姓同名が多すぎて困る私 5月3日
 サンエー八重瀬シティのオープン スーパー戦争激烈 4月29日
 南城市民度、地元民度がぐんと高まる ハーブガーデン企画の話など 4月25日
 新年度スタート 沖縄大学特任教授から客員教授に戻る などなど 4月3日
 幼稚園生からのプレゼント ハブ取り網 2月26日
 仕事 家電修理 ハブ獲り 知り合いつながり 筋肉痛 2月14日
 古布から恵美子作った私の上着 2月12日
 満41年の結婚記念日に、沖縄国際洋蘭博覧会（於海洋博公園）を見る 2月7日
 タマグスク・糸数グスク・奥武島龍宮 正月風景 1月3日

2012年

p 87

池づくり 恵美子作弁当 泡盛購入 夕焼けと朝の月 12月30日
 繁忙を乗り切れそうになってきた 12月26日
 「私は富士山」 城北学童 識名散策 民政府跡 12月10日
 来年の担当授業科目調整 学童クラブ研究会での出会い 11月19日
 本購入減 授業の繁忙と体力 11月5日
 バス通勤 10月21日
 台風で落ちた枝葉の整理 週4コマ授業で忙しい 10月19日
 ドリーム・キャッチャー ドラゴンフルーツとクワンソーの花 10月10日
 授業準備と沖縄大学専任生活 オオジョロウグモ 9月28日
 繰り返し襲来する台風 我が家の光景 9月16日

仕事 バスでこられた訪問者 台風片付け など	8月31日
台風のなか、家族は天描画（点描画）に夢中	8月28日
息子家族の滞在 孫たち インコ 海岸遊び カレーづくり	8月27日
ワークショップシリーズNo.6作成 クーラー故障	8月20日
旅する仮面 新都心 人間ドック 我が花々	7月25日
二胡の鑑賞 卓球・発汗量・肩・体脂肪・体力	7月18日
古酒甕を飾りに 発酵雑草第二弾 カーナビ 我が家の話題	7月14日
梅雨明けとエメラルドグリーン的大海 来客ラッシュ 御嶽光景	6月25日
梅雨明け 慰霊の日 奥武島ハーリー 卒業生訪問	6月24日
『南城物語』公開 畑・庭 講演など	6月19日
このごろの私	5月31日
モズク取り イノー 名称不明の蝶	5月7日
授業 執筆 畑庭 身体 講演・ワークショップ	5月3日
孫たちの沖縄来訪 蟹 ブイアート	4月19日
孫たちの遊び 公園づくり ベーゴマ ドミノ倒し	4月6日
マンゴー花 ライチ花 シンジュサン 大型クレーン車の事故	3月21日
老眼鏡を買う	3月2日
年末から2月までの私	2月13日
子どもたち、孫たちから、結婚40周年祝いが届く	2月6日
2月5日結婚40周年記念日 何をしようかな	1月29日
生まれてはじめてジーパンを買う サチバルマヤー半額セール	1月22日
話題二つ プリンター修理 懸賞締切前に正解掲載への怒り	1月16日
訪問者 畑作業 原稿書き 忘新年会 体調	1月13日
ループタイ オジガール	1月6日
我が家の正月 花 私の料理 ムーチー 仕事部屋を飾る	1月1日

2011年

p121

日常と変わらない私の年末風景	12月31日
電子出版への挑戦 合唱練習	12月15日
仕事部屋の模様替え	10月7日
時差ぼけがなかなか直らない	9月21日
太陽光懐中電灯	8月29日
小さな盤で囲碁をしながら、久しぶりの親子対話	8月22日
孫物語	8月12~16日
ホテルが病院になると、なかなかいい。	7月16日
作家的生活？ 書斎派生活？ 沖縄教育論執筆最終段階	6月24日
床屋話	5月26~27日
ウチナーグチ学習	4月10日 5月2日

「我が家が売りに出ている」という風評？ 噂？	4月29日
本の買い出し	3月26日
このところの仕事	3月23日
大里南小学校跡地にジャスコ！ 私たち近辺のスーパー事情	2月18日
この1週間で使ったお金は、2450円	1月22日
家族 親子関係の新しいステージ 正月個人随想	1月10日

2010年

p 135

大島紬で飾った私の携帯電話	12月18日
月桃（さんにん）で染める	12月8日
5年ぶりに岩盤浴に入る	12月4日
久しぶりに忙しい	12月3日
20年前、35年前の古切手	11月13日
孫たちの大河づくりを見学	11月13日
家族——ブログ記事の振り返り・再発見	9月30日
衣食住——ブログ記事の振り返り・再発見	9月25日
孫たち帰る 加齢は子育ての体力・気力を低める	8月17日
3世代7人で絵を描く	8月16日
シーサー会話 一對のシーサーを使って	8月15日
お盆のお祈り	8月15日
手のひらにお手玉が何個載せられるかな	8月14日
踊る亀	8月13日

近況報告

2016年

PM2.5 卓球の新ワザ 庭作業 来客 暇?忙?

12月15日

寒くなると同時に、北から大量のPM2.5が運ばれてくる。それを浴びると、私の呼吸器は鋭く反応し、息苦しくなる。朝方、その症状が出て、目が覚めることがある。今年も、時々、そんな感じになる。

そこで、最近、恵美子が凝っているアロマエッセンスを使うことを思い立った。デフューザーで、呼吸器によいアロマを吸うのだ。結構気持ちがいい。10年以上前は、ろうそくで温めて発生させていたが、今回は電動式だ。いい香りとともに、呼吸器の調子が良くなるので、大変いい。

いずれにしても、天気情報では、PM2.5予報を見る日々だ。それ次第で屋外にいる時間をコントロールし、マスク着用の判断をする。

週2回の卓球練習は欠かさないが、新しいワザへのチャレンジを始めた。県民大会で60代の部に出たが、一勝もできない。これまでの私の実力の水準とは異なるから、やむを得ないが、なんとかならないものかと、実力者の若者から知恵をいただく。

「私の対戦相手は、私の変化をいやがるから、もっともっと曲げたらどうか」とアドバイス。私の変化は、通常にない変化だから、空振りさせることが多いが、その変化はフォアで打つ場合が中心だ。バックの時は、表ソフトを使用しているので、ナックル系の変化が中心だった。といっても、私の使うラバーは、表ソフトでも、回転がかかるものだから、横変化も加えたらどうかというのだ。

そこで左右の横変化を加えるということの練習。打ち方が多少異なるので、これまで使わなかった筋肉などを使うので、疲れが激しい。それでも効果が少し出始め、練習試合でも使い始めた。

1~2か月で使い物になるようにしたい。この年で、ワザへのチャレンジは、それなりに楽しい。

先月購入した剪定木のチップと堆肥を追加購入した。なかなかよさそうだからだ。前回の2倍の2立米だから、一か月くらいかけて、庭畑にばらまく。先週剪定したガジマルの枝葉も、通路にばらまいた。これで、庭畑の雰囲気もだいぶ変わっていく。

しばらく前に、今年は11月に来客が多いことを書いたが、その後も遠隔地からの家族の訪問を受けた。クリスマス前後にも、新たな家族の訪問予定だ。

12月は、何もスケジュールがはいっていないから、ラッキーと思っていたが、保育園の理事会とか、いろいろなことが舞い込んでくる。そんな季節なのだ。それでも、忘年会系統のものがないのが、ここ10年近くの特

微だが、今年も年末年始のその類の予定はゼロ。飲酒量激減の私、そして早寝の私には都合がいい。。

毎年この時期は、長男のことを思い出す。もう40年になり、満43歳になる。でも、私たちには3歳のイメージしかない。13日が命日で、19日が誕生日なのだが、それを夫婦そろって、逆に思いこんでいた。私たちのぼけを長男は笑っているかもしれない。

吃音キャンプ 卒業生との出会い 親戚の伊志嶺兄弟優勝 スーパームーン

11月16日

このごろの私のいくつかの話題

12日、石川少年の家で、沖縄吃音研究会主催の子どもと保護者のキャンプに参加。私は、遊び・語り合いを通して、子どもたちが相互につながり、豊かなコミュニケーションを築くワークショップを担当。

吃音に悩みながらも、それだけにつながり合うことを求める子どもたち（何人かの大人も含めて）相手に2時間。初対面者ばかりで、最初のうちは緊張があったが、最後には打ち溶けあい、話が弾んだ。小学生が中心だが、よくぞ2時間も集中して遊び語り合った。絶賛の拍手だ。

この企画をになった言語聴覚士・学校の言葉の教室の教師たちの奮闘は目覚ましい。沖りハの卒業生・学生たち、そして、ほぼ30年ぶりに出会った学校教師たち。再会も楽しい。

途中で帰ったが、最後までいた人たちのなかでは、異口同音に「来年からもしよう」という声が出たそうだ。そうだと思う。このキャンプをきっかけに、大きな成長変化が子どもたちのものになるだろう。

つきあっているうちに、私自身も10代20代と吃音で苦しんだことを思い出した。

早めに到着したので、小学5年生の男の子といっしょに石川岳に登った（写真は、山頂からの眺望）。30年前には、毎年のように、ここに来た。沖縄子ども学校を開いたからだ。施設は、最近、改築、というより全面的な新築になったようで、かつての面影はない。だけど、周囲の自然は変わらない。

翌13日の朝刊。卓球の沖縄県代表を決める大会で、親戚の伊志嶺兄弟優勝が、写真入りででかかど掲載されている。兄弟が小さい時から知っているだけにうれしい。小学生の時には、私にも勝てなかった兄だし、元気余った弟だが、今や沖縄を代表する選手。そして、全国レベルへと挑戦中。

私も、今週・来週と大きな試合がある。

13日には、卒業生夫妻が30年ぶりに、サプライズ訪問。50代後半となり、人生ストーリーに円熟さが出てくる時期だ。健康で明るいのがステキだ。すると、近隣の人と、三線でつながっていることが判明。さっそく、きてもらった。つながりは、回りまわって、さらにいろいろとつながっていく。





14日は、10数年間、毎年している眼の定期健診。異常はでていないが、年相応に白内障が少しずつでているようだ。

14日夜は、スーパームーン。写真に収める。

世界のウチナーンチュ大会 正子・ロビンズ・

サマーズさんの絵

11月05日

強い関心をもってきた世界のウチナーンチュ大会。

今回は、29日にセルラー・スタジアムの中心会場に出かけてみた。

とても明るく楽しい雰囲気。1999年にトロントで出かけた多文化フェスティバルに共通するものを感じた。実に多様なものが飛び交っている。と同時に、なぜか「懐かしさ」を感じさせる。

出会ったブースも多様だ。



- ・なんと琉球大学があった。出版した本のゼロ円セールがあった。分厚い本を3冊もいただいてしまった。
- ・佐喜眞義肢



のブース。名前は聞いていたが、実物に出会うのは始めてだ。

膝関節を補強する器具の体験紹介をしていた。いつかお世話になるかもしれない。こうした企業の奮闘ぶりは素敵だ。

- ・虫よけ服のブースでは、買ってしまった
- ・食物のテントも楽しい。ブラジル・アルゼンチン・トルコの食べ物を買って、昼食にした。

次に、沖縄タイムスで開かれている正子・ロビンズ・サマーズさんの展示を見に行く。彼女のキャリアについては、多くのニュースなどが流れているので、ここでは省く。

展示されている絵はショックを受けるほど強烈だ。ちょっと見には、そう感じずに、穏やかさ、美しさを中心の印象が多いかもしれない。私は、どう表現したらいいかわからないが、強烈に発するものを感じ、ドギマギするほどだった。とくに、最初の数枚がそうだった。花の絵でいうと、それらの花は動いて、踊っているように感じる。傷ついて、踊れない花もある。

そして、なぜか、それらのいくつかの絵の左上の箇所に、その強い刺激の発信源を感じてしまった。

タイムスビルの通り沿いの柱（ピラー）に、大型天描作品を飾っている大城清太さんに会った。若いエネルギー



一を溢れさせる時期を通り過ぎ、なにか成熟したものを感じる作品だし、本人にもそうしたものを感じてしまった。今後にますます期待したい。

このごろの私のいくつか
・30日の卓球大会 私たち相応の結果。年齢差50ほどの幅がある人の大会だ



が、真剣さのなかに楽しい雰囲気を感じる。

・長年つながってきた児童養護施設の子ども（今や若者）から、進路が決まったという手紙をもらった。着実に社会へと巣立っていく。今後を楽しみにしている。

迷い犬 グッピー三世代家族に 娘からのプレゼント 南城祭 卓球 高齢受給者

証

10月26日

このごろも、変化に富んだ日々で、楽しんでいる。

一週間ぐらい前から、見慣れない犬が周辺を歩いている。2～3度見かけた。ところが、21日午前には弱り切った姿で、中庭の隅に現れ、倒れ込むようにして、地面をおおっているポトスの上に寝そべった。生命の危険さえ感じるほどだった。どうしようか迷った末、沖縄県動物愛護センターに電話した。すると、地元の役所の犬猫担当に電話するように言われた。

市役所に電話して事情を話すと、すぐに来てくださった。私はでかけたので、恵美子が対応した。すぐに引き取られた。その犬は、人間に救われるのを待っていたような感じで、抵抗もせずに車に乗っていったらしい。

大の犬好きの私には、「もし飼うことができるなら」と思うことさえあった。



今年の6月初めに3つがい6匹でスタートしたグッピーだが、7月には2回に分けて6匹5匹を生んだ。その後、第一世代5匹は死んだ。老齢化していたようだ。

第二世代が成長して3か月たつと、成魚となり、うち2匹が妊娠した。それが20～22日にかけて7匹出産した。結局、現在

第一世代1匹、第二世代11匹、第三世代7匹、合計19匹が、元気に生活している。このままのペースでいくと、50匹に達する日は近いだろう。その時はどうすればいいのだろう。

娘から、誕生日プレゼントに机上の文具箱をもらった。木製で立派な彫り物がしてある。なかなか価値のありそうなものだ。子どもたちからプレゼントをもらうなどはあまりないことだ。大切にしていこう。



22日午後、南城祭に出かける。その前に、玉城体育館で開かれている文化協会の展示会を見る。私にとって印象的なのは盆栽だ。こんな植物も盆栽にできるのかと、感心する。でも自分でできるわけではない。南城祭では、旧知の方々何人かとの出会い、旧交を温める。地元の製品の紹介販売をしているコーナーも多い。「さし草」で奮闘している興儀さんにも出会う。(写真)

出店を見て回った後は、青年芸能祭をしばらく見る(写真は大城青年会のエイサー)
夕方戻り、夜は、花火鑑賞の絶好の場となる我が家屋上



で楽しむ。
なにしろ
直線距離
で1キロ
ぐらいの
ところだ。
(写真)



この頃、仲間とともに卓球試合に出ることが多い。充実した試合を楽しむことが多い。対戦、相手は、ほとんど年下だが。17日の試合では、大接戦でフルセット、10対8まで持ち込んだ。ところが、その後、相手が連続4本のエッジ、ネットインで得点して負けた。こんなことがあるものだ。いずれも拾いようがないところに落ちた。思い起こせば、かなり以前、7連続エッジ、ネットインで勝ったことがあった。勝負というのは、こんな運不運があるものだ。



数日前、郵便配達で新しい健康保険証がもたらされる。例年は年度末なのに、なぜだろうかと思ったら、70歳になった翌月に配達される「高齢受給者証」だった。負担金が3割から2割に軽減されるのだ。知っていたようだが、記憶からはすっかりとんでいた。

60代最後の日

10月11日

いよいよ今日が60代最後の日。大きなことはなにもないが、なにか区切りを越える感じはする。

最近の私は、ストレスがないわけではないが、入り組んでこじれるようなものは、以前に比べると激減した。だから、疲れも精神的なものが中心になるわけではなく、むしろ身体的なものが中心になってきた。その身体的疲れも、以前なら長引いたものが、1~2日で回復するようになってきた。というよりも、回復できるような運動に留めるといふ自己管理がうまくなったというべきだろうか。

精神的疲れの最大の一つは授業だ。充実するだけに、はまり込み過ぎて疲れるのだ。その授業も、琉球大学「特別活動の研究」では、今学期から30名定員にいただいたので、大助かりだ。60名定員だった前期までは、帰宅してぐったりだったが、先週金曜日の一回目の授業では、帰宅後の疲れは、前期の三分の二程度ほどになった。

70代を、そしてそれ以後も健康寿命といわれる範囲で健康な生活を送るために、うまく自己管理していくことが大切であることを実感しつつある。

このごろの話題いくつか

- ・台風の前夜、庭にホタルが久々に登場。嵐の夜のホタルの点滅もなかなか「おつ」なものだ。
- ・気温が下がり始め、昼間の散策ができるようになった。有り難い。
- ・散策の途中で、渡りの途中の燕が目立つようになった。
- ・「海の子どもたち」の観劇をする。役者さんのすごい動きに圧倒される。
- ・出会い 東京から10数年ぶりの来客あり。南城市の民俗でのインタビューで、以前にお会いした人や間接的な知人と出会う。この年齢になっても、出会いに新鮮さを感じるのが普通だ。
- ・久しぶりに夫婦で海外旅行をしようかと相談始める。自分たちで細かくプランをたて、飛行機宿泊施設をとるなどということが「おっくうに」なる年齢になってきた。そこでパック旅行に乗っかっての計画を考えるが、それなりに楽しい。
- ・最近、すぐ近くに若者家族が、家を新築して生活を始めた。子どもの声が聞こえると、なぜかうれしくなる。近所がにぎわうのは楽しいことだ。

風邪ひき 学生訪問 授業準備 近隣に宿泊施設増える

9月26日

9月に入って、台風が近づくようになってきたが、影響は小さい。どうやら、今年は沖縄本島は台風のはずれ年のようなようだ。台風は被害も大きいですが、雨をもたらしてくれるし、「山や海をきれいにしてくれる」という年配者発言もあるように、プラス効果もある。沖縄生活にとってプラスマイナスが共存しているのだ。

私にとっては、庭畑に雨をもたらしてくれる大切なものだ。強いのがくると、枝が折れたり、潮風で植物がやられるので、大変だが。

気候も、秋の気配を感じさせる。夜はそれなりに温度が下がる。それもあつたし、クーラーにあたると、私の身体が冷えて、風邪気味になりやすい。私のクーラー適温は、29~31度なのだ。車のクーラーはいつも31

度にしている。だから、外出して、28度以下の建物に入る時は、上着が必要だ。

どうやら、冷えが、私の風邪の原因になっていそうだ。先週も、久しぶりに風邪気味になった。一日寝込んだ。といっても発熱・咳・痰といった症状はない。

いよいよ前期から後期に移る時期になり、少しだが、それを感じる。

先日は、学生・大学院生・先生が、我が家を訪問して、いろいろと質問を浴びせる。私の研究にかかわることなので、楽しく返答した。久しぶりに話をした感じだ。脱線につぐ脱線だったが、楽しく聴いてもらえてうれしい。さらに、私の老前処理に協力して、本を何冊も持って行ってくださったことがいい。

10月からは、琉球大学「特別活動の研究」の授業が始まる。いつも通り、金曜日4,5限(2時40~5時50分)だ。教室は教育実践センター。毎年、現場教師・大学教員の参加があるが、今回も歓迎だ。参加したい人は、事前連絡してください。

余談だが、観光客増加と、田舎志向もあって、那覇などのホテルではなく、我が家周辺の民家やペンション・民宿に泊まる人が増加しているようだ。知り合いのペンションなどは予約を取るのが難しいとのことだ。

また、今は住んでいない住宅を宿泊用に貸す例も増えている。最近、隣家もそれを始めた。田舎の自然と集落に囲まれたところに泊まるのは、都会人にとっては、大変新鮮で刺激的なのだろう。

十五夜行事 字常会 シュガーホール 書棚崩壊と復旧作業

9月21日

この一週間ばかりの話

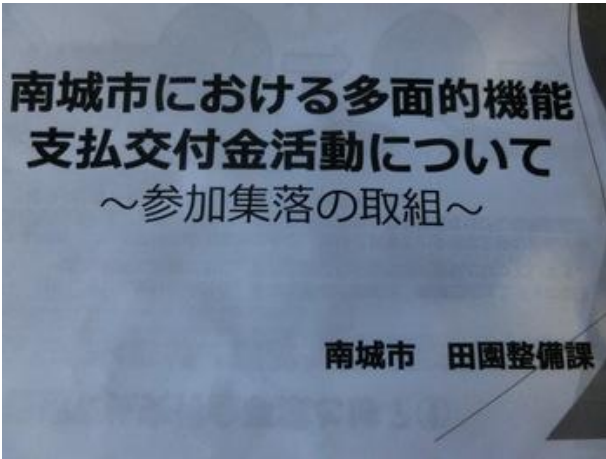
今月は、旧暦と新暦と日にちが同じになるという珍しい月。15日は旧暦8月15日の十五夜。字の回覧に区民の集まりを呼びかける一行発見。これまで一度も参加したことがない。南城市史の民俗編執筆のための作業を兼ねて参加。

4時30分に集落センターに集合した20名近くの50代60代を中心にした男性たちが、字の御願場所をまわる。腹(門中)の元家や字の中心的御願場所の5箇所。御願の後に、2本の旗頭でガーエーをする。

かつては女性の神役を先頭に、沢山の住民が参加したそうだ。いまでは、いわれなどを知る人を探すのが難しい。ここ30~40年で大きく変化したらしい。

翌16日は、字常会がある。「南城市における多面的機能支払交付金活動について」という、説明書の表紙を見ただけではわからない活動について、市の田園整備課による説明会だ。分かりやすく言うと、農業用水路周辺を字で清掃したりする活動への補助金だ。合わせて、中山区内を流れる水路の拡幅工事を準備中であることも報告された。



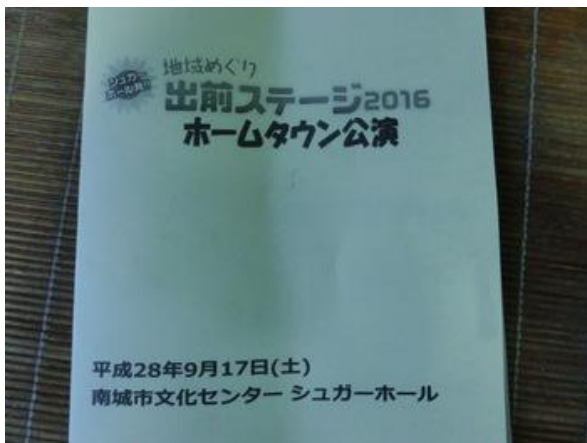


40年ぐらい前に、防衛庁資金で、水路工事がされたが、その後、たびたびあふれ出すなどの災難にあってきた。農業をしている人に聞くと、中山の上の丘にCIA基地があったところは、まだ木々が多かったが、ゴルフ場にかわって、木々が大幅に減少し、水量が大幅増加したということだ。海岸道路に水があふれるのは日常的だ。畑の冠水もたびたびだ。海岸への排水路がつまるのもよくあるどころか、詰まりっぱなしのものもある。住宅地で溢れる話も聞く。今回は、説明会で終わる。

18日は、区費の徴収日。中山の付き合いの日々が続いたが、これで一区切りだ。

17日は、シュガーホール「地域めぐり出前ステージ2016ホームタウン公演」を楽しむ。

シュガホールを拠点に活動する2つの合唱団の合唱、「おきたん有志会」による郷土芸能といったプログラム。身近な音楽芸能を、地元住民が発表しており、知った方も多く、とても身近に感じる企画だ。出前ステージ企画は、各地の公民館・高齢者施設・ショッピングモールなどで、数年以上続けられてきたものだが、それを本拠地のシュガーホールで開いたものだ。



水準は高い。小学校6年生のカウンターテナーには、聴衆が驚かされた。いずれの曲も、聴衆が馴染みやすいアレンジの連続だ。会場にも、知り合いが多かった。地元感覚あふれる公演だった。

大事件発生。老前整理で書棚の本を整理している時、棚が大音響とともに6段分「崩落」。本が落ちてくる。私の周りには落ちた本だらけ。幸いなことに、崩落したのは、2つの書棚だけ。

いろいろ調べると、書棚を垂直方向に支えている板が、本の重みでたわんでしまい、そのために棚板が外れたことがあることが判明。板が折れたとか、板と板との接合部が壊れたとかはない。

そこで、たわんだ板をロープで戻すことにする。書棚全体をロープでくくり、締め上げていって、見事に復旧させた。我ながら上出来だ。といっても、落ちた書籍を戻す作業にかなりの時間が必要だ。



「崩落」は全く想定外だ。書棚は12年前の我が家建築の時にあわせて、つくってもらったもので、全部で35ある。いずれにしても、書籍の老前処理の必要性を増々感じさせる出来事だった。



保育園運動会見学 整理ストレッチ

9月11日

9月はじめまでは、なにかとスケジュールがあったが、いまは一息ついている。南城市の観光コア施設委員会も無事終了した。しばし、南城市の委員会などもない。



そんな時、理事をしている近所のドングリ保育園の運動会があった。我が子の保育園運動会を見て以来だから、おそらく30年余りぶりの運動会見学だ。

子ども達の生き生きした動き・表情がいいだけでなく、親・祖父母も実に楽しそうだ。そして、保育士の皆さんの明るく活発な動きはすごい。この「田舎の良さ」が十二分に滲み出ている。近くの若い親子に会ったし、通園する孫を見に、中部から来た祖父母にも会う。実は二人とも、私の受講生。一人は、卒論生でもあった。40何年ぶりかの再会だった。みなさん、素敵なおじいおばあになっている。

もう一つの話。数日前から、右の腰回りに痛みに近い不快感が続く。原因がわからなかったが、突然気づいた。日曜日の卓球試合の後に、整理ストレッチをしないままだったことが原因ではないか、ということで、三日遅れのストレッチをした。すると、見事に直った。準備だけでなく整理のストレッチの大切さを痛感した次第だ。



孫たち 高齢者講習 歯の治療

8月13日

このところ、意外に雨量が多くて、畑庭は潤っている。台風はこないが、雷があちこちで落ちている。近くの天空の茶屋近辺に落ちて大変だったようだ。かつて我が家隣の森にも落ちてびっくりしたことがある。

いろいろなことが終わって、盆の季節だ。息子・孫たちが大挙してやってきて、我が家もにぎわっている。孫たちの背が伸びてびっくりしている。孫の背を見て息子にそっくりだ、といったら私にも似ているといわれてしまった。かれらも大人に近づき、思春期に入りつつある。仲のよい暖かい雰囲気があってよい。我が家にくるとリラックスモードに入るようだ。

テレビはオリンピックモードだ。スイッチを入れて、卓球をしている時は見る。うまいという以上に、すごいスピードとパワーだ。私の2~3倍以上のスピードと回転数だ。水谷に負けたベラルーシの選手は40歳だそうだ。よくやっている。

さて、いくつかの話題。

10日、免許証切り替えのための高齢者講習を自動車学校で受ける。70代前半の方々6名で、楽しく過ごす。最初は何があるのか、緊張気味だが、終われば誰もがホッとしている。免許を取ってから40~50年、いろいろなことがあった。車も変化した。自動車学校のコースを運転する。縁石に乗り上げさせ、すぐにブレーキを踏むとか、色々と変化に富んだコースの運転。

実技試験のような気持ちに久しぶりになる。

加齢に伴う衰えをチェックし、それを受け止めながら運転に当る心持を作らせるという狙いがあるようだ。私の場合、明るいところから暗いところへの反応がゆっくりのようだ。卓球をやっているから動体視力はいいだろうと思っていたが、そうでもないようだ。卓球と運転とは違うようだ。

それにしても、大きな問題もなく終わった。後は、免許センターで、視力検査と手続きだけで、20分程度で免許切替が終わるそうだ。

あと何年運転できるか、運転するか、70代半ばまではなんとかなりそうだが、その後はどうなるだろうか。久しぶりの自動車学校だが、我々以外は、20歳ぐらいの若者がほとんどだ。少子化の影響が出て、自動車学校の経営も大変なようだ。知人が経営する学校は閉じたようだ。その点では、高齢者講習は自動車学校にとって、重要な位置を占めて生きそうだ。少人数教育で、お茶も出していただいて、サービス満点だ。40、50年前とは大違いの雰囲気だ。

歯のかぶせ物がとれたので、歯医者に行く。かぶせたものが載っている歯の虫歯が進行しているの、虫歯治療をして、新しいかぶせものをするということだ。現在、自前の歯25本。80歳まで20本を維持したいが、現在微妙な歯が数本。大切にしていきたい。まもなく部分入れ歯も覚悟しなくてはならないようだ。

乱読の楽しみ

8月5日

このブログでの読後感想を書くことが減ったのは、他に書く記事が増えたあおりを受けたためだ。読書量が減ったわけではないし、読後感想を書きたい本が少なくなったわけではない。

相変わらず、月に10冊ぐらい読んでるので、私の頭への入力超過状態が続いている。少し読書量を減らそ

うと思っている。

今回は、この2か月足らずに読んだ本のなかのいくつかを紹介し、一行コメントしたい。

上原直彦「琉歌百景」ポーターインク2014年

琉歌を作ってみたいなという気持ちがある。その予習の意味を込めて読む。面白いが、どうやら私は琉歌をつくるには予習の大幅不足であることを思い知らせてくれた本だ。

西村昌彦「詳しいハブ対策」新星出版2014年

今年に入って、我が敷地のハブ取り網にはヒメハブ三匹がかかったが、その網導入のきっかけを作り、指導していただいたのが著者だ。ハブ地帯の我が家周辺では、重要なことだ。

小玉重夫編「教育の再定義」岩波書店2016年

タイトルの通り、教育・教育学の再定義を試みる注目すべき本だ。現在の教育学の最前線にいる著者たちの力作がそろっていて、興味深い提案を多く含んでいる。私なりの考えをまとめてコメントするには、長期の思考が必要なので、いつか文章化したく思う。

ウォード、カーシュヴィンク「生物はなぜ誕生したか」河出書房2016年

400ページを越す大作で、地球史・生物史の本格的叙述だ。私のような素人にも理解でき、興味がわくように書かれている。私にとっては、ほとんどが初めて知ることだ。最新研究の成果も盛り込まれている。



「宗教と現代がわかる本2016」平凡社2016年

「聖地・沖縄・戦争」が特集され、宗教を「現代」「沖縄」「聖地」「戦争」という角度から描いているので、とっても興味津々だ。大判で250ページで質・量ともに中味が濃い。

以上の他にも、何冊か興味深い本を読んでいる。さらに、焦点化したテーマについて読み、私の研究資料のなかに入れ込むものが、地域おこしや沖縄研究などで何冊もあるが、それは関連ブログ記事あるいは著作に反映させるつもりでいる。

毎年、7月中旬ぐらいまで、いろいろと多い。先週末には、何年も続いている川平朝申の研究会が我が家で行われる。多彩な情報が飛び交い、多様な意見交換があり、何度あっても、新鮮な印象を感じる。その研究会も、いよいよ最後の報告書作成の時期。私も小論「川平朝申と「沖縄的なもの」」というものを提出予定。その草稿を出して検討していただく。

南城市観光コア施設委員会が12日午後開かれる。このブログで連載している私の「学習ノート」も紹介する。終了後の懇親会も参加。昼も夜も、豊かな意見・アイデアが溢れ、しかもぎゅっとつまった論議で、私の頭はパンク状態に近くなる。

以下は、日常生活のこと。

6月中旬から飼っているグッピーが、もう赤ちゃんを産んだ。6匹誕生。元気よく成長。幼魚3ペアを買ってきたつもりだが、もう出産とは驚きだ。残念ながら、一匹の親のオスが亡くなる。

赤ちゃんを親が食べてしまう心配があるそうだが、現在のところは無事だ。もう次の出産に向けた行動をして



るので、7月のうちに第二次出産かもしれない。

写真には、親のグッピーの下の方の珊瑚の枝近くに、稚魚が一匹写っている。大きさは1センチ。生後一週間足らず。小さいから撮影はとても難しい。

「ウィンドウズ10を導入してください」の通知がうるさいほど、日常的にやってきた。8のままで行こうと思っていたが、私たちのコンピュータ顧問がそろそろ10に変え時かなと言われるので、移行した。

最初、インターネット接続が、使用していない非接続の旧アドレス経由に変わってしまって、困ってしまった。顧問にチェックしてもらった途端に、接続。不思議なものだ。もう一つ、ワード文書がすべてワードパッドになってしまう。これも、いともあっさりと修正してもらおう。

こんな風だから、コンピュータは顧問なしにはやっていけない。もう30年も使っているのに。

近隣に2組の若者たちが新築中。その工事も最終盤。8月には子ども達も含めて、新住民で賑わいそうだ。そんな時、知人の建設計画の相談が並行して進行している。私が散歩中に見つけた売地を紹介したら、すっかり気に入られて、話が進行中。

このあたり、田舎でそれほど新築が多い地域ではないが、40~50年間隔で建て替えられるとすると、40~50軒に一軒の比率で、毎年改築新築があるという計算になる。この近隣では、そんな計算より少しテンポ早く新築がある印象だ。

猫嫌いの私が猫と付き合い始めた 6月30日

私は、ひどい猫嫌いを続けてきた。物心つくころから、猫の目を見ると、怖さを感じた。私たちの子どもが赤ちゃんのころ、野良猫が子どもに危害を加えそうになった経験がそれに輪をかけた。

対照的に、私は、小さいころから犬好きだった。物心つくころから、犬を飼っていた。最初の犬の名が「しろ」だったことまで覚えている。当時の我が家の犬は番犬であるだけでなく、農繁期になると、重いものを運ぶリヤカーを引っ張る作業犬でもあった。成人してからも、犬を飼える条件があれば、すぐに犬を飼っていた。ここ10年余りは飼っていないが。

猫嫌いに変化があらわれたのは、つい最近だ。衛星放送で岩合光昭の猫映像を見始めてからだ。ちょっと気持ちが変わった。多くの人が猫好きなのがわかるような気持ちになった。

次の要因は、知人が猫はハブよけに有効だと繰り返し語ったことだ。我が敷地には、ヒメハブを中心にヘビ類が多い。猫は、ハブに出会うと勝つとのことだ。かりに咬まれても、人間ほどの一大事にはならないらしい。近所に住む方も、自宅に飼っている鶏を襲いにきたハブを猫が撃退したという話をなされた。

幸か不幸か、我が家周辺に野良猫が結構いる。飼い猫かもしれないが、歩きまわる猫がいる。ある時などは



我が家の床下で、数匹の子猫を出産した母猫がいたほどだ。

そんな野良猫が、我が家周辺で、ハブパトロールをしてくれたりなあ、と思いつく。通過ばかりしないで、少しばかり滞在して、ハブ対応してくれないか、と思いついた。

そこで、だいぶ前になるが、煮干しを通路においておいたら、なくなっていた。猫が食べたかどうかははっきりしないが。

最近、少し力を入れ猫フードを買ってきて、定期的に決めた場所に置くようにした。すると、たいていは食べてある。ということで、徐々に一日一回は食べていくようになった。時間も定時化していく。

一か月くらいして、食べるシーンを目撃した。クロネコだ。栄養不足のためか。ガリガリだ。与える餌はわずかだが、少し元気になっているように思う。

こうして、6月下旬になると、餌を与える場にした、私が仕事している部屋の前に滞在するようになった。網戸を隔てて2メートル足らず距離だ。最近では、数時間滞在して、餌を食べ、毛づくろいをし、眠ったりしている。私が近づくと逃げることはなくなる。しかし、必ず距離はとっているが。手から餌を与えようとしても、来

ない。餌を置いて、網戸を閉めると食べ始める。夜行性なのか、住みかかどこかにあるのか、夕方になると、どこともなく消えていく。

こんななかで、猫に感じる私の敵愾心は薄れてきつつある。そこで、「チュラマヤー」と名付けて、呼んでいるが、彼・彼女は呼び声に反応していない。

こんな具合である。今後どうなっていくのか。



プリンター修理交換 知念利津子リサイタル 体力低下 5月17日

このごろの私の話いくつか

5月はじめ、紙詰まりをきっかけにプリンターが動かなくなった。私は、眼が強くないので、コンピュータ画面を長く継続してみることはしない。その代りに、作成中文書をこまめにプリントして、それに赤ペンを入れてから、コンピュータ上の修正を行う形で作業をすすめている。だから、プリンターをととても愛用している。インクが高価なのが問題なのだが、それでも目の保護には代えられない。

加えて、ケチなので、紙は必ず両面を使う。それだけに紙詰まりを起しやすい。

ということで、故障したものを販売店に持参した。購入後2年足らずだ。連休中なので、5月25日まで待つといわれた。仕方なしに、画面に向き合う時間が長くなり、目の疲れが増す。時にはUSBを使って恵美子のプリンターで印刷したこともあった。

すると、連休明けに店から電話があり、交換部品を用意している製品ではないので、丸ごと交換になる。ただし、同一製品は製造していず、同じ系統の製品の機種となる。5年保証に入っているもので、差額の数百円の負担となるがいか、という趣旨だ。インクも変わるので、新しいものと取り換えるとのこと。買い置きのもも持参すれば交換するとのこと。

そして、25日を待たず14日には新製品を受け取った。ほとんど同じタイプで、インク以外の違いには気づいていない。印刷速度が少し早くなっただろうか。スキャナーの精度があがった。ひとまずほっとする。

今や、修理の時代ではなく、丸ごと交換の時代なのだ。しかも、精密製品なのに、7,8千円という安価だ。買い置きしていたインク代の方が高い感じさえする。大量生産大量消費の流れだ。何かむなしい気持ちになる。

ついでにコンピュータの話。ワープロ時代も含めてコンピュータと付き合い30年余りになる私だが、コンピュータ指導者がいつも近くにいる。いろいろと困ったときに世話してくれるので助かる。最近、クリックがうまくいかないで、年のせいかと思っていたが、相談してみると、マウスが古くなっていそうだとのこと。そして、未使用のまま時間がたっ新品をくださった。おまけに古い未使用のキーボードまでくださった。

こうして、何事もなかったかのように、私のコンピュータ・プリンターは元気で動いている。

繰り言はこのくらいにしよう。

15日午後、シュガーホールでの知念利津子さんのソプラノコンサートを聴く。12年前にシュガーホール新

人賞でグランプリを取った方だ。ドボルザークやプッチーニを歌う。

クラシックの世界とは縁遠かった私が、こうしてしばしばホールに通うようになったことは不思議なことだ。聴き手としてはまだ初心者の部類だが、自然体で楽しむことができるようになったこと自体が成長だろう。ここでも、うん十年ぶりの方にお会いした。

先日、運転免許の「高齢者講習等通知書」というのが届いた。今週末ある地元の字中山の豊年祭でも、昨年か高齢者の部類に入る。恵美子も今年から仲間入りだ。区費も、高齢者世帯の額になって、うんと安くなった。こんなことをきっかけにもして、自分の体力低下にも気付く。私の場合、50代前半に体力の劇的な低下があり、その後回復をはかる生活を10年余り続けた。そのため、年相応の体力に戻ったのは、60代半ばを過ぎたころだ。そして、最近では、老化と並行して、ゆっくりと体力低下が始まったと気づく。

毎日、歩行数を記録し、それに卓球練習時間を加えて、自分の運動量をチェックしてきた。そのピークは、昨年、一昨年あたりにあったようだ。今年に入ると、それよりは少な目が適切なことに気づいた。老化に並行して減少していく体力に応じた運動・生活をしているこのごろだ。

いろいろと 5月5日

ゴールデン・ウィークをはさんだこのごろ。いろいろとある。私自身は、ゴールデン・ウィークにスケジュールはほとんど無いが、世間が何かといろいろあり、それが私に波及してくるといったほうがよさそうだ。

いろいろとあることのいくつかを書こう。

1) 字の共同作業、ついに休む

私が住む字中山は、年に2回共同作業がある。山の上から海岸まででなかなか大変だ。欠席すると、欠席料3500円だ。数え65歳からは徴収されないが、参加することになっている。数え70歳からは、全くの任意だ。私は、数え71歳なので参加自由だ。前回まで参加したが、体力的にあって、途中で休ませてもらっていた。1時間30分ぐらいは、なんとかなるが、それを越すと、ついていけなくなる。

ということで、今回は、初めてお休みした。

2) 先週火曜日の市役所大里庁舎の会議の際、傘を忘れた。しばらくたって思い出し、2日過ぎて取りに行く。無事そのままあった。こんなことは時々あるが、この近辺では、なくなることは少ない。都会で失くした時は、半ばあきらめていたが、事情が随分異なる。

3) 30日、このブログで連載している南城市の観光コア施設のための市民ワークショップに参加。とても楽しかったが、ブログ連載のなかで書くことにしよう。

4) 同じ30日、卒業生二人が来訪。40年近く前の学生だ。定年間近だが、教育現場で奮闘中だ。夜、首里でもう一人の卒業生も加わって、夕食会。おごってもらおう。こんな機会におごってもらおうなどは、記憶にない。うれしいことだ。

いろいろな話が飛び交うが、現場物語に加えて、退職後の人生創造物語が出てくる年頃だ。

5) プリンターが故障して、修理を頼む。連休中なので、出来上がるのが25日ごろと聞いてがっかり。でもしかたがない。私はケチなので、使用済みだが裏が白い紙は、使うことが日常的だ。しかし、紙詰まりを起すことが多い。いつもは詰まった紙を自分で取り出すが、今回はうまくいかない。

6) 1日の記事に書いたピタンガは、ご希望の方に苗を差し上げると書いたが、早速メールがあり、もらわれていく。嬉しい話だ。苗をもらったり、差し上げたりするのは楽しい。我が庭にはいただいたものを植えたものが多い。

7) このごろの悩み事の一つは、フェイスブックで投稿される記事が多すぎて読み切れないことだ。知らぬ間に「友達」が増えて、情報過多になっているのだ。申し訳ないが、飛ばし読み状態だ。

友達が、何百人にもなっている人は、どうしているのだろうか。

8) 近所で、二軒が新築工事中だ。出来上がっていく過程を見ていくのは楽しい。すでに顔なじみの方たちだが、夏には、子どもたちも含めて、この近辺は賑わいを増すだろう。といっても、田舎だから、ゆったりしているが。

雨の浜下りの日 来客とのユンタク 4月10日

このところの天気は、梅雨を思わせるほど、連日の雨。せつかくの旧暦3月3日の浜下りの土曜日。いつもなら何百という人がでていけるイノーにも人影が見当たらない。あてが外れて楽しめず、悔しがっている人が多いだろう。

そんな時に、来客。40~30年前の西原時代の保育園の保護者会での知人二人の来宅。このところ数回、行ったり来たりしている。皆60代になるが、昔話はなく、今時の話題でユンタク。昼食は、買ってきた多様な弁当を、大皿に盛りつける。知人は、弁当バイキングと名付ける。(写真)

それに我が家のスープ・ルッコラとハーブティーを添える。

ユンタクの話題は、あっちこっち。無駄話のようできて、そうでもない。人生の多様さを発見する新鮮な話題

ばかり。お互いの職業・趣味・生活にかかわる、いろんな話だ。皆さん、元気がよく、仕事も一杯している。

お一人は農業専門家で、我が庭畑をみてもらった。バナナは、徐々に根が浮いてくるので、3年ほどで、植え替えをするのがいい、とのアドバイス。知らなかった。

8日には、自動車の定期点検。待ち時間に、復元された軽便鉄道与那原駅を見る。古い写真には懐かしいものもある。40年前にはよく出かけた与那原の浜。綱引きの思い



出もある。

新年度の私の仕事 授業・諸委員会・研究など 4月9日

新年度が始まった。専任の職を辞してから、満13年になる。徐々に、仕事量は減ってきているが、年齢相応の仕事はしていると思う。

授業 琉球大学「特別活動の研究」 前期・後期

沖縄県立看護大学「教育学」 前期

沖縄リハビリテーション福祉学院言語聴覚学科 対人関係の授業 4回分

次年度からは、さらに減らす方向で考えている。授業は大好きだが、授業に必要な体力・気力の衰えには逆らえない。「もぐり受講生」・授業参観者は、いつものように歓迎している。その機会もなくなりつつあるので、「早めにどうぞ」といわなくてはならなくなっている。

受講生たちが共同で作ります授業なので、受講生がどんなものを作り出していくかを楽しみにしている。

授業とは対照的に、南城市の諸委員会などの出席が増えている

シュガーホール運営審議会 南城市史「南城市の民俗」調査委員会 南城市観光コア施設整備基本構想検討委員会（長すぎて、覚えきれない）・・・

他にも、南城市学童保育連絡協議会顧問、保育園理事、西原町中央公民館運営審議会などが引き続いてある。ここ数年で膨らんできたが、そろそろ縮小の方へと舵をきらないと、大変なことになりそうだ。

研究は、このブログにも連載しているが、「沖縄的なもの」についての検討を軸に、いくつかの課題を並行して進めている。この話は、改めて書きたい。

ということで、年齢相応の仕事量だろう。並行して、庭畑仕事・家事、そして卓球・散策の日々である。こんなありようが、2～3年は続きそうだ。変化は少なくなっているが、それなりにドラマ性のある生活だ。

旅に出かけて仕事をすることは、ここ数年の間に激減した。静けさ・落ち着きへの好みますます膨らんできている。

卓球 沖展 PM2.5 3月30日

いくつかの話題

まずPM2.5。28日はひどかった。ベランダや庭に出るだけで、眼がチカチカ、のどがゴミっぽい。大陸から流れてくるものが主だろうが、大陸に住む人は大変だろうな。

今月は、誘われて卓球に試合に3回も出る。こんなことは初体験だと思う。このごろの私は誘われれば出る、

という感じだ。このごろ、中高年の仲間に積極的な人がいて、誘ってくれる。ありがたい。

3試合の好不調が激しかった。体調・対戦相手など、さまざまな要因があるが、たいていは思い当たるフシがある。それを活かしていこうと思う。たとえば、試合の前後の準備体操と整理体操。おのおの5分ぐらいのヨガ系のストレッチをする。これをさぼると、あとで変な痛み疲れが来る。やれば、健康な疲れが来る。若い時は、無しでもなんとかなるだろうが、60代になると欠かせない。これを忘れる時は、精神的ゆとりがない時でもある。

卓球で面白いのは、対戦相手によって、自分の技術・作戦などについての発見があり、それで技術・作戦の工夫を次の機会に生かせることだ。元々、私の強みはバック攻撃なのだが、今回も新しい発見がいくつかあった。

今回のうち2つは、小学生から70代までいっしょの試合だったが、それがまた楽しい。中学生大学生30代50代70代、これらの違いで対応を変えるが、それが楽しい。高校生大学生とやる時は、かれらのパワーに圧倒されるが、うまくかわしながら、変化で対応する。だけど、時には、こちらもパワーでやることを含めると効果的だ。相手をびっくりさせる効果だ。何回も出せるわけではないが、こんな多様な対応を楽しめるのがいい。

28日。PM2.5にめげずにマスクをつけて沖展に出かける。この数年は、毎年出かけている。知人の出展をいくつも見る。いつものことながら、美術への刺激が強いが、自分でやろうと思う所まではいかない。うらやましく感じるのではあるが、鑑賞するだけで満足しておこう。

その帰りに、リハビリ中の長年の知人の夫妻と会う。リハビリ真っ最中なのだが、笑顔がステキでよかった。昔話、植物、身体のことなど、話が盛り上がる。来宅をすすめる。こうした出会いが増える年頃になった。

鹿児島から帰って、南城市での会議にいくつか出る。このところ、時間的にいっても南城市関係の仕事で結構忙しくなる。でも、楽しく充実しているからいい。そのあたりの話は日を改めよう。

出会い 暇人レベルが下がってきた

2月20日

大学授業もないのに、なぜかいろいろとスケジュールが入ってくるこのごろだ。地元のいろいろな集まり（保育園理事会 学童保育関連で市議会委員会出席——後日掲載予定 市史調査・・・）も結構の数になる。

確定申告もあった。いつも通り早めにすませる。一年を振り返るうえでも有用だ。だから、手書きにしている。年々、額が減ってくるのは、当然だろう。年金だけの生活になるのも遠くなかろう。

定期的な病院・歯医者通いもある。といっても、10年以上になる処方箋もらいと定期的な検診だ。

そんな折、他府県からの友人知人の訪問もある。例年、2～3月は多いシーズンだ。この10日間で3組の方と出会った。休養・観光というよりも、仕事をもち込むとか、打ち合わせ・相談のためとかで来沖され、私から見れば慌ただしく動く人が多い。辺野古に出かけて新たな発見・確認をする、シュガーホールなどでの音楽コンサートを楽しむなどとならんで、沖縄でのゆったりとした気持ちにひたってくださるのもよいだろう。

それらの折に、私にとっても、新たな沖縄内の知人の広がりがある。なかには、知人の知人が私の知人だったということもよくあり、何十年ぶりの再会も珍しくない。

長期滞在する友人のマンスリーマンションにも付き合った。どうやら那覇等が中心で、南城市あたりでは物件

が限られるようだ。不動産屋が新たに募集しても借り手が少ないという話も聞いた。滞在体験型観光という点からも、もっと開拓宣伝をしてはどうかと思う。田舎の地元生活に付き合い楽しむ点でも、マンスリーマンション、ウィークリマンションがたくさんあった方がいいと思う。

余談になるが、私のこんな生活の中で大きな難点は、ウチナーグチ・レベルの低さだ。ちょっとずつ修行しているつもりだが、前進しているかどうかは怪しい。

最近、聴いてわからなかったり、間違えたりした言葉。

キーブルダッチャー シュガーホール・コンサートを聴いての感想

アンダースー アンダーギーとこんがらがっていた。

2月下旬も3月もスケジュールがどんどん入ってくる。新しいつながり・取り組みもある。卓球もふくめたスポーツ行事もある。音楽芸能行事は、この季節にとっても多い。他府県からの来客もさらにありそうだ。

なぜか、暇レベルが下がってきているので、暇だからといって、どんどん付き合うことができなくなりつつある。

2015年

PM2.5 不発弾処理 パイプつまり テレビに映る サガリバナ カニステル

年末の話題 12月31日

今年も、いろいろあって、それなりに充実した一年だったが、年末もいろいろある。

その年末のいろいろ

1) 暑くなったり、それなりに寒くなったりと、異常気象の事態が続く。私にとってとくにいやなのは、PM2.5。それでも、それなりに対応策を見つけられたので、なんとかやっていけそう。

雨が多いのは、畑庭の水やりをしなくていいので、助かる。

2) 先日、海岸で不発弾処理があった。ドーンと大きな音が響いて終了。1945年3~4月は、あのような音が、持続的にあり、そのなかを耐えていたかと思うと、やりきれない。

不発弾があった場所は、私がいつも海岸散歩をするところだ。まだまだ身近にあることを思い知らされた。

3) 下水道につなぐパイプがつまって困る。いろいろと作戦を考えたが、結局市販のパイプつまり解消液体を注入した。2日ぐらいかかったが、無事解消する。

この秋、もう一つ困ったのが、鼠の住宅侵入。これも数か月かけて、色々やり、結局は解決してほっとしている。

4) 小谷マーイの時に、竹細工を買ったのだが、その時のシーンがテレビに映っていたそう。それを見た卓球仲間が教えてくれた。ビデオ撮りをしていたのは知っていたが、観光協会か商工会の記録保存だと思っていた。

5) サガリバナが年を越す

今年は、異常だ。10月に咲いただけで、新聞記事になるのに、我が家のサガリバナは、ついに年を越して開花を続ける気配だ。どうしたことだろう。

6) カニステルの収穫 (写真)

昨年も一個、今年も一個。もっと沢山収穫できるように、学習研究をしなくてはならない。



PM2.5の来襲 12月17日

16日から、寒さとともに、大量のPM2.5が来襲している。

私は、呼吸器が弱いので、敏感だ。すぐに感知する。屋外に出る時は、マスクが必須だ。眼も異常を感知するが、防ぐ眼鏡は持っていない。いずれ必要になるかもしれない。

ということで、那覇に出かけるのを延期した。PM2.5だけでなく、排気ガスもひどいからだ。

私が沖縄が好きな理由の一つは空気のきれいさにあるが、大陸から来るPM2.5はどうしようもない。

毎日天気情報のPM2.5情報を見ている。おさまったら、那覇に出かけるつもりだ。

天気情報のデータ。16日14時では、41「やや少ない」となっている。私には、「かなり多い」と感じられる。中国大陸では数百という数値も出ているそうだが、呼吸器が弱い人にとっては致命的になる感じだ。

高度経済成長期の1960年代に名古屋・東京暮らしをしていた私は、その時の大気汚染で、呼吸器をかなり痛めたようだ。同じことが、今大陸で進行している。

写真は、我が家から、PM2.5で煙る摩文仁方向を見る(16日撮影)。暗くなっている。これで「やや少ない」といえるのだろうか。基準がおかしいと思う。

その後の数値は16日17時は50、17日7時21、15時14である。ようやく治まってきた感じだ。明日は那覇に出かけられそうだ。



繁忙のトンネルを抜ける 忘年会 字共同作業 12月8日

暇なはずの私が、このところ、なぜか繁忙だった。授業・会議などが多かったし、11月後半は南城市内外の行事が目白押しだった。

その繁忙トンネルをようやく抜けた。

対照的に、周囲の人々は、年末繁忙期に入っている。その一つは忘年会だろう。だが、私の忘年会は、一つか二つだ。

その貴重な一つが、4日のドングリ保育園理事会忘年会だった。カラオケボックス「トマト」での楽しい会だった。どんぐり保育園は、この4月に玉城保育センターが法人化されて認可保育園となったものだ。私たちはここ数年、それを応援してきた。

私たちを含めて保育園周辺に住む人ばかりで、人つながりの発見が続出だ。地域の保育史やシマの歴史にかかわる話も出てくる。ウチナーグチも続出で、一瞬、私の理解不能の世界が登場する。

まじめな話も織り込んだ多様なユンタクの終わりは、カラオケ。全員が多彩な歌を披露。私たちは定番の童神。

6日午前、字中山の共同作業。草刈などだ。草刈をしながら出てくる地域にかかわる話が、いろいろと面白い。野菜生育の話、鳥など動物の話。転出入の方の話・・・ いわゆる世間話だ。

私も含めて年齢的には参加義務のない人が数名参加。参加者の平均年齢が、年ごとに高くなる。市道になっているところは、市に御願いする方向で話はすすんでいるようだ。そうでもしないと、山の上から海岸までの広い面積の草刈は大変なのだ。

この一週間悩まされたのは、携帯電話に入ってくる迷惑メールだった。これまで一度もなかったのに、突然、毎日10個近くが送り付けられてくる。しかし、それへの対処法がわからなくて、一つ一つ削除していた。何度も、対処法を調べてみるが、わからない。もう機械オンチになっているのだ。

それでも、なんとか調べてみていくうちに、偶然、携帯のなかの「迷惑メール対策」を見つけて、早速対処した。それもかなり苦労したのだ。そしてついに、シャットアウトできた。



今年は、なかなか冬が来ない。暖かいまま、時には暑いままの12月だ。周りの人たちが忙しいなか、スケジュールが希薄な私は、研 究生活にいそむ日々になりそうだ。

写真は、我が畑栽培のパッションフルーツ。一日一個のペースで収穫だ。1月終わりまで 続きそうだ。

南城の集落の暮らしの話聞く 聖地での服装

10月22日

南城市史関連で、いくつかの集落の区長さんのお話を聞く機会が連続している。暇なはずの私が、結構忙しくなっている。私がかかわる集落は4つだが、その区長さんと最初の顔合わせをし、これからの進め方の相談を始めた。4つは、かなり異なるタイプなので、それぞれ新鮮味がある。

これを機に本格的な聞き取りなどを11月以降すすめていく予定だ。

そんな折、志喜屋のマッサージ「蘭」に出かけ、志喜屋の話などで盛り上がる。1時間の予定をはるかに超えて、ユンタク。マッサージのスペシャル・サービスになってしまった。「蘭」には10年間通い続けたが、私の健康法の中心柱の一つだ。

齊場御嶽の訪問者の服装について、観光者自身の声として、きちんとすることを求めているだろうか、ということがあったそうだ。思い起こすと、バリ島やカトマンズの聖地・寺院で、服装や靴を着替えるよう求められる人が多かった。たとえば、ヒンドゥー教寺院では、牛は聖なるものなので、革靴での入場は禁止なのだ。

観光者がほとんど来なかった時代の斉場御嶽の話など、たくさんのお話を聞く。

志喜屋でも、シマ起こしということで、村芝居として「伊江島ハンドゥー小」の久しぶりの上演への動きがでてきたようだ。実は、「伊江島ハンドゥー小」は、我が中山から習ったのだそうだ。

南城の多くの字では、こうした芸能がお宝になっているのだ。マッサージ師の具志堅さんは、かつて志喜屋のスーマチなどのまとめ役だったようだ。

具志堅さんは、もてもてのマッサージ師なので、那覇のマッサージ院に呼ばれていたが、ようやく後釜が見つかって、平日も自宅で療術ができることになったようだ。時間のゆとりができたので、志喜屋のシマ起こしにかかわろうということだ。具志堅さんの紹介で、志喜屋グスクを案内していただいた城間さんには、拙著を贈呈したが、書店で他の拙著を見つけて購入してくださったとのこと。ありがたい話だ。

こうした貴重な方々が、各シマに何人かおられるようだ。私の調査活動も、まずはこうした方々からの聞き取りから始めることになりそうだ。

各字に出かけて話し始めると、共通の知り合いが結構いる。そのことで、話がさらにはずむ。

21日には、西原で開かれた中部地区公民館研究大会に助言者として出席。ここでも、集落での活動の話題が中心の一つになる。

ネズミ カラス 歯肉のはれ 中高年卒業生との出会い 60代は残り一年

10月13日

急に涼しくなってきた。畑仕事がやりやすくなった。このところの野や森には、この2年の度重なる台風のためか、動物たちの餌が少なくなっているのだろうか。滅多に見ないカラスがしばしば現れる。ネズミが、網戸を破って、我が家に侵入した。餌が見つからずに引返したようだが。

我が家周辺で見かけなくなったもの。マングース・ハブ・アカマタ・オオゴマダラ。原因がわからない。

この一週間で苦勞したことの一つは、歯が原因で、歯肉が腫れ上がって、オタフクかぜのように、ほっぺがふくらんだこと。自然治癒を待っていたが、うまくいかないのに、歯医者で治療してもらったら、三日で完全にひいた。歯医者が「こんなに早くひくのは珍しい」という。体調がいいからだろう。

数年前、奥歯を抜歯したが、その代わりにブリッジをしたが、ブリッジをされた歯に過重負担がかかったためだろう、とのこと。しばし様子を見るところ。現在、私の歯は26本。入れ歯なし。なんとか持ちこたえていきたいものだ。

このところ、1970年代、1980年代に私のゼミや授業をとった卒業生との出会いが続く。皆さん、現場で要職にあるか、退職なさった方々。繁忙や苦勞のなか、よく頑張っておられる。頑張りすぎと感ずることもある。それでも、自分なりのものを出しておられる。

無理をしないように、うまくいかないこともファジーに受け止めつつ、前向きに取り組んでいかれることを期待する。

最初の出会いは、30～40年前だが、皆さん、そのころのひたむきの姿を、おおいに引き継いでおられる。と同時に、人生で一番責任ある仕事を引き受けることが多い時期であるし、いろいろな困難を引き受けることもしばしば出てくる時期であるので、健康に留意し、「あがく」のではなく、「ゆったり」と、「かわし」つつ、できればプラスになる方向を探る」といった気持ちで向かわれたい。

こんなことを考えていると、私の60代人生も残り一年となったことに気付く。けっこう忙しくなった私自身も、「ゆったり」と次の人生ステージへと楽しく移っていききたいものだ。

学童クラブ 英語演劇 川平朝申研究と美術 九州教育学会打合せ 10月6日

10月に入り、いろいろなスケジュールが入ってきた。9日からは琉球大学の「特別活動の研究」授業。そして、「南城市の民俗」調査のスタート。それらに加えて、いくつかのスケジュール。

3日、まず南城市の学童クラブの高学年交流会。ドッジボール、ナワトビ、けん玉、鬼ごっこ、ベーゴマ、ドッジビー・・・いろいろな遊びを交流しあう。身体も人間関係も健康そのものだ。

3日夕方は、キリスト教学院での英語演劇。ケンブリッジから来た若者たちによる「間違いの喜劇」(シェークスピア作品)。超満員。残念ながら、英語演劇は私にはチンプンカンプンだ。

4日は、川平朝申の研究会。ニシムイ関係についての報告討論。新鮮な情報満載。戦後の大変ななか、美術家の努力と、軍政府・民政府とのかかわりが興味深い。私が現在している「沖縄的なもの」研究に深くかかわる。

さきごろ、大原美術館「大原美術館名作選」2012年発行を、私にしては丁寧に見た？読んだ？音楽同様、美術も「オンチ」な私だが、関心が深まった。そんななかでのニシムイの話で、かつて同僚だった方々の名前も続出する。少しは、美術について深めていきたいと思う。

5日は、12月の九州教育学会に向けての打合せ。わざわざ、福岡から我が家にこられての打合せ。恐縮だ。「地域と大学を考える」というテーマでのシンポ。私はパネリストの一人として問題提起をする。

大学が劇的に変わりつつある。そのなかで、地域と大学との関わりの視点からは興味深い。他のパネリストは、国立大学協会専務理事、名護市長、名桜大学教授だ。

沖縄おこし=地域おこしと大学ということで、私自身がやってきたこと、考えていることを、かなり大胆に提案するつもりだ。提案原稿は6000～12000字という本格的なものだ。これからしばらくこの作業をする。12月5日午後、名桜大学で開催されるが、このシンポだけは、学会員でなくても参加できるということだ。充実した議論になりそうだ。

シルバーウィーク 来客 那覇の卓球大会 南城青年芸能祭 9月23日

今回の連休のことをシルバーウィークというのだそうだ。初耳だ。私もシルバーのうちに入る年齢だが、特別

のことはない。満70歳になる来年からは、何かあるらしいが。

出かけることが少ない日々なので、休みといっても変化はない。だが、普段は忙しいのだが、休みになって我が家を訪問する客が結構ある。中学生の親子、新婚さんなどが来訪。ユンタクと、我が家のハーブなどを楽しんでいただく。希望の方には、苗を差し上げている。中学生は新鮮で若々しい雰囲気をもたらす。新婚さんたちは、幸せを振りまく。こっちまで幸せに浸る。

20日は、那覇の卓球大会にでかける。我が南城のシルバーグループチームで。といっても50代と助っ人の40代を加えると、平均年齢は50代後半になる。この大会に、私は初出場。男子チームは50余り、女子チームを加えると、300人余りの大人数の大会だ。一番多いのは中学生。私たちのようなシルバーも多い。

参加チームが多いので、3チームで予選をやり、一位どうし、二位どうし、三位どうしの決勝トーナメントというやり方で、4単1複の試合だ。

私たちのリーグは、私たちのチームと港川中・首里中だ。港川中は楽勝させていただいたが、首里中は強い方のチームで、大変な試合になった。私の相手は、将来有望と思われる強力選手で、ずいぶん苦戦してしまった。最初のセットをとられ、老人の知恵で作戦変更し、ぎりぎり勝利に持ち込んだ。続く選手たちも苦勞しつつも3対1で勝ち、一位グループのトーナメントに出場。

こんなことは、我がチームの初体験だ。こうした試合では、いつも2位か3位かだった。だから、決勝トーナメントは一回戦であっさり負けるはずだった。相手は、若いパワーの人と、ベテランとの組み合わせの結構強いチームだ。私は2番手で、若さあふれる攻撃型が相手になった。押され気味だったが、これまた老人の知恵を出して、スマッシュミス誘い、拾いまくり、時には攻撃をしかけて、なんとか勝つ。他の選手も、厳しい試合ながら、3対2で勝つ。

ここまで来たら、優勝候補が連なる高い水準の対戦チームばかり。二回戦なのか準々決勝なのかよくわからないが、あっさりと敗北。

我がチームは「よくやった」と自画自賛して終わる。楽しみとしての卓球は楽しい。この日の那覇市民体育館は冷房が入る。私は寒さを感じた。16セットしたが、タオルで汗を拭くことは全くなかった。

この後、夕方から恵美子とともに、南城市青年芸能祭に出かける。グスクロード公園だ。後半だったので、エイサーが中心だった。

青年中心だが、子どものエイサーもあった。生き生きと輝き、あかるい笑顔が連なる楽しい時間だった。写真を何枚か紹介しよう。





時間的ゆとり 体調 卓球 家電取り扱い 9月19日

10～11月には、琉球大学の「特別活動の研究」があるが、9月は授業がないので、時間のゆとりがある。それでも、学会を含む旅に出たり、「南城の民俗」調査の会議が2回ある。この調査も、10月から本格化するので、結構忙しくなりそうだ。ゆとりの時間の多くは、「沖繩的なもの」作業に費やしている。

身体の方は、夏バテもなく元気だ。毎年やっている人間ドックの結果も、市の担当の保健師さんからお褒めの言葉をいただいたのだが、一つだけ再検査が必要なものがある。毎年1～2あるのが、近年の平均的なところだ。胆石は数年前にとったが、腎臓に石があるという。私は石のできやすい体質のようだ。

快調な身体だが、加齢は着実にやってくる。卓球をしていて、台の上でのラケットでのやり取りはいいが、床に落ちた球を拾う際、腰をかがめるのが面倒になっているのは、加齢のせいだろう。

その卓球だが、50代60代の仲間が増えて、各地の試合に出ようと誘われる。いくつか出ている。先日も、糸満での試合にでた。老若男女込みでリーグ戦をする。20代30代の本格的な人が多く相手になるので、手ごたえがある。たまにセットを取ったりするので、相手も気を許さず戦ってくれる。

一日に15セットぐらいにやるのが、ちょうどいいので、予選落ちするぐらいで満足だ。それにしても、なんとか通用しているのが不思議なくらいだ。周りを見渡すと、おそらく私は3番目の年齢だ。

加齢で面倒になってきたのは、家電製品の器具修理とか器具セットアップだ。恵美子はすぐに私を頼りにするが、私も面倒なことをする勢いはもうない。先日もテレビをこわれたので、テレビ無し生活をしばし続けたが、ついに購入にでかけた。

このセットアップも面倒なので、旧製品回収と新製品配達に合わせて、お任せすることにした。料金がかかるが、四苦八苦するよりは、精神衛生上とてもいい。それにしても、テレビ視聴時間が、ますます減少している。書斎仕事の休憩に10分ぐらい見るという感覚だ。

庭畑作業に絶好の季節になってきているので、その時間を少し増やして、楽しんでいるこのごろだ。

いろいろな出会い

8月24日

毎年、この時期は、何もなさそうで、結構いろいろとある。

まず、卒業生の来宅。8月の後半に休みを取り、他府県から沖縄旅行に来て、我が家に立ち寄るというパターンだ。今年も、その第一号が18日に来宅した。カップルでこられたが、いろいろな労苦があったので、「癒し」を求めての訪問だった。我が家の雰囲気がいーらしい。ゆったりとし、海や植物などの自然との触れ合う。恵美子の三線を所望された。ついでにシンキングボウル演奏をプレゼント。

我が家産の果物を召し上がっていただく。我が家訪問卒業生は、40代もいるが、50代が増えてきた。なかには60代も出てきた。労苦も多いが、人生の味わいを感じるころだ。

金曜日には、ここに住み始めてからの付き合いが深い小川京子さんの個展見学。クバによるバスケットアート。このジャンルのプロは彼女一人だけだろう。今は宮古でアトリエを開いているが、年に何回もあちこちで個展を開いている。作品は、ますます高級感漂うものになってきている。今は、手に入りやすいが、そのうち希少価値が出てくることが予想される。

その後は、県立美術館で催されている「美術の先生がつくった作品展」を鑑賞する。知人の大池主佳さん、玉元雅江さんが出展している。大池主佳さんは、子ども時代の本人と大池さんを、定評のある落ち着いたメルヘンチックな感じで描く。玉元雅江さんは、我が子の赤ちゃん時代を大きなキャンバスに描いている。小さいころからよく知っているが、今近くの中学校に勤務しているとは知らなかった。

美術の先生たちだけあって、子ども・生徒に共感をよせる雰囲気が漂う。今時の学校は、ハイペースで大量処理の機械的な雰囲気さえ漂っている。そんな中で、美術の時間が、子ども生徒の世界を大きく変えつつ膨らませていく異色の存在だ。活躍を大いに期待したい。

テレビが数日間、故障して映らない。日ごろからテレビ視聴時間はとても短いのだが、それでも、テレビのない生活はとてもさっぱりとして、静かな時を与えてくれる。このまま無しでもいいかなと思うぐらいだ。

金曜日には、近所のどんぐり保育園の理事会に出席。発足したばかりの4月前後は大変だったが、ようやく軌道に乗ってきた感じだ。でも、これから園舎の新築工事がある。玉城らしく、子どもたちが伸び伸びできる豊かなものになることを期待したい。

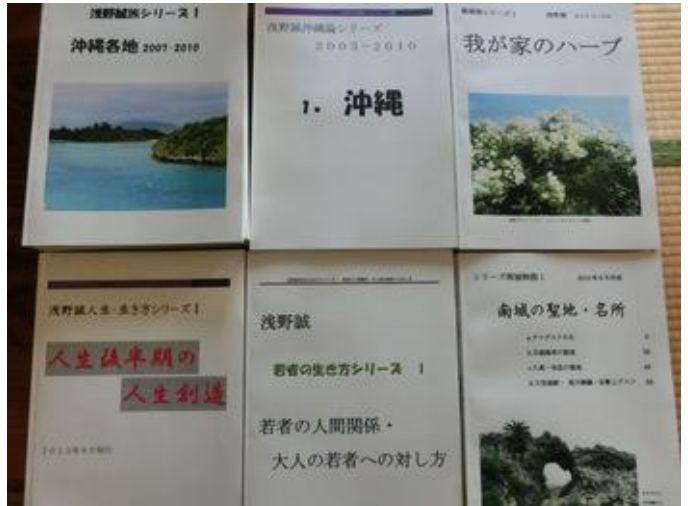
HP掲載ファイルの製本 ベランダで鳩の交尾 アロマ・ハーブの会

8月19日

休日も平日もない生活をしている私たちだが、夏休み雰囲気漂うこのごろの出来事いくつか

私たちのHP「浅野誠・浅野恵美子の世界」は、もっぱらこれまでのブログ記事をテーマ別に編集したファイルで構成している。30以上のファイルが蓄積した。それらは、自由にダウンロードして読めるようにしている。

私自身も、これまでを振り返るときに使う。私は、デジタルよりも紙の方が好きなので、印刷屋さん、それらのファイルをプリントアウトして製本してもらった。



若い世代には、購入した書籍をスキャナーにかけて、コンピュータに取り込み読む人が増えている。それを「自炊」というのだそうだ。私はその逆をいっているわけだ。加えて目が強くないので、ワープロで編集するときも、プリントアウトして赤ペンを入れて、そしてコンピュータ上の作業をするという流れでやっている。



食事は、ベランダの向こうに広がる摩文仁光景を見ながらが多い。そのベランダの塀の上で、二羽の鳩がじゃれ合う。やがて交尾を始める。以前にも目撃したことがある。今回は、近くにカメラがあったので、撮影。交尾が終わったころ、別の一羽がやってきた。どんな家族構成なのだろうか。

鳩とイソヒヨドリは、ベランダのメダカ水槽に水飲みにやってもくる。

15日、恵美子が主宰して、アロマ・ハーブの会をする。7, 8名の参加。私は、畑のハーブを提供する仕事。10種ほどのハーブを皿に飾った。

甕がこわれメダカ全滅 サボテン大木が根元から折れる 台風被害

7月10日

今回の台風は、予想がいろいろと外れる。

まずデカイ台風直撃との予想が、もしかすると暴風圏内に入らないかもしれない予想に変化。

しかし、勢力が拡大し、進行方向が本島よりになり、暴風圏内に入る。しかも、なかなか抜けない。結局丸24時間近く入っていた。我が家にとって幸いなのは、東寄りの風が中心で、我が家の東にある森が防風林の役目を果たしてくれたことだ。しかし、昨年まで続いた巨大台風で、森の木がかなり損なわれている。今回の風で、さらにスケスケになってしまった。

最大の被害は、手すりにかけてあったブイアートが落ちて、直下にあったメダカの甕を直撃。壊れた甕のなかにいた生後1~2か月のメダカの幼魚たちには最高の悲劇だった。他の水槽・バケツ、池のメダカは大丈夫だった。

最大時には、4メートルの高さにまでなったサボテンは、この2年間の台風で何度も折れ何度も復活してきた。しかし、今回の台風では根元から折れてしまった。

南城市は、49.9メートル吹いたから、それ相応の被害だ。といっても、それは丘の上で風速が強い糸数の

データだから、我が家周辺は30~40メートルぐらいだったろう。

リーフは激しい波だ。これは9日午後、ベランダからの撮影



後片付けをしたいが、まだ雨風が強いので、思うに任せない。日曜日ごろまでかかりそうだ。雨を運んでくれたのはよいけれど。

一番困ったのは、暴風が続いたので、琉球大学の授業が休講になったこと。4つのグループの企画プレゼンは一週間繰り延べにせざるを得ない。

もう一つは、長時間停電。16時間ほどだった。仕事は何もできないので、もっぱら窓際で読書。

ブログは、一つの記事を事前投稿してあったのが幸いした。

来客からいただいた沢山の土産菓子で体重増 7月3日

この一週間は、偶然だが、来客が多い。研究会・打合せなどが続いたからだ。多様な方々と出会えるので、新鮮だ。初対面のかたも何人かおられる。多様な分野の方々との共同研究は、新鮮さそのもので、楽しささえ感じ

る。

一つは、沖縄の歴史上の人物についての共同研究。もう一つは、南城市の民俗についての組織的な調査研究。刺激の多い話が続く。何年も続きそうなので、今後も楽しみだ。

もう一つは、南城市学童保育連絡協議会の指導員研修の打合せ。こちらは顔なじみだ。

来宅された方々が、いろいろなお土産のお菓子を持参されたこともあって、我が家には、全国のお菓子が10種近くも集まってしまった。会で一緒にいただくが、食べきれないので、次の会合に出したり、いただいたり、「お土産」に差し上げたりした。

それでも、せっかくいただいたし、美味しそうなものばかりなので、私も結果的に一杯いただいた。おかげで、体重が1キロ増加した。夏場は体重減と相場が決まっているが、今年は例外的事態になってしまった。

シェアした結果、ようやくお菓子が減ってきたので、これから、体重減へと進みたい。

こんな風に、研究会や会議が増えてきた。減ってきた担当授業コマ数に反比例している感じだ。7~8月も結構入ってきそうだ。単純な行政的管理調整的報告承認的なものではなく、研究企画的要素が高いものが多いので、充実している点がいい。

そのほかの話題いくつか

- 1) 補聴器使用開始から一か月。点検にもいってきた。聞き返しをしなくてもいいので、とても助かっている。
- 2) 雨が降らなくて困っている。畑庭の水対策に時間がとられるこのごろだ。巨大な入道雲が発生し、雨雲が近づくが、結果としてほぼ10日間、降雨量ゼロ状態が続く。写真は、西南西の摩文仁方面から近づく雲
待っていたら、ついに台風が発生。被害なしの水だけ具れることを願う。
- 3) 動物たちも、水不足で苦勞しているようだ。ベランダの千年木の植木鉢に住みついたネズミが、すぐ近くのバケツに水を求めて、飛び込んだが出られなくなっている。まだ子どもだろう。撮影後、隣の森に移動させた。
(下左写真)
- 4) 最近、恵美子は、草花をラミネイトして飾ることを始めた。オオバギ。ユウナの花。見慣れてなんともいえないものが、焦点化されて面白い。下右写真はギンネムの葉



大量のカニステルの赤ちゃん

6月22日

写真は、カニステルの赤ちゃん。いただいた苗木を植えて数年。今春、一個だけど、初の収穫。このごろ、赤ちゃん実が大量についているのを発見。

このごろの私は「暇人」でなくなりつつある。カニステルの赤ちゃんのように、いろいろな「芽だし」への協力を頼まれるようになる。地域に11年近く暮らしてきたことの「証し」だろうか。

近所の玉城保育センターが、認可私立のどんぐり保育園としてスタートした。その理事を仰せつかっている。保育そのものは、これまでの継続発展が中心だが、事務対応の方は、みなさん不慣れもあって、対応するのに苦労している。私にできることをほんの少しばかりやっている。

南城市史の仕事は、結構忙しいが、その報告はまたにしよう。

最近、25年前まで住んでいた西原町のほんの少しの仕事を頼まれる。5年前には西原町史のごく一部を書いたところだ。昔からのつながりが続いている感じだ。



が、早目に退室。3か月に一回ぐらいがいいみたいだ。

ワークショップ依頼や相談も、舞い込んできた。

南城市学童連協の指導員研修。

ある保育園での職員研修

中小企業家同友会の同友会大学

ある特別支援学校での研修

相談段階のものがあるが、こうしたことが増える時期だ。

気分転換に夫婦でカラオケに行く。久しぶりだ。久しぶりだと、調子を出すのに時間がかかる。2時間余りで、十数曲歌い、満腹状態。3時間コースだ

決断！ 補聴器

5月20日

ついに決断。

先週、琉球補聴器に出かけて、お試し補聴器をつけてみた。授業と会議などが主な使用場だ。聞こえにくい受講生の声も聞こえる。一人だけ聞き取れない受講生がいたので、隣の学生に尋ねたら、自分も聴きとれなかったとのこと。

雑音など耳障りの音もなく、なかなかいい。

唯一の問題点は、余りにも高額だということ。比較的安





一番強くなったと思う。

だが、順調に？、加齢は進んでいる。聞えが落ちてきている。人の名前が思い出せないことが増えてきた。髭剃りに洗面台にむかったが、歯を磨いていた、なんてこともある。仕方がないと、自分で自分を笑っている。

最近のニュースをいくつか。

庭の池にオタマジャクシが大量に育っている。毎週のように、卵が産みつけられている。ここから飛び出した蛙が増えたせいか、やぶ蚊が減少している。

先週、南城市史編集室の御一行が来られて、南城市史「民俗編」の執筆委員になることを正式に依頼される。ついでに、まとめ役も頼まれる。10年計画の作業だ。市内の全字を対象に、聞き取り調査をベースにして、作業をすすめるとのこと。

私のこれからの10年間の一つのテーマとして浮上しそうだ。聞き取りは、対象者の年齢から考えると、戦後のことが多くなりそうだが、前代未聞の事態のなかで生きてこられた方々の話を聴くことは、とてもやりがいのあることだ。

26日は、字中山の共同作業。山の上から海岸近くまで、年2回の恒例行事で、朝6時から。近所の人たちとゆんたくしながら作業。

私が知らなかった道を教えていただいた。写真のように、最初は階段があるが、進んでいくと、草や倒木でふさがれている。今は通行する人がいないだろうが、かつて行き来した経験を聞いた。

もう一つ、相当の昔、かつての中山は今のグスクロードにかなり近いところにあったという話だが、そこに行く道が、いまでもわかるという。それを教えてもらうつもりだったが、作業進行が早くて、知らぬ間に通過してしまったようだ。



先週末には、10年ぶりに出会う来客あり。偶然、沖縄に赴任することになったとのこと。ご夫妻で我が家を訪問。その折に、沖縄「学習」の意味も含めて、ヤハラヅカサ・潮花（スーパナ）御嶽・濱川御嶽・タマグスクを案内。写真は、潮花御嶽

28日には、ジュンク堂に恒例の本の買い出しに行く。22冊も買ってしまった。次の買い出しは7月ごろになるだろう。

来週は、結婚式・結婚食事会が2つ入った。久しぶ



りだ。祝い事はいい。楽しみにしている。

研究の仕事 出会い 行事 2月27日

今年度の授業なども終わり、すっかり研究生活に入り込んだ私。

- 1) 浅野誠ワークショップシリーズ№7の作成完了。
- 2) ここ10年余りのホームページとブログ記事を編集して、「電子本」化し、ホームページ「浅野誠・浅野恵美子の世界」に掲載する作業の再開。まずは「異質協同・多文化」というテーマで、ここ10年間書いてきたことをまとめ始める。5月ごろには完了する予定だ。
- 3) それらの作業をはさみながら、「沖縄的なもの」「沖縄独自のもの」についての作業が、中心の仕事になっている。これまでの私の蓄積に加えて、多様な分野の書籍を読み考える作業が、目下の中心だ。それをしながら、小論をいくつか書き始めている。たとえば、
「沖縄的なものの噴出と抑え込みのせめぎ合い 1910年ごろ」
「沖縄的なものを出す分野、抑え込む分野 分野による違い」
「社会的リーダーの変化」
「伝統＝沖縄独自定型の形成」
といったものだ。

いつものように、いずれこのブログに小出しにしていくつもりだ。

他の話題。

- 4) 毎年のことだが、確定申告を終えた。当たり前のことだが、年ごとに、年金以外所得が減っていき、我が家の「採算ライン」に近づいている。
- 5) 今年に入って、ユインチホテルの「猿人の湯」通いが、10日に一度ぐらいのペースになっている。先日は、沖リハ卒業生の夫婦・子どもと温泉で出会う。5年ぶりぐらいかな。元気で活躍している。我が家で、宝探し大会の企画をした学年だ。
- 6) 26日は、南城市でロケした映画「ルマ」の映写会に行く。
その折いただいた、劇団「賞味期限」テーマソング「役者魂」の活力溢れるCDを聴きながら、この記事を書いている。

3月の話題

- 7) 2015年度の授業は、琉球大学「特別活動の研究」前後期と沖縄県立看護大学「教育学」前期の合計3コマということになった。3月に入ったら、準備作業を始める予定だ。そのこともあって、「浅野誠ワークショップシリーズ№7」を作成していたのだ。
- 8) これから一か月は、暇な私にもいろいろなスケジュールがはいってきている。
「風の又三郎」「講演 人類史にみる百名玉城の物語」など、地域行事、会議なども入ってくる。そして、年度末ならでのことだが、送別会・謝恩会などもある。さらに、3月末には3世代家族で宮古島を訪問する。
発見と楽しみの多い日々になりそうだ。

八重瀬岳の花見 猿人の湯 カラオケ 来客 鼻うがい 1月31日

このごろの私。

1) 八重瀬岳の花見 30日夕方訪問。ここの花見は3回目ぐらいか。植えて年数が浅いが、年々美しさが増す。2月1日が桜まつりのようで、準備が進んでいる。

満開のコスモスが美しい。

オオビタキに包まれたトックリキワタが存在感を見せつける。

下右写真は、八重瀬グスク

2) 今月は、猿人の湯に3回も行く。「お友達割引」「年賀状割引」「回数券」と、いろいろある。無論、安いので入る。



心身ともにリフレッシュだ。

3) 先週は、久々のカラオケ

三か月ぶり。歌うのは、いつも「トマト」一日橋店だ。恵美子と二人だけ。

4) 1～3月は、大都市圏から調査のため、来沖のついでに我が家を訪問される方が多い。先週も、うん十年ぶりの旧友が来訪。



近年の旧友たちの動向や、大学や研究動向の話に花開く。

5) この家も10年余りになり、いろいろとケアが必要。今回はブラインド。汚れが目立つので洗濯できないかと業者に相談。難しいので新しいものと交換するしかなさそう。強い日差しで頑張ってきたブラインドだ。お金がかかるので、まずは、3階のみ。

いろいろな箇所のケアについて、建築士さんと相談。建物のメンテナンスもお金がかかる。

6) 12月は風邪で悩まされたが、1月にはいって、体調上昇。数年ぶりに鼻うがいの復活。アロエ・お茶・塩を混ぜたぬるま湯で、鼻から入れ、口から出す。40年前に私流に開発。鼻うがいは、「知る人ぞ知る」の呼吸器健康法。

これを30年余り続けた結果、持病の気管支炎と蓄膿を解消した。それで、数年前からやめていた。風邪が長引いたので、今回復活。切れにくかった痰が切れてくる。汚れていた鼻もよくなる。

どうやら、これは継続した方がよいだろう。

私流の健康法もう一つ。昨年6月木から落ちて膝を痛めた。痛みをとめるのに、沖縄でいう「医者泣かし草」(コヘンルーダ)を泡盛に浸けたものを使う。知人から、痛み止めにきくことを聴いていたので、使用。

確かに効く。最近の寒さとスポーツ後に少々傷むので、使用再開。確かに効く。

こんなこのごろだ。

今年の正月 訪問者 新しいラクラクホン 1月6日

今年の正月話

遠方にいる家族が訪問滞在していない年は、とても静かだ。日常と変わりはない。飲む機会もないし、訪問者はゼロに近いので、私の書斎仕事が結構はかどる。

今年の訪問者は、まず、年末に紹介者を介しての、京都からの若い教師二人。このブログを教えて、話題にしたいこと行きたいところを選んでもらった。希望は「御嶽めぐり」。いつものことだが、遠方から来られる方は、「斉場御嶽」と言われることが多いが、混んでいるところだし、案内なしで行ける場所なので、別の静かな御嶽を案内する。私の定番は、ヤハラヅカサ・濱川御嶽・潮花御嶽・タマグスクだ。時間があれば、藪薩御嶽か垣花グスク。さらに時間があれば、糸数グスクや奥武島の龍宮。

どなたも、初体験で深い印象をもって、お帰りになる。

三が日は、訪問者ゼロ

元日はどこにも出かけなかった。去年はジュンク堂に本の買い出しに赴いたが、今年は5日に出かけた。正月の本屋、気分がいい。

2日には、5年間使用した携帯電話ラクラクホンがボロボロになったので、買い替えに出かける。新型が出たという宣伝もあった。でも、これまでとまったく同じタイプのものを買った。

一つ困ることができた。歩数計として愛用しているのだが、3日間新旧双方をもって歩いてみると、3~4割歩数が異なるのだ。どちらを信じるべきか。そこで、新機種についている「ラクラクホンセンター」に電話し

てみる。ありがたいサービスだ。結論は、センサーの感度の違いのようだ。古いので測ると一日1万歩が、新しいのでは7000歩ぐらいになってしまう。あきらめて、新しいのを使っていくしかない。

3日には、大里城址あたりを散策する。帰りに「猿人の湯」に行く。しかし、満員。入場は順番待ちで30分以上待つとのこと。これは初体験だ。日を改めて出直すことにした。「猿人の湯」もようやく安定した客数になってきたようだ。いろいろな工夫をしている。営業努力がすごい。

4日には、私たちより少し若い二組の夫婦の訪問。楽しく語り合う。一組は、30年以上前のゼミ生のカップル。といっても、50歳を過ぎると、話題の共通性が増えてくる。これからの生活についての話が多くなる。

もう一つの話。11~12月にも、サガリバナが開花したことは、すでにこのブログにも書いた。年末、そのサガリバナの蕾がまた膨らんでいる(写真)。開花直前で、大晦日~元日の開花がみられそうな気配だった。ところが、年末年始寒波で、蕾が動けなくなった感じだ。



2014年

夜明け前の散策 ハブ 猫 犬 いろ

いろな出会い 12月24日

長引いた風邪も収まり、長距離散策を楽しみ始めた。写真は、夜明け前の中山海岸から東の空を見たものだ。冬至ごろから1月半ばまでは、夜明けが7時以後になる。だから、夜明け前の散策の機会も増える。



中山海岸は、8月の大規模清掃以降、きれいなままだ。いつもは、1~2か月もすると、「木の黙阿弥」となるが、今回は違う。こんなにきれいな海岸は、私たちがここに住み始め、海岸清掃をはじめた以降、初めてのことだ。うれしいことだ。

22日の散策は、字玉城から字富里までの旧道散策をした。1時間ぐらいの散策は楽しい。今、新たな散策計画を練っている。

先週末から、久しぶりとか初めてとかの出会いが多い。30年前の西原小波津団地の近隣の方が、我が家を探して訪問なさった。先週末の沖縄の日生連でのワークショップは、初対面の方が多かった。日曜日の保育についての会合も初対面の方が何人かおられた。そんな出会いを楽しむ時期だ。

年末年始には、毎年、久しぶりの来訪者が多い。県内だけでなく県外各地から来られる。さて、どんな出会い・再会があるだろうか。楽しみだ。

今回の出会いで登場した話をいくつか紹介しよう。

・ハブよけには、猫がいいとのこと。猫がいると、ハブを人間より先に探知するらしい。ハブを見つけて、居場所を探すには、犬がいいとのこと。臭いを教えて追跡するのだそうだ。

我が敷地は、野良猫の通り道だ。数年前には、床下で出産子育てまであった。これまでは追い払っていたが、少しは親切にしようかな、と思う。

・オープンガーデンなどの企画には、泥棒さんも「訪問」するらしいが、泥棒さんよけには、犬が一番いいとのことだ。

・村起こしで、住民自らからアイデアを出して、どんどん行動する中部の事例をお聴きした。面白いから、いろいろな地域を訪問する小旅行もいいと思う。

30~40年会っていない旧友訪問もいいアイデアだ。

・保育園に新しい名前を付けるのは、なかなか大変なようだ。というのは、すでにある名前とダブってしまうからだ。たんぽぽ、ひまわり、デイゴ、菊、どんぐり、なのはな、パンダ、くじら、いるかなど、子どもが好きそうな動植物の名前の保育園は、あちこちにある。

私が浮かんだ名前は、サトウキビとかウージ。でも子どもが好きそうでない。そこで、ウージのファ（サトウキビっこ）というのが浮かんだ。こういうのは、時間をかけて、楽しみながら思いつくものだろう。

10年前、「光・風・森の家」などと、我が家のニックネームをいろいろと考えたのだが、結局、いいのが見つからなかった。

長引く「痰との格闘」 リッターあたり29キロ余の燃費 読書など 12月16日

5日記事に書いたが、11月末よりの風邪との格闘がまだ続いている。発熱はまったくないので、仕事はできる。しかし、「痰」がなかなかとれない。しつこい。夜中に目覚めさせられることもある。先週火曜日の授業後は、大胆に休む。卓球を何か月ぶりに休む。それで、かなりよくなったことは確かだが、それでも治りきらない。逆流性食道炎の薬処方のために二か月に一回通う病院に出かけた月曜日、あわせて見てもらう。重症化しているわけではないが、痰除去などの薬を3種、処方してもらう。

一度にこんなに薬を飲むのは初めてだ。おかげで、楽になりつつある。数日で完治する希望的観測だ。40年悩まされた気管支炎の症状と、「痰」が出ることでは同じだが、発熱なしでは全く異なる。今年の風邪の特徴なのか、それとも、私の体質の変化なのか、まだよくはわからない。

新しいハイブリッド自動車に乗って1か月半を越える。写真は、自動車のメーター。11月13日に満タンにし、その後847キロ乗るが、まだガソリンがある。燃費は、29.5 k/l だ。期待よりいい。先月の一か月点検の際、自動車会社の人に驚かれた。20キロを超せばいい方だとのこと。

以前からの省エネ運転の継続のままで、特別なことはしていない。



読書生活は相変わらずだが、このブログに読書コメントを載せることは減った。沖縄関連本は、現在進行中の研究作業のなかに組み込んでいるからだ。他にも相変わらず乱読しているので、いずれブログに載せる本がでてくるだろう。

現在の研究活動は、「沖縄的なもの」「沖縄らしさ」にかかわるこれまでの作業を踏まえて、3年がかりの長文を書くことを中心に進行している。合わせて、「浅野誠ワークショップシリーズ№6」の残部が少なくなっているため、改めて№7を作成する作業を進めている。

1ドル120円は喜べるどころの話ではない 生活破綻をおそれる 12月8日

急激な円安が、ついに120円を超えた。輸出産業は喜ぶだろうが、人々の生活に悪い影響を及ぼしていきそう。景気「景気」と叫ぶ政治家があまりに多い。そのために円安誘導策さえ行われてきた。金融緩和がすさまじい規模でなされている。

原油価格が低下しているが、円安が帳消しにしているためか、ガソリン価格の低下は進まない。食糧自給率が低い日本では、円安が食料品価格を引き上げつつある。円安は、国外からの観光客を増やしつつあるが、国内から海外に旅するものを減らす方向で作用する。

しばらく前までの1ドル80—90円の時は、円の実力の力を反映していないと思ったが、120円ともなると、逆に、余りにも安すぎると感じる。

それが引き起こす大変さは、輸入する海外生産物の価格の高さから起因することだけではない。円安は、円の価値が下がるわけだが、生活費が高騰するだけでなく、預貯金が目減りをするを意味する。円以外に預貯金をする習慣を持つ人が大変少ないなか、比べる視点が弱く、目減り実感を持つ人は少ない。利子が低いことを愚痴るにとどまっていそうだ。銀行や郵便局の預貯金の大半は国債に回されていることを知る人も少ない。それが、国債の大量発行を支えているともいえそうだ。

最近、アメリカの格付け会社が日本国債の格付けを下げた。その理由の中心は、日本の借金浸けの財政事情による。

怖いことは、財政事情の急激な悪化である。むしろ、それを喜ぶ人がいるかもしれない。それで、国の借金とか、社会保障費などを劇的に減らせるからだ。それは、要するに人々の生活の劇的切り下げであり、生活破綻になることなのだ。

戦争、そして戦後超インフレなどによって、人々の財産のほとんどが吹っ飛んでしまったことの記憶を持つ人は今ではまれだろうが、それに似た事態さえ思い起こさせる。

こうしたことを読みこんで、経済政策について考え判断している人は意外に少ない。にもかかわらず、「景気 景気」を叫び、こうした政策を推進する動向を、無意識に支持してしまう構図が存在しているようだ。経済政策には「景気 景気」という以外に代替策がないかのようだ。その「景気」がよくなるという構図は、まずは輸出を中心とする巨大企業が潤い、それが「滴り落ちて」、中小企業にもまわり、やがては人々の生活にも及ぶというものだ。沖縄で大規模投資が行われるとき、大半が東京に本社のある大企業が受注し、その下請けをする中小企業を通して、沖縄の人々も潤う、というリクツと同じだ。大投資があるといっても、沖縄県民所得は全国最下位あたりであり、事態は改善されていない。そんな構図のなかでは、大企業→中小企業→正規雇用者→非正規雇用者→・・・という序列化階層化が進行し、一般の人々の生活にまわるのは「いつのことだろう」という話だ。

そんななかで、大きな破綻にならないように私は祈りたい。それは国家財政破綻という問題だけではない。個人のレベルでの生活破綻が大量に起きることを心配する。

だが、あるとしても、それは何年か先の未来だから、なかなかイメージしにくい。そのために、当面の「景気」回復を叫ぶ政治家に任せる発想に陥りやすい。そうではなく、5年後、10年後、そして最近の沖縄流でいうと、「子や孫」のために、長期の視点をもって自分の頭で考える必要がある。ちょうど選挙だ。焦点の一つが経済になっている。そして、あたかも経済＝景気回復とみなす人が多い。争点はそこにあるのではなく、いかなる経済を追求するかどうかであると思う。

こうしたことは、15年ぐらい前からいつてきたが、とても少数の変わり者の意見のように見られてきた。もしかすると、大破綻になってようやく理解されるのかな。



与那原・具志頭散策 久しぶりの風邪

12月5日

11月は忙しかった。卓球の県民大会出場。沖縄大学と琉球大学の授業のピーク。目白押しの行事・企画（沖リハでのワークショップ、半島芸術祭、オープンガーデン……）

そんななかだが、南城市近隣町村の旧跡訪問をいくつか訪問した。南風原文化センター訪問は11月2日記事に書いたが、その後もいくつか回った。

まず、自動車の一か月点検の待ち時間に与那原町内の東廻り（あがいうまーい）ポイント2ヶ所を訪問した。

御殿山と親川だ。30年以上前に、与那原大綱曳きに参加した時などに、傍を通ったことがあったろうが、当時は関心ももっていなかった。今は、町中や公民館裏にあり、埋め立てのため、海岸からはかなり離れてしまったので、往時の風情とはずいぶん異なるだろう。

これで、「東廻り」はすべて回ったことになろう。

具志頭城址を久々に訪問。城址は、展望台と他府県の慰霊の塔が中心で、かつてのグスクの跡らしいものを見いだすは難しい。

しかし、ここからの景観は美しい。



写真は、まず城址下の海岸、そして摩文仁、最後は、ここから見た我が家。ブーゲンビリアが写っている。

月末から急に



冷えはじめた。それと、諸行事が終わって、気が緩んだためか、久しぶりに風邪を引いてしまった。発熱はなく、寝込むというほどではない。数日、苦勞した。体力がついたためか、軽症のまま終わりそうなのはありがたい。衣替えを急いで進めている。

奥武島いまいゆ市場 南風原文化センター 太陽光発電一年 11月2日

奥武島のなかの、我が家の正面にあたる所に新しい建物ができた。「奥武島いまいゆ市場」。中に入る店などが移転準備中だ。すでに漁協の看板などは掲げられているが、奥武島名物の刺身屋数軒、そして花野果村も移転するとのことだ。にぎわうことだろう。

南風原文化センターの展示の評判は聴いていたが、まだ訪問していなかった。31日初めて訪問。戦争時、とくに陸軍病院にかかわる展示がすごかった。摩文仁の平和祈念資料館やひめゆり記念館などと共に、出かけた



ところだ。市町村がこうした展示をしている点でも注目

したい。合わせて、「沖繩陸軍病院南風原壕群0号」があるのだが、予約が必要とのこと、次の機会にしようと思う。

ついでに、いろいろなパンフレットをいただいた。字ごとの案内パンフレットまで作られている。40年前に私たちが住んでいた新川のものをいただいた。40年前と比べると10倍の人口になっている。



太陽光発電が丸一年たった。一年で、4000キロワット発電だ。一日平均で11キロワット。13年たつと「元が取れる」計算だ。ほぼ予想通りだった。写真は今年に入ってからの月別の発電量を示す画面。7~9月が多くて、4~6月と10月が平均ぐらいで、1~3月は少ない。

それにしても、大いに奨励されながらも、最近にな

って買取りに制限をかける動きになってきたことは、逆行する動きで、残念なことだ。

自動車の買い替え 10月30日

9月に購入契約した車が納車された。これまで乗っていたヒュンダイ・エラントラとはお別れした。中古で購入したものだが、5年半余りで4万3千キロ乗った。10年近く使用されて来年3月に車検切れになる車なので、あきらめた。まだ十分動くが、あちこちの部品取替えが必要だ。部品によっては韓国から取り寄せ必要なものがある。

なぜかヒュンダイは日本では台数が少ない。今では、新車販売をしていない。エラントラなどは、日本で何台あるのだろうか。沖縄では2、3台だろう。

買い替えにあたって、高齢になりつつある私自身がこれから何年運転可能かも考えた。多分10年プラスマイナスだろうと思い、これが最後の購入だと判断した。燃費も考えた。電気自動車も考えたが、価格が高すぎることに、一回の充電で200キロは走らないから、山原往復する時、途中充電が必要になること、この二つの理由でやめた。

結果、ハイブリッド車で一番安価なもの（下写真）を選んだ。付属品なども必要最小限にとどめ、当初予算範囲で収めた。



シンプルな車を選んだが、それにしても、多様なデータが飛び交う画面やキーレスなど慣れないシステムが最初からいろいろとセットされていて、戸惑う。それでも2日間乗って、燃費がリットル当たり26キロ以上になったので、満足している。10年付き合いたいと願う。

私は車愛好者ではない。必要に迫られて使用している。だから、購入の際も、車種などへのこだわりは少ない。今回も、「試乗していない」と話したら、知人に驚かされてしまった。知人友人販売店に任せきりで購入したことも一回ならずある。納車の時に、新タイプの車で驚いてしまったこともある。

今回は、最後の購入だからといって、1年近く前から販売店を3軒ほど回ったのは、私にしては画期的なことだった。

近隣の人に作ってもらった作務衣など ラージボール卓球大会

10月3日

ちよっぴり涼しくなった。夏も終わりに近づいている。畑庭仕事もしやすくなった。大学授業もはじまった。いつものペースになってくる。

二つの話題。

まず、近隣の人に作ってもらった作務衣。40年近く前に、親が買い与えた和服が、虫にやられるなど劣化してきた。布地は、私に似合わない高級品。それに和服を着る習慣はない。40年間で来た回数は10回になるかならないか、である。なにか工夫はないものか、と思っていた。まずは恵美子がベストにする挑戦をしたが、素人としてはどうしようもない。

隣人が和服仕立ての専門趣味をお持ちであるので、お願いした。

先日、立派に生まれ変わったものをご持参いただいた。

作務衣上下

はんでん？

さらに、裏地を活用したエコバッグ。

立派に生まれ変わった。涼しくなる今月末ぐらいから着用する機会が増えるだろう。楽しみだ。



こんなやりとりができる近隣関係は、とてもいい。御礼にと、先日は二組で食事に出かけた。

9月28日、卓球のラージボール選手権大会に出場した。ダブルスの欠員補いということもあり、急な出場決定だった。こ



のころは、二か月に1回のペースで試合に出ている。南城市の大会、教職員の大会、そして今回のようなラージボールの大会に、年に1~2回出る。総計でいうと、年6回ぐらいか。

よく試合に出る方々は、試合が連続しているらしい。そのためか、参加者数が少ないとのこと。それでも、選手権大会というだけあって、実力者が沢山出ておられる。私は、



シングル・ダブル合めて1勝8敗。それでも、実力者と接戦をしたりしたから、「ひどい出来ではなかった」と自己満足をしている。

空き時間に、久しぶりの方々とダベるのも楽しい。今回は、年長者と語ることが多かった。80歳前後の方お二人、70代前半の方数名と語り合った。皆さんお元気だ。ラージボールは、30代からこの年齢の方々まで、対等な試合ができるのが面白い。年長者の方のすごワザに、びっくりという場面がしばしば。相手コートに入った球が、自コートに戻ってきて、相手が届かない場面では、みんなびっくり。相手は優勝者だったのだ。

私も、変な技があることでは、知られているかもしれない。しかし、ラージボールの練習はゼロに近いので、攻撃がうまくできない。拾うだけとか、見慣れない変化とかで、相手のミスを誘うだけでは、どうしようもない。でも、一応試合にはなっている、と自己満足はしている。「そのうちには」と思う。

後期授業準備 論文執筆 人生計画など 9月15日

日本生活指導学会沖縄大会の終了とともに、8月のあわただしさが終わった。休暇に入った感覚で、しばしボーっとしていた。

それでも、9月末からの沖縄大学「生徒指導論」、10月半ばからの琉球大学「特別活動の研究」の準備を終えた。「特別活動の研究」は、すでに4回担当し、中味・進め方が定着してきたので、前回とほぼ同様に進めることにした。44年間大学授業をしてきて、たとえマイナーにしても、いつも授業プランに手を加えてきたなかであって、ほぼ初体験のことだ。授業は、教員がつくるだけでなく、受講生たち自身が作るものだから、私の方で、細かいプランを作りすぎるのも問題だと考えるようになったこともある。

「生徒指導論」の方は、長年担当してきた「生活指導論」の10年以上ぶりの担当ということもあるので、全くの新規バージョンを作成した。受講生は、昨年前期に「教職論」を受講しているのだから、顔なじみだ。受講生にとって、かなりチャレンジングな中身進行なので、受講生の反応が楽しみだ。とても意欲的な学生たちなので、すごいものが出てくるだろうと期待している。

授業準備を終えて、春から開始した「沖縄的なもの」をめぐる長大論文の執筆作業を再開した。現在4万字近くになっているが、最終的には、10万字を越すものになりそうだ。中味については、いつか中間報告することにした。完成には、2~3年必要だろう。

そんな長期作業もやっているし、生活指導学会で、私の人生計画について提案したこともあって、今後の私の人生計画も考え始めた。たとえば「次のようなことが、あと何年できるか」といった計算が必要だろう。

大学授業 ○○委員などといった類の仕事 学会所属と出席 自動車運転 卓球 原稿執筆

また、書籍整理とか衣類整理といった老前整理は、いつまでをめどにするか。

こうしたことを、何を区切りにして設定するか、ということもある。まずは、大学授業歴50年になり、結婚歴50年になる、2022年(76歳)をイメージしている。

健康状態・体力との相談も必要なことで、計画通りにいく可能性は高くはないが、計画を立てることは楽しい。



玉城・南城生活満10年 9月10日

今日9月10日は記念日。

2004年9月10日、我が家が完成し、私たちは玉城・南城生活を始めた。なにか記念行事でもしようかと思いつつも、何もせずに来てしまった。昨日、二人でカラオケに行っただけだ。

我が家建設当初の生活風景は、2007年春刊行した「沖縄田舎暮らし」をご覧ください。

その後の生活は、大きな事件なしに、淡々とではあるが豊かに、そして少しずつ変化しつつ今日に至

ったという感じだ。

10年前の写真を見つ、我が家庭畑の変化を感じ取りたい。生活開始3か月後の12月撮影の写真だが、打ちっぱなしの



建物の灰色と、地面の茶色が目立ち、緑がとても少ない。マンゴーなどは、建

築に先立って移植していただいたが、高さわずか1~2メートルだった。今では巨木に近い。

玄関アプローチには何もない。

それから10年、いろいろと世話してきた。今では緑あふれる世界だ。溢れすぎているので、散髪を丁寧にしなくてはならない。としても、できるだけ自然流でいきたいものだ。

家のなかも、いろいろなモノが満ちてきたので、老前整理も兼ねて、さっぱりした姿をつくり保っていききたい。私個人の生活も、年相応にさっぱりした雰囲気をつくっていききたい。



我が家の夕陽さえぎり役の千年木 9月8日



我が家は、南南西に向いているので、夕陽を遮る必要がある。その役目を、ベランダに置いた千年木に果たしていただいている。ここに住み始めてすぐに、挿し木で鉢植えにしている。3階ベランダには現在10鉢。約50本。



挿し木はいたって簡単。幹を10~40センチぐらいに切って、地面に刺すだけ。しばらく水に浸けておけば、なおいい。成功率は80%以上だ。地面に刺す前に、棒で穴をあけておけば、なおいい。1990年に沖縄から移るとき、土産という意味で、また西原の家にあったものの記念という意味で、千年木を数本持っていった。挿し木で愛知の家で育て、また、知人友人に配った。中京大学研究室にも置いた。中京大学を退職するとき、事務室に記念で差し上げた。

問題は、台風時の強風対策。一つは鉢を大きくして倒れるのを防ぐこと。風速35メートルを越えそうなときは、さらに幹をロープで、壁面に固定する。7月の台風は50メートル吹いたが、倒れないで、10数本がロープ固定個所のすぐ上で折れた。

台風後、2か月がたち、折れた枝から新たなものが伸びてきて、現在30センチほどになる。台風被害は、おおよそ半年で元通りになる。千年木は強力なのだ。

最近、4階ベランダでも育て、私の仕事部屋を暑さから守り始めている。4階は暑いですが、屋上に、太陽光発電パネルとドラゴンフルーツ鉢10数個を置き、窓辺は千年木という複数作戦で、温度を下げられるようになり、夏場でも仕事しやすくなった。

生活指導学会終わる 南城市議会選挙 海岸清掃 竜巻

9月2日

29~31日、沖縄大学で開催の日本生活指導学会が、濃密な中身で終了。中身紹介は、別の記事にして、いくつかのトピック

- 1) 懇親会途中に、沖縄大学のエイサー部によるエイサーの披露に参加者はおおいにノル。写真
- 2) 全国から多様な分野の参加者に、沖縄からの意気盛んな参加者たちとのからみが絶妙。
- 3) 重たい問題をかかえた若者、そして、新たな生き方を模索する人々の挑戦をめぐっての、かなり突っ込んだ濃縮された討論に、多くの参加者の頭が、豊かに「膨れ上がる」
- 4) 沖縄大学教職員学生を中心に若い人たちの運営による進行に拍手
- 5) 我が家から会員控室に持ち込んだハーブティーが大好評。私は満足
- 6) 平川節子さんのサーターアンダギー100個の差入れがすごい。
- 7) 私は、コメンテーター・発表・司会と、大忙しで頭がパニック寸前だったが、なんとか乗り切る。興味深いと、のめりこみ過ぎる癖から脱け出しきれない。



31日公示の南城市議会選挙。前日朝、我が家から那覇に向かう途中、あちこちで8名もの候補予定者が、道路脇で朝の挨拶。びっくり。31日の候補者カーも、私の集落周辺にたくさん来られる。いままでになかったことだ。事前に、我が家のポストに投入された候補予定者のチラシ類は、10名ほどのもの。これまでにない多さ。激戦の様相だ。

候補者の主張や政策がわかるといいが、それがわかる宣伝が、以前より多くなってきたが、不明の人がまだ半数近いのは残念。

29日、中山海岸で400名参加の清掃活動。夜、フェイスブックで知る。知事まで参加したとのこと。大規模清掃はこれまでも何回かあったが、多くの場合、地元に住む私たちが、それを知らない(知らされない?)のは残念。

私たちが数人でやっていた時は、山のようなゴミの2,3%しか拾えないが、大規模作業だと、99%のゴミが消える。人海戦術のすごさを感じる。だが、この海岸は、2~3か月で、以前同様のゴミ状態に戻る。流れ着くのが多いからかもしれない。人海に加えて、工夫がさらに必要だろう。

これまた30日のフェイスブックで、この海岸にあらわれたタツマキ写真を見る。昨年もあった。増えてきているのだろうか。怖い話だ。

南城卓球60代優勝 訪問者のシーズン

8月25日



このごろの私のトップニュースは、24日の県民体育大会（卓球）の南城市選手選考会の男子60歳代で初優勝したことだ。南城市大会の開始以来ずっと出場していて、ほぼいつも同じメンバーとの対戦で負けてばかりの連続だったが、ようやく、なんとかなった。

午前中の試合は、勢いがでないうちに負けるのがいつものパターンだったのが、今回は、いつものハーブティーにコーヒーを混ぜた飲み物で目覚ましにしたことと、珍しく試合前にきちんと練習したことがよかったのかな、と思う。

これで、久々に、11月の県民体育大会にでることになりそうだ。

フルセットの試合が続いて疲れてしまったので、午後のシュガーホールでのコンサートは失礼をした。

毎年、8月中下旬は、我が家への訪問者が多い。息子家族に続いて、宮崎、千葉、大阪からであり、これからも、生活指導学会沖縄大会があり、まだまだ続きそうだ。お互いに旧交を温めるという感じだ。

22日に、義母の13回忌のために、久々に宮古を訪問した。宮古訪問は法事などの際だけということになって来た。いろいろな世代の親戚・知人たちと久々に語り合うのも楽しい。加えて、ゆったりしたスケジュールにした今回は、久々に夏の宮古めぐりとなった。

孫たち イノーで遊ぶ 8月13日

毎年、この時期になると、息子家族が滞在する。孫たちは、まずは大好きなイノー遊びに出かける。

かれらは、砂遊びをし、ヤドカリ、カニなどを捕まえる。

写真は、捕まえたソデカラップ。孫が図鑑で名前を発見。干潮時には熱帯魚も一杯だ。

これが我が家の夏の風物詩

空港に出迎えると、NHKにインタビューされる。息子も孫も恥ずかしがる。2、3年前にもインタビューされて、恵美子が夕方ニュースに映っていた。今年は、映ったかどうか、ニュースをみていなかったもので、不明。



いつもは静かな我が家が、元気な孫たちのおかげで、百倍の音量の世界になる。

気分と身体の洗濯 NHK 真打競演 マッサージ 人間ドック 7月28日

前学期の授業が終わるなど、いろいろと区切りの季節だ。旧盆が近いので、夜になると、あちこちでエイサーの練習の音が響いてくる。

そんな時、いろいろと洗濯の季節だ。

「笑いで気分を洗濯する」というのもある。



26日夜、シュガーホールでの「NHK 真打競演」の公開録音を聴きに行く。笑の連続で、気分を洗濯になった。写真は、開演の前に、進行係が観客に拍手の練習をさせるときの会場風景。進行係が、手を挙げて回すと拍手、手を下すと、拍手終了というわけだ。

会場は満席。早めに着いたつもりだったが、最後あたりだった。観客は私が平均年齢ぐらいか。全沖縄から集まられたようだ。シュガーホールで、こう

いう企画は初めてだろう。

出演者は、ケーシー高峰をはじめ、超ベテラン揃い。観客と出演者のどちらが人生経験豊かかを競うような感じ。コント（漫才）・漫談・落語を二つずつ。10月に二回にわたってラジオ放送されるとのこと。

超気軽な気分で大いに笑う。実は、こうしたものを生で聴くのは初体験。

女房が旦那に「今見ていた夢の話聞かせろ」というが、旦那は「見ていない」ということで、夫婦げんか、それを仲裁に入った隣人ともケンカ、さらに大家とも喧嘩、そこで、奉行に判断を仰ぐが、奉行にも叱られて刑を受け、それを助けた天狗ともケンカ、という話の落語などなど。

身体の洗濯は、月一回のマッサージ。最初の数分、いろいろな箇所をもんで、その日重点的にマッサージする箇所を絞り、1時間施療。これまでは肩甲骨周辺が中心だったが、今回それはなく、肩甲骨から腰・足の方へと重点が移る。肩甲骨はようやくコリなどがなくなり、順調に動くようになった感じだ。

この重点に注目しながら、ストレッチなどの私の日常管理もしていく。

もう一つの洗濯というか点検というか、人間ドックを受ける。

今年は、昨年が続いて、一生服薬が必要な逆流性食道炎を除けば、新しい異常はない。むしろ、改善になった

ものが多い。たとえば、肺活量が伸びて改善している。

対照的に、身長が縮む。20代に173.5センチだったものが、いまや171センチ。

医師に質問すると、「加齢のためだろう」といわれるものが増えてきた。まさに「しょうがない」。

人間ドックベテランになり、「慣れっこ」になってきた。そろそろ、人間ドックからの卒業も視野に入れなくてはならないのかな。

家電製品操作に振り回される 認知症病棟訪問

7月23日

このところ家電製品の買い替えがたびたびあった。

まず、5年たち、スキャナーなどいくつかが機能しなくなったので、プリンターを買い替えた。今や、1万円以下できちんとした新品が買える時代であり、修理する時代ではない。もったいない気持ちもあるが買い替える。もともと、貧乏根性が染みついているので、インクが全部なくなるまで使っていた。

プリンター設置は、比較的単純で、うまく動き始めた。

もう一つの購入は電話機。FAX付の親機と2台の子機というこれまでの構成の品を求めるが、店頭にたくさんある機種の中かで、この要件を満たすのは2種しかなかった。店で顔なじみになった南城市在住の担当者のお世話になったが、このごろでは品選びも担当者のご指導に従うのが楽だと感じるようになった。

電話機設置は結構面倒だったが、時間をかけてなんとかできた。その折に、テレビを移動した。するとBSが映らなくなった。

こうした家電製品は、本当ならマニュアルをきちんと読んで対処しなくてはならないが、それを読むのが面倒になってきたのは、まさに加齢のためだろう。すると、これまで私任せだった恵美子が奮闘し始めた。BSは恵美子が解決したのだ。

こんなことが多くなる年頃だ。

先日、認知症病棟を訪問する機会があった。患者が移動したばかりの新築病棟で、私の予想を超えて、いいところだった。

明るい。病室も集う場所も広くゆとりを感じ、しかも窓から景観が素晴らしい。

お菓子をもって行って、一緒に食べたが、隣の部屋の人にも「頂戴」といわれて、一緒に食べた。楽しい雰囲気だ。患者同士の認識は不確かなのだが、楽しく付き合っていそう。職員が患者の一人といっしょに沖縄の歌を歌っているのも、明るい雰囲気を作っている。この雰囲気が、患者にプラスに働いているようにおもう。

もし必要があって入るなら、こんなところはいいなあ、とさえ思う。



こういうことを身近に感じる年頃になってきた。

台風の後片付け 7月18日

8日来襲した台風は、木々の枝葉を大量にまき散らし、野菜やハーブを痛めつけた。後片付けに、2週間は必要だろう。敷地の上方から順にやっているが、やっと畑にとりかかったところだ。我が家の植物だけでなく、周辺の森からの枝葉が多いのだ。それらをすべて堆肥化するつもりでやっている。量が多すぎて、一時的な置き場がいくつも必要だ。

こんな状態なので、連載を始めたばかりのハーブの記事の再開は、しばし後になる。お許してください。ハーブ類は強いので、ほとんど生き残っているが、写真撮影できるような状態になるには、一か月近く必要なのだ。



野菜類は、この時期は、もともと少ない。モロヘイヤやツルムラなどがようやく立ち直りつつある。夏どうするか、というより、9月に始まる秋野菜の植え付けの下準備をやがてする時期だ。

果樹は、収穫中のパッションフルーツが、まだいくつかぶら下がっている。棚がおおしく傾いたが、その処理はこれからだ。風で傾いた木を立て直す作業もある。

ところで、なぜか、大量にいた蚊が激減した。畑作業が楽だ。代わりにというか、オオジョロウグモの巣にぶつかるのが日常的で、慣れているとはいっても、気分のいいものではない。

話がかわるが、20年余り前、林野庁が募集した森林オーナー制度に応募して、息子娘たちの名前で購入したものが、期間終了になり、木材販売に至る。50万円支払ったが、実績をみると、20万円になればいい方で、大損だ。日本の木材価格がそれだけ下落したということだ。買った当時も、下落中だったが、20年すれば、きっとよくなるという私の見通しは大変甘かった。

農業だけでなく、林業もひどい事態になっている。日本の森林を見直そうという動きがあるが、政策的にみると、効果的な措置が取られなかったということだろう。

写真は、台風で折れたティートリー。3、4年前の台風で根元近くから折れたが、回復が早かった。今回、枝が折れたといっても、たいしたことはない。災害に強い木のようなのだ。

台風襲来 訪問した海外からの家族の初体験

7月10日

トロント時代前後から交流のある家族が我が家に滞在。台風襲来で飛行機が飛ばず、予定を越えて滞在。台風体験が一生の「思い出」になるかもしれない。

台風襲来前にいろいろとする。海岸散策のつもりが、泳ぐ。中山海岸で泳ぐのは珍しい？

そして久高島訪問。子どもたちはすぐに泳ぐことに関心がいく。後になってから日焼けで痛いと呼ぶが、時すでに遅し。

朝、玉城小学校の読み聞かせに参加。母子が英語と日本語で読み聞かせ。玉小の子どもたちはびっくりしたことだろう。



その後、美ら海水族館へ。はじめは「水族館なんてつまらないから行きたくない」といていた子どもも、大水槽とジンベイザメやマンタに圧倒される。沖ちゃん劇場でスプラッシュを浴びてびしょ濡れに。最後は帰りたくなさそうになる。私は、台風対策で急いで帰りたいのだが。

台風に関じ込められ、しかも停電。それでも子どもたちは何かと遊びを見つけ作り楽しんだようだ。

我が家の台風被害

1) 電話線が切れて、不通。NTTに携帯で電話するが、通じない。20回ほど繰り返す。まだ通じない。その後も20回繰り返し、20時間ほどしてつながり、修理依頼を終えた。工事までには時間がかかりそうだ。

——10日昼前工事完了。

2) ティートリーが折れる。3~4年前は、根元近くで折れたが、今回は、早く回復できそうだ。

他に何本か折れる。ベランダの千年木は、頑丈にしぼったのが逆効果か、全体の半分の20本ほどが折れた。回復に半年かかりそうだ。

3) 落ちた枝葉が大量。後片付けに数日かかりそう。

4) ゴーヤやナーベラなどは、壊滅に近い。片付けが進行すれば、新たな被害を発見しそうだ。

この10年間では、5番目ぐらいの被害かな。

5) 停電。27時間。通電したが、Wimax がつながらないから、インターネットがすべてダメ。このブログ投稿はいつになることやら。Wimax に問い合わせると、基地局のある中山公民館がまだ停電だからとのこと。

私たちは、コンピュータもできないし、降雨のため外の片づけもできないので、「猿人の湯」に出かける。すると、中山の別のカップルと出会う。停電のため、ここに来たとのこと。同じ中山でも、まだ停電のところがあるようだ。

丸2日半たって、ようやくインターネットが使える状態になった。

写真は、台風最接近時に、海岸方向を撮影



補聴器 原稿書き

6月29日

膝肩の痛みから解放され、ウォーキングも再開。歩数と速度を少な目にして、リハビリ的にやっている。卓球練習も含めて、完全復活にはもう少し時間が必要なようだ。

梅雨明けしたが、例年のように暑い晴天が続くというのではなく、時々雨が降り、やや不安定な感じだ。だから、太陽光発電量は、思ったほど上昇しない。

そんななか、やや忙しめの6月が終わろうとしている。看護大学・沖りハの授業が終わり、7月は琉球大学の授業だけだ。

7月13日には、尚巴志活用マスタープランの具体化を始めるシンポジウムがあり、パネリストとして参加する。そのためのレジメ作成にあたってきたが、ようやく完成。

加えて、8月末の生活指導学会での自由研究発表「地域おこしと人生創造」の作成準備をしてきた。ある程度できたが、何人かの人にインタビューして、内容を発展させようと考えている。7月後半はそのインタビューをするつもりだ。

もう一つ原稿書きをしている。科学研究費の共同研究作業の一環として、「沖縄の文化芸能・教育における『沖縄的なもの』の生成排除変化」というタイトルのものだ。3年がかりで書こうと思っているが、現在A4で5枚ほどになった。最終的には、A4 20~30枚の長大なものになりそうな気配だ。久しぶりの長い論文書きだ。

だから、このところの私は、原稿書き、授業、ブログ書き、畑庭作業・家事、卓球とウォーキングという構成で日々を過ごしている。しばらく前までは、原稿書きの代わりに、ブログ過去記事を編集してホームページに掲載する作業をしていたが、それはしばし休憩して、来年1月に再開する予定だ。

もう一つの話。授業中、10メートルぐらい離れた受講生の声が聞き取りにくいので、そろそろ補聴器使用を検討しなくてはならないかと思い始めた。2年前に耳鼻咽喉科で検査を受けた時は、まだ補聴器使用のレベルではないといわれた。

使用している人の経験談などをもとに、崇元寺にある琉球補聴器を訪問。実に丁寧に應對してくださる。聴力検査もしてくださる。2年前の検査とほぼ同じ結果で、2000ヘルツが落ちているようだ。子音が聞き取りにくいレベルのようで、たしかに子音にかかわっての聞き直しが多くなっているようだ。

実際に、補聴器を装着してみるが、大きな変化は感じない。補聴器は3メートルぐらい先までの聞き取りを助けるようだ。10メートル先は難しいようだ。

ということで、補聴器使用は先延ばしすることにした。また、2、3年先に検討してみようと思っている。

規格外の超高級ゴーヤいただく ゴキブリがボイラーをストップさせる 6月4日

この時期、中山近辺の農家ではゴーヤ収穫作業で忙しい。大都市市場で高値で取引される高級ゴーヤだが、大きくなりすぎて、規格外扱いになると、もう商品にならない。私などは、むしろこの方が価値が高く、一本30



0円はすると思う。すぐに規格外扱いにする流通システムに問題があると思う。

そんなゴーヤを近隣農家からいただく。30センチぐらいだ。

もう一つ話題。このところ、ボイラーがエラー表示してストップする。入浴中だから困る。それでも、スイッチを入れなおすとなんとかなる。その頻度が高くなってきたので、我が家の「修理専用スタッフ」で、沖縄民謡界大物の加藤さんにお出まし願う。点検してみるが、大きな問題はなさそう、ということだった。ついでに、クーラーも

点検してもらう。

加藤さんの点検が終わった翌日から、ボイラーは完全ストップ。またお出まし願う。ボイラーのなかからゴキブリを発見。取り除くと順調に動き出す。

ヤモリのイタヅラは、しばしば経験しているが、ゴキブリは初体験だ。

歯 卓球 5月31日

5月は記録的な降雨なようだ。曇り空雨空続きで、我が家の太陽光発電も、5月は3月4月の発電量レベルよりも低いまま終わりそうだ。

畑も水が溢れ、やぶ蚊が大量発生し、作業も大変だ。



4月終わりに折れた前歯の「修繕」は、歯茎が化膿していたため、少々手間取ったが、写真のように、ようやく「完成」にいたった。写真の左側のやや白っぽいのがそうだ。歯茎部分は自前の歯だが、それに人工歯をくっつけたのだ。折れやすいので、丁寧に扱うように、との歯医者者の指導だ。それにしても、この歯も含めて、自前の歯は、26本。80歳で20本は、達成できそうな感じがする。

5月は結構忙しかった。例年も比較的忙しい月であるが、今年は学童クラブをはじめとして南城でのいろいろなことがあったことが特徴だ。

毎年出場している南城市卓球大会には、我が中山は選手をそろえられず、このところ欠場続きだし、今後出場見込みがたたない。ということで、私は、昨年と今年、船越の「補強選手」として参加。私は全敗だったが、船越は準優勝という栄誉に輝いた。40歳以上の部に出るのだが、元沖縄代表クラスの強い選手が40歳以上になりはじめ、以前のようにほとんど勝てるということは無理な話になりつつある。

それにしても、この折りに、久々に会う人も多い。というか、南城市内での行事にいくと、顔見知りに出会う確率が高くなってきた。ここに住み始めてまもなく10年になるから、当然のことだろう。

テレビに映る 臨終の夢 前歯が折れる 日程間違い 4月27日

このごろの私に起きたいろいろなこと

1) テレビに映る

4月6日に、ラージボールの卓球大会に出た。年齢別の大会だが、日ごろ練習ゼロなので、それ相応の成績だ。それでも、実力者と対戦できて楽しめた。

何日か後の夕方ニュースをチラッと見ると、どこかで見た光景がでる。なんと、試合中の私が写っているではないか。途中からほんの1秒ぐらい見ただけなので、どれほどの秒数かはわからない。その日の卓球練習で、「見た」という人がいたので確かだろう。私がロビングで応戦しているのは、画像にしやすいのだろう。

5月に那覇で開かれる九州大会へのプロモーションを兼ねての放映だったようだ。試合当日、テレビ撮影がされていたのは気づいたが、「まさか私が映るなんて」であった。

2) 自分自身の臨終の夢

朝方、いい気分で見た夢。私自身が臨終を迎えて、家族と対面し、息子に「ありがとうね」といっている。そこで目が覚めた。恵美子に話したら、夢分析のイギリスの本を見せてくれた。3つほどの解釈が書いてあるが、私の感覚とは微妙に異なる。いずれにしても、不吉とか悪いとかの意味は書いていない。むしろプラスで積極的な意味が書いてある。私の感覚もそうだ。幸せ感覚が漂っていた。

3) 前歯が折れる

数日前、夏みかんを食べているときに。前歯が折れた。早速、歯医者に行く。珍しい折れ方だそうだ。あと1~2ミリ深く折れたら、抜歯だったそうだ。何回か通院して人工歯をくっつけることになりそうだ。

これまで、2本の歯が抜けて、自前の歯は26本だ。「80歳で20本」というスローガンをよく目にするが、なんとかそうなりたいと思う。

4) 三島さんの出版祝賀会の日程を間違える。

朝にその日のスケジュールを確認するのだが、26日に「今日は出版祝賀会」だと思い、案内状を見ると、なんと25日で、終わっていた。早速、謝罪のメールをする。

久しぶりのオオボケだ。もっとあったかもしれないが。

いろんなことが、年相応に起ってくる。

医師が人間に還る 「神様のカルテ№2」 数年ぶりの映画鑑賞 4月3日

3月の沖リハ謝恩会のビンゴゲームで、恵美子がペア映画招待券を当てた。数年前にも、同じことがあったので、恵美子はビンゴ運が強いようだ。私は、映画を数年に一回ぐらいしか見ない。

どの映画を見に行こうか、迷っていた。「神様のカルテ№2」も候補の一つだった。偶然見た月曜日のNHK「家族に乾杯」に出てきた櫻井翔が、映画撮影の話をしていて、というわけで、1日、急に見に行くことになった。

365日24時間患者を受け入れる病院に働く医師とその家族が中心登場人物だ。24時間態勢で働く医師が、とまどいつつ働く中での葛藤を描く。転任してきた医師が、定時に帰宅することへの苦情非難が渦巻く中で、その医師が、娘の保育所への迎えのために定時帰宅することがわかるなかで、ドラマは展開していく。また、ベテラン医師が、「医師の不養生」といいながら、病に倒れ、同僚医師・家族たちとのからみあいドラマが生まれていく。そのなかで、効率性・ビジネス性追求の医師という前に、「人間」であることを訴えるドラマを共謀して作り上げていく。

大変感動的で、泣いた。映画が訴えているメッセージには、長時間労働の医師に象徴される医療の世界、ひいては働きすぎの現代社会に対する、「人間」としての問いかけがある。社会の仕組みの問題であるが、そのなかの一人一人の生き方の問題でもある。働きすぎを受け入れ、我が身を削るような生き方から卒業しなくては、と思いつつ、そこに至らないありよう。そのなかで異議申し立てに生きる人を描いたものになっている。

こうしたありようは、私が長くテーマとしてきたことと響きあう。「まじめ」「勤勉」「やりがい」「いきがい」といったことが、実は、働きすぎを増長してはいないのか、という問いかけを、いかに展開するのか。

そうしたありようは、自縄自縛の働きバチを生んではいけないだろうか。長時間労働・働きすぎではない形で、こうしたことを追求できないのだろうか。

そうした追求を一人一人の生き方のレベルで展開しないと、ありようは変わらない。こうしたありように耐えうる強い人しか、生き残れないということになっていはいないだろうか。医師たちが、どうやってこうしたありようから卒業していくのか、見つめていきたい。と同時に、医師に限らず、私も含めて専門職にある人たちにはこうした傾向が色濃く存在する。どうやって卒業していくのだろうか。

新年度スタート 消費税8% 今年の担当授業 散策・ウミガメ 4月2日

年度が替わった。今年は、消費税5→8%への変化が話題の中心だ。私も、3月中に、給油、庭畑用品買い物、そして、本の買い出しを終えた。本の買い出しは、当初予定をかなり早めて行った。出かけた31日のジュンク堂は、通常の平日より客数がかなり多い印象だった。文房具売場が新設された。簡単に製本ができるものを発見し購入。

専任としての大学教員を退職して11年がたち、南城玉城生活は、9月で満10年になる。私にとって、一つの時期が終わり、新しい時期に突入という感じだ。

専任期間と非常勤期間とを合わせて、43年目の授業がスタートだ。2014年度に担当する授業は、前後期双方で、琉球大学「特別活動の研究」、前期のみが、県立看護大学「教育学」、沖縄リハビリテーション福祉学院言語聴覚学科「対人援助とコミュニケーション」、後期のみが、沖縄大学「生徒指導論」。総計5コマだ。このくらいがちょうど良い加減だろう。2012、2013年は6コマで、少々フーフーいていた。とくに、学期に

4コマという時はきつかった。

今年の授業準備も終え、来週から始まる受講生たちとの出会いとドラマを楽しみにしている。

南城市の仕事も、二つの長の仕事の任期が切れ、一息入れる。今年は、どんなことが舞い込んでくるだろうか。散策や卓球も、いつも通りだ。少し量を増やしている。昨日1日は雨だったが、傘をさして海岸散歩。なかなか風情がある。他に誰も歩いていないのも、たまにはいい。

いやなのは、息絶えたウミガメが海岸に打ち上げられていることだ。先週発見した。今年に入って2体目だ。中山海岸では、この十年間で1~2体だったが、今年に入って短期間に2体。残念だし、なんとも可哀想な姿だ。

沖展鑑賞 3月29日

年度末になってきた。専任職にあったころはあわただしい季節だったが、このごろはゆとりがある。来客の流れも一段落つき、そして、4月からの授業準備も完了し、一息ついたので、27日沖展鑑賞に出かける。

数年に一度ほど、出かけている。

美術工芸は素人なので批評できないが、全体の印象として水準が高くなっていると感じる。洗練されているというべきか。

それにしても、この分野でも、創作人口が増加しているのだろう。

平川良栄さん(うるま市長賞受賞)、當山雄二さんといった親しい方も出展していた。私が出展することはありえないが、恵美子はブイアートを出そうか、などと驚くことをつぶやく。

鑑賞者は、平日昼間なのにかかなり多い。中高年女性の多さが目立つ。鑑賞者にも、勢いを感じる。沖展の裾野の広さを感じた。

この日は、沖展前後に、沖リハ・看護大によって、4月からの授業のテキストとプリントを預け、久しぶりのおもろ町にも立ち寄った。渋滞にはあわなかったが、自動車の多さには驚く。那覇浦添の町中を走る機会は少ないが、私の原型である1970~1980年代風景とはまるっきり変わっている。

この3月で退職満11年を終えて、12年目に入り、そして、第二次沖縄生活満10年を迎える。ゆっくりと、次の大きなプランを作ろうと目論むこの頃だ。

外階段完成 マッサージ 床屋 朝早い目覚め 3月13日

寒暖の変化が激しいこのごろ。

寒くなって、予定の床屋行きを延ばしたほどだ。床屋は、近くの奥武島に行く。ここに住み始めてからずっと同じ床屋だ。床屋以上の付き合いが深いので、床屋というよりは、近所の親しい人だ。

散髪後よく風邪を引いたので、散髪後はしばし帽子を被るのが普通になった。風邪も少なくなった。ひきそうな気配を感じると、葛根湯を飲む。それで大丈夫になってきた。

私の健康法の一つは、月一回のマッサージ通い。志喜屋の具志堅さん（店の名は蘭）に通う。ここも7～8年になる。これでもかこれでもか、といったように体が改善されていく。自分の体の仕組み・具合などがどんどんわかってくる。そして、健康になる。具志堅さんとはマッサージ以上の付き合いが広がる。

こんななかで、近隣の耳情報、特に昔情報が集まる。

繁忙の季節が一区切りしたので、床屋もマッサージもいけた。そして、12日から客を迎える。客が庭へも自由に行けるように、外階段（写真）をつくった。

これまでの階段には、崩れた箇所があるので修復が必要だったし、見栄えも悪かったので、きちんとした格好の客は通行をためらっていた。

と言っても、素人なので簡易作品だ。これまでの階段に、赤レンガの踏み石を並べて、モルタルでくっつけていっただけ。初めてインスタントセメントというのを使用した。以前は、自分でセメントと砂、時には砂利を混ぜていたが、時々失敗をした。そこで予め混ぜてあるインスタントセメントを使用してみた。ちょっと値段が高くなるが、失敗が減るし、楽だ。ちなみに、購入した赤レンガがマレーシア製品だったことには驚かせられた。

階段だけでなく、庭・畑の通路の修復も、このやり方で、1～2ヶ月かけてやっていこうと思う。

このごろ、朝目覚めるのが早くなった。4時台に目覚めるのもしばしば。もう少し寝ようと思っても、もう無理。そこで起きてしまう。そして、一仕事をしてから、朝食にする。中学生のころ、よくそうしていたことを思い出す。

長い間、一日8時間以上の睡眠が必要だったが、このところ、そうでもなくなってきた。健康になってきたためか、ただの加齢なのか、そのあたりはまだよくわからない。



尚巴志円卓会議 磯崎主佳展&大池功

コンサート ラージボール卓球大会

3月3日

3月1日2日のできごと。

まず、1日午後の尚巴志活用マスタープランの円卓会議。たくさんの方が集まった。関心の高さを反映し

ているのだろう。進行役のとてもテンポがよく、掛け合いがうまい進め方で、会場は集中し盛り上がっていく。南城は、これまで以上に「何かをやる」という雰囲気が出てきた感じだ。

聴衆も三人組を作って提言を考えたが、我がチームには、目島興作さんという尚巴志への取り組みの長いキャリアを持つ方がおられた。かれは「もう逃げられないぞ」と話す。13年前に当時の佐敷町時代にも、取組プランを作ったが、合併でその多くが沙汰やみになってしまったが、「今度こそは」というわけだ。会場全体の話題にもなった。

26年度からは、いよいよプラン実施へと踏み出す。期待していきたい。

1日夜は、新里の「風の里」での磯崎主佳展&大池功コンサートに参加。磯崎さんのとても印象的な絵がますます深みと輝きを増している。大池さんも彼特有の「やさしさと味わいのミックス」が濃くなってきた印象だ。お二人の今後のますますのご発展を期待したい。

2日は、数か月ぶりの卓球試合に出場。しかも、数か月前の試合出場以来のラージボールに触る。ラージボール

はほとんどしていないので、シングルは初級に出場。もともと、朝はエンジンがかからないタイプだし、久しぶりなので、最初の試合は大苦戦。逆転でぎりぎり勝つ。次の試合も苦戦だが、何とか勝つ。結果、3人リーグの一位になって、一位グループのトーナメントにでる。その時まで、体が委



縮していたのだと感じ、手を伸ばして思い切ってやることにする。でも、攻撃する前に相手に攻撃されてしまうばかり。結局、拾いまくる30年前の戦法で、しのぐ。結果、優勝してしまった。ラージボールでは初優勝。

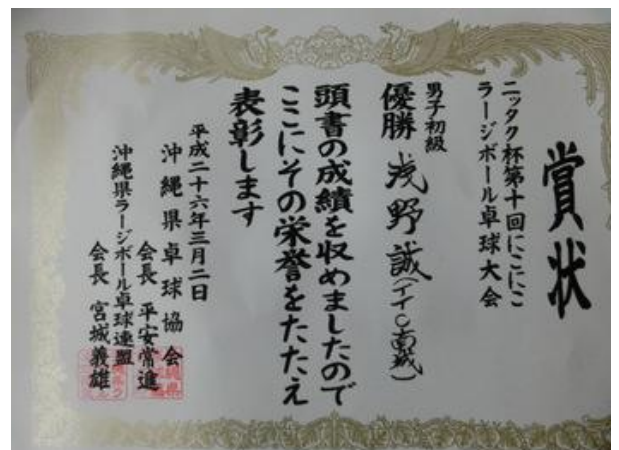
次回からは中級に出場しようかな、と思う。

今回、3~4人の方から、「このブログを読んでいます」と、声をかけられた。こんなことは初体験だし、うれしい限りだ。この大会には140名も参加しているが、私より年長のかたが30~40名おられる。とくに女性はすごい。元気な方は元気なのだ。

混合ダブルスのリーグ戦は、2試合とも強豪と対戦。フルセットまで持ち込んだが、結果3位になった。3位グループトーナメントは1勝したが、次は負けた。でも、強敵にあたって、すがすがしい負けだった。

今回は、合計21セットもやってしまった。

数か月に一回ぐらいの試合がちょうどいいかもしれない。



コンピュータ入れ替えとスケジュールが込み合うこのごろ 3月2日

2月後半から3月前半は、ここ数年で一番忙しい日々になってきた。以前からの予定ではなく、急に入ってきたものが多い。

芸大授業、三島わかな単行本批評会、尚巴志マスタープラン作成委員会のことは、すでにブログ記事にした。加えて、こんな日程が入ってきた。

2月27日 合同研究会「東アジアにおける近現代音楽文化の諸相」

3月1日 尚巴志のまちづくりを考える円卓会議

3月1日 磯崎主佳展 ギャラリートーク&大池功ライブ

3月2日 卓球試合

3月3日 講演会「指定管理者委託の現状—公共文化施設を中心に

4日 同上勉強会

5日 シュガーホール第二期計画の市長への答申書提出

8日 川平朝申研究会と藤原幸雄最終講義

.....

こんなに予定が入るのは、本当に久しぶりだ。こういう日程で学んだこと考えたことなどをブログ記事にしてきたが、今回ばかりは情報量大と時間不足のため、いくつか絞らなくてはならない。

まず、2月27日の合同研究会「東アジアにおける近現代音楽文化の諸相」のことを少し書こう。

三島さんの単行本についての報告に加えて、貴志俊彦「東アジア・ポピュラー音楽史の捉え方」、久万田晋「戦後沖縄の音楽芸能界の状況」の3本が報告され、質疑応答もあり、予定の3時間がさらに1時間も延長する中身の濃いものだった。研究者として油に乗った人ばかりの報告で、勢いに圧倒された。中身が興味深いものであるだけでなく、質疑もよかった。私の出番はなかった。もっぱら吸収するばかりだった。

音楽は、これまでの歴史研究の世界では見かけることが多いというものではないが、人々の感情・考え・行動などが深くかかわるだけに、これまでの歴史研究にはない鋭い問題構造を提示するようだ。私なりに関心を持ち続けたい。

コンピュータは、これまで使用していたウィンドウズXPがサポート終了するに伴い、やむをえず新しいものを購入し、ウィンドウズ8へと乗り換えた。

購入に当たっては、息子の指南を受け、そのスタートには、近隣のコンピュータ専門家の指導を受けた。

レノボのTHINK CENTREというハードディスクだ。ハードディスク以外は、すべてこれまで使用していたものを引き継いだ。

セットアップをはじめると、画像がずれて画面が十分には見られない。他にも私では難しいようなことがいくつもありそうだ。そこで、近隣の専門家の助けを借りたというわけだ。

実際、画像ずれなどは、素人に対応できるものではない。原因は、息子の指南で、コンピュータの反応を早く

するために、なんとかという器具を装着したためだったようだ。確かに、反応はえらく早くなった。

他にも、メール設定など、いろいろと変化しているが、使いやすいように専門家が組み立ててくれて、大変助かる。

私のコンピュータ付き合いは、ワープロ時代を含めて31年になるが、いつも、近くにコンピュータ専門家がいて、いろいろと指導援助されてきて助かった。今回もそうだ。

乗り換えを機に、過去のデータのバックアップを取るのだが、30年間近くでためこんだデータを編集しなおした。私のデータは、99%文字データばかりだ。書いた原稿・単行本のデータは、1980年代末から現在までそろっていて満足している。授業プリントなどもそろっている。

散歩の長距離化 体調良し 猫本の買い出し 1月29日

さとうきび収穫まっさかりだ。近くの畑では、手刈りで頑張る人たちが多く、ハーベスター（写真）を使う人もいる。ハーベスターを使うと、トン当たり6000円かかり、収穫手取りが何割か減ってしまうとのことだ。



寒かった日々に区切りがつき、このところ暖かく晴れの日が多い。絶好のウォーキング日和だ。この時期には、海岸散歩だけでなく、山の方向への散策もする。先日は、喜良原・親慶原経由でユインチ近くまでの長距離散歩をした。いささか疲れた。このところ、歩数をこれまでより2、3割伸ばしている。

体調は良い。卓球を水木と連日で激しくやっても、金曜日に残る疲れが激減している。

12月末は、桜島の火山灰で苦勞したが、その後は、長年続けていた鼻うがいを復活させ毎日欠かさずやっており、鼻喉気管支の調子もよい。先日、逆流性食道炎の薬のために病院に出掛けたが、インフルエンザ患者の多さが目立つ。帰って、いつも以上に丁寧に鼻喉うがいと手洗いをする。

そして、眠りが深くなり、夜目覚めることが減ってきたし、早寝早起きになっている。

ところで、私は、猫嫌いだった。猫の目を見ると猛獸的雰囲気を感じてしまう。だが、BSチャンネルで放映される、動物写真家岩合さんによる世界の猫の番組を見ていると、猫イメージが変更されてくる。先日、我が家一階ウッドデッキで長時間昼寝の猫がいた。見かけない猫。気持ちよさそうなので、強制退去させる気をなくした。この辺りは、飼い猫よりはるかに「捨て猫」が多い。

元日にジュンク堂で本を買い出したが、もう読み切ったので、27日再び出掛けた。14冊2万円余の買い出しだ。今度は、2月3月はおつだろう。それにしても、ここ数年間は、乱読の時代だった。だが、だんだん焦点化されてきており、読書生活も次の時代に移りそうだ。

初日の出 潮花御嶽 濱川御嶽 受水走水 ジュンク堂で本買い出し 1月1日

ヤハラヅカサ近くの百名ビーチで初日の出を見た後、濱川御嶽へ行く（左写真）

その向かいの、私の好きな潮花（スーナ）御嶽も（右写真）

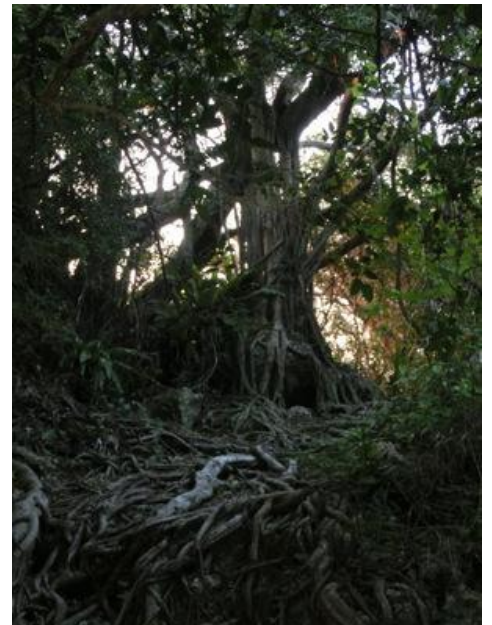
そして、受水走水にも立ち寄る。（左下写真は受水）

受水から、初日の出の写真を撮る（右下写真）

こんなスタイルが、私の「初詣」というべきか。本調子一步前の恵美子は、今回は「自宅待機」

帰宅後、日常作業をいくつかした後、ジュンク堂に本を買いに出掛ける。元日出掛けるのは初めてだ。大晦日ですみたくない本が読了したので、いつものように2~3ヶ月に一回の買い出しが必要になったこともあるが、2日以降は、道路も店も混雑

するだろうと予測してのことだ。予想通りすいすいと進み、超スロー運転の私でも、30分余りで到着。まさに新記録だ。普段だと空いていても45分ぐらいかかる。店もがらがらだ。元日から営

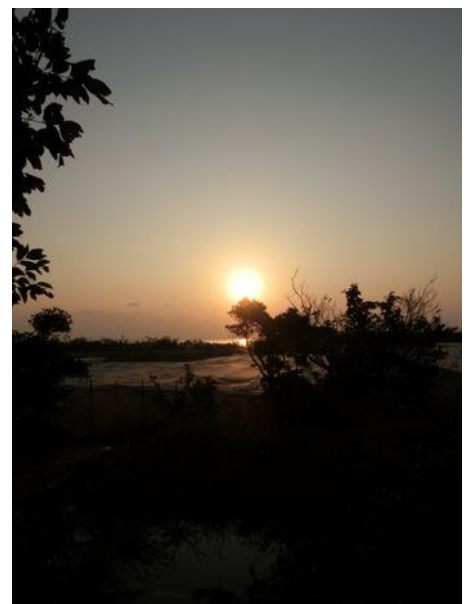


業まですることはしないのに、とさえ思ってしまう。

今回は、いつもより少な目の1万5千円余りの11冊を購入。私としては、満足状態になる。帰宅後、畑仕事、年賀状読みと返信書きなどをした後、読書開始。



こんな元日だった。



2013年

メダカはたくさん産卵するが、親が卵・幼魚を食べるので、育てるのは難しい

12月13日

8月から水槽でヒメダカを育てている。それ以前の水槽住人カダヤシ（タップミノー）は、他の池や甕で一杯育っている。

20匹購入したが、現在8匹。

それでも、産卵を繰り返しているようだ。「ようだ」と書いたのは、どれが卵だか、よく分からないからだ。

卵を移さないと、親が食べてしまうと教わった。そこで、卵をうみつけたらしいホテイアオイを別の容器に移す。すると、数日後、赤ちゃんが何匹も泳ぎ始めた。半月ぐらいして、水槽に戻すと、すぐに消えた。親が食べたようだ。



ということで、長期に別の容器で育てることにした。ホテイアオイを新しい容器に移すと、数日以内に赤ちゃんがでてくる。現在、バケツに8匹ほど。加えて、別の容器には、生後3ケ日目ほどの2匹。もう一つの容器は誕生待ち。

左写真のやや上方に見えるのは、生後1ヶ月ぐらいの幼魚。与えた餌をもう一人前のように食べている。

右写真は、赤ちゃん育て用のバケツと容器

久しぶりの風邪 クバ植え

12月8日

11月末に琉球大学「特別活動の研究」が終わった。最後に残った数人のレポートも無事到着し、単位取得を願う受講生は全員OKラインに到達した。これで、12～2月は県立芸大の月1～2回を残すだけになった。

このブログでもいろいろと書いたが、11月後半はいろいろな行事が目白押しだった。南城市界隈の活性化を実感するものだった。

そうした一連のことが終わったためか、「気が抜けて」、ほぼ3年ぶりに寝込んだ。風邪が気管支炎気味になったのだ。丸二日余り寝て回復してきた。10年前までなら、高熱を出して数日寝たのだから、よくなってはきている。

11月終わりから、急激に寒くなったことも、体調崩しの一因だ。連日、平年気温以下の日々が続いた、季節の激変に身体が追いつけなかったわけだ。

12月中旬に名古屋に行く所用があるが、絶対にいかなければならないというわけではないので、寒さに躊躇している。すっかり寒さ嫌いになってしまった。

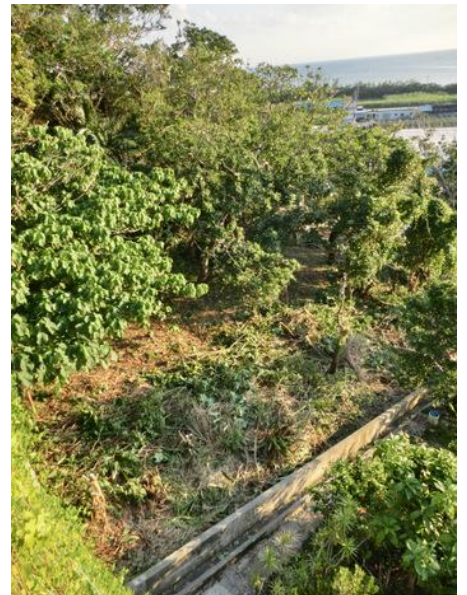
寝ている時に、恵美子が、こぼれ種から、クバが発芽しているのを近所で見つけて庭に植えようと言う。写真は、そのクバの苗だ。



クバは神聖な木であり、恵美子が好きな木だ。3ヶ所に植えた。

先週は、隣の奥武島の巨大墓の森の下草刈り・樹木剪定が、大がかりに行われ、森の向こう側の今までは見えなかったところまで見えるようになった。

森でなくなったような印象を受けるので、少し寂しい感じもするが、半年もたてば復活するだろう。



4日記事で紹介したクミスクチ

ンの乾燥が進んでいる。このところの気候が乾燥に好都合と言う事もある。煎じて飲む。薬草らしくて美味しい。



新しい鍋での簡単料理 料理大会 近隣

の宴会 教職員卓球

10月29日

新しい鍋というかフライパンというか、そんなものを購入した。密閉性が強いタイプだ。だから、野菜などを重ねて、水蒸気がでてくるようになったら完了と言う具

合だ。私一人での食事の時に助かる。

シチューもそれで容易に、かつ速く作れる。私の定番料理のカボチャスープなどをそれで作るようにしている。私の料理は、素材を生かす事が基本で、味付けは簡単だ。ダシとごく少量の塩コショウ、時に味醂とヨーグルトを加える。5種類ぐらいの野菜と、時にはキノコを加えた料理だ。肉は減多に使わない。

こんな超あっさり料理作りに、この鍋は重宝している。

先週、我が家に、恵美子の○十年前の卒業生が集い、料理スペシャリストの卒業生の指導で料理大会をした。私の料理法の20倍ものこりようだ。わたしもご相伴させていただいた(写真)。

日曜日には、久しぶりに、合唱仲間と近隣の方々でお食事会をした。我が家に10人近くが集まる。料理を持ち寄ったので、10種類近くの料理を楽しんだ。私は、例によって、数種類の野菜をきざんだだけの野菜サラダを出す。食事の合間に歌も歌う。

日曜日昼間は、年に二回の沖縄県教職員卓球大会。参加者数は少ないが、充実したゲームを楽しめた。団体戦個人戦を合わせて、5試合。実力が格段に上の人3人と実力均衡の方2人と当たる。結果は2勝3敗。私としては、大変充実した試合をさせていただいた。格上の方にはいずれもストレート負けだが、各セットの獲得得点は7~9点が多かったので、満足だ。

団体・個人ともに準優勝だから、善戦だろう。

最近、ますます勝負へのこだわりが減ってきたが、試合を通して学ぶことが多いし、それを自分のワザ向上に生かすこと自体が楽しみになってきた。卓球の楽しみ方が変化してきたのだろう。

先日の卓球練習の最中に着信があったので、こちらからかけると、30年前の卒業生2人が語らいつつ遠方より電話してきたとのこと。電波事情が悪かったこともあるが、私の耳状態のためもあり、また、余りにも久しぶりで、最初はよくは分からなかった。でも、すぐに分かり、お互いに元気な様子で嬉しかった。50代で繁忙だし、責任ある仕事についていて大変だが、健康に留意した御活躍を期待したい。

かつての卒業生が集まり、語らうのも楽しみになりそうだ。

卓球 誕生日 孫からのみやげ 10月14日

授業スタートもあり、やや慌ただしい日々になりつつある。それにしても、10月は季節もよくなり、いろいろとある日々だ。いくつかを紹介しよう。

13日には、体育の日関連行事だろうが、ラージボールの卓球大会があった。3年ぶりに出場した。TTC南城は2チームをつくって出場。Aチームは優勝、Bチームは最下位寸前。無論、私はBチーム。それでも、結構楽しむ。

最後に、混合ダブルスの試合があった。組む相手が見つからない私は、メンバー編成を大会本部にお願いした。私は、宮古から来られた初対面の方と、ぶつつけ本番で試合。二人合わせて140歳以上のグループだ。高年齢だが、たくさんのペアがいる。ラージボールが、かなり普及してきたことを示しているのだろう。ラッキーなことに第三位になる。

70代、80代ともなると、女性は沢山おられるが、男性は数少ない。ここにも平均寿命データが顔をのぞかせているのかな。

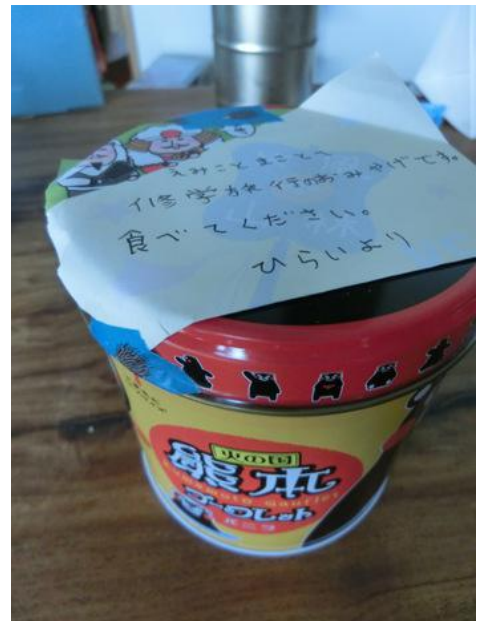
12日は、私の67歳の誕生日。恵美子と、ユインチの温泉とレストラン食事に行く。恵美子から、携帯電話の飾りのプレゼント。

事実上今年から始めたフェイスブックで、たくさんの人からのメッセージをいただく。こんな経験は初めてだ。フェイスブックにはめったに投稿しないが、こんな風にいただく一方だ。お応えとして、こんなメッセージを書いた。

「誕生日おめでとう」というメッセージをたくさんのかたからいただくのは初体験で、不思議な気分です。有難うございます。

67歳で、100歳の3分の1です。自然な加齢を、アンチエイジングすることなく受け入れて、そして、年齢に応じた健康生活を送っています。多分、これまでの人生の中で、一番健康だと思います。」

先日、修学旅行から帰った孫が、熊本みやげを送ってきた。クマモンのお菓子だ。これまた初体験だ。



後期授業準備や研究作業ほか

9月27日

このごろになってようやく出掛ける事が減ってきた。この一年間は、週に4コマほどの授業に、いろいろな会議などで、忙しい日々を送ってきた。それがようやく収まってきたという感じだ。

それでも、すでに始まった芸大大学院授業と、10月からの琉球大学「特別活動の研究」授業との準備を始めている。私にとっては、週2コマぐらいが適切なようだ。それでも、次年度は、前期3コマ後期2コマぐらいになりそうだ。

そんななかで、ブログに書き散らしたことを領域別ファイルに整理し、ホームページに収めダウンロードできるようにする作業は、おおよそ半分ほど終え、来年夏には完了できそうだ。今しているのは、「人生・生き方シリーズ2 人間関係・移住」だ。10月下旬にはできそうだ。

川平朝申共同研究や芸大授業準備を兼ねた沖縄音楽史学習をすすめているのだが、それらと並行しつつ、いよいよ長期的な研究作業に入って行ける条件ができつつある。これについては、改めて書くことになる。

他には、運転免許証の切り替え。新しい豊崎のセンターで行う。次回からは、いよいよ高齢者向けの切り替えになる。講習を受けるとますます慎重運転になる。私の車の後の車の運転手には、少々「のんびり」対応してもらえないだろう。

9月上旬にある雑誌から原稿依頼がきたが、出張などがあり、打ち合わせをはじめたところで止まったままだった。しかし、その後、何の連絡もない。時々、こんな雑誌に出会う事がある。世の中、いろいろだ、

南城市の卓球大会があったが、初戦から敗北続き。こんなこともあっていい。

他には、太陽光発電導入について、本格的に検討をはじめ、業者と相談していることが、一つのニュースだろう。

光ファイバーへの乗換勧誘にどうしたらよいか

8月31日

9月2日から、この近辺でもNTT光ファイバー回線が利用できるということだ。そこで、いろいろと営業社員が個別訪問をしてくる。

4年前に、各字の公民館まで光ファイバーが通り、公民館から無線で各戸までとばすというシステム Wimax がつくられ、それを活用している人は多い。設置当初は、いろいろとトラブルがあったが、最近では、不都合は滅多に生じていない。

こんななか、私たちは、これまでのシステムから乗り換える乗りかえないか検討しなくてはならない。営業社員の話はいろいろあって、どれがいいのか分かりにくい。同一会社なのに、異なる情報を持ちこむ例もある。

私に届いたいろいろな情報、私が問い合わせで得た情報などを並べてみよう。

- ・Wimax 導入の時は、総務省補助金が使われたが、今回は南城市に来た一括交付金が活用されている。
- ・NTTは、採算の都合上、光ファイバー回線を敷設する気がなかったのに、なぜか突然、配線工事が7月に行われた。その情報も、6、7月ごろ、近所の人に聴いて初めて知った。

はじめから、Wimax ではなくて、光ファイバー設置だったら迷うことはない。今では、二重投資のような印象をまぬかれない。

・光ファイバーは、高速のインターネット利用希望者は歓迎するだろう。私のように、現在の Wimax 程度の速度に不都合を感じていない人には、乗り換える必然はなさそうだ。

・光ファイバーにすると、電話も光回線になるということだ。

料金的にみると、営業マンによって、計算はまちまちだが、電話とインターネット回線使用料、プロバイダー料金を合わせて、現在より1500~2000円ほど高くなるらしい。

・「今なら」設置料を大幅割引するとか、Wimax 解約料に相当する便宜をはからう、とかの特典を付けるとの営業社員の話もある。

・乗り換えると、メールアドレスは当然変更になる。Wimax の会社で光の契約をすれば、その必要はないということだ。

こんな情報をもとに、「様子見」「静観」しているのが、私の実情だ。

他にも、悩ましいこととして、今使用している WindowsXP のサポート体制が来年3月末に終わることがある。それへの対処が迫られつつある。

携帯がどんどんスマートフォンへと移行している。私はどうしようか。

いずれも、勉強しながら、しばし「様子見」「静観」する私だ。

研究生活と「那覇オープン」卓球試合出場など 8月27日

嵐のような孫たちの滞在が終わって、一週間。9月初めの学会準備と、芸大院での授業準備を中心に仕事をしているこのごろだ。双方とも、学術研究的なことなので、充実感がある。また、学習し直して、改めて研究課題を整理するという面を持ち、原稿締め切りに追われるという性格ではないので、楽しくもある。

そんな日々だが、いくつかのスケジュールが入ってくる。

一つは、誘われて先週土曜日に、川平朝申「我が半生の記」の研究会に参加した。わたしよりはるかに若い方々が丁寧に読みコメントし合う会だ。戦後数年間の動向について、具体的な人物を挙げての討論なので、興味深い。当時の人が何を考え、その後の沖縄の展開のどういう伏線になったのか、注目することが多い。こうした形の研究会参加はここ10年大変数が少なかったもので、私には新鮮だ。少しずつ、沖縄教育史研究作業の再開へと踏み込んでいくと言った気分だ。

もう一つは、卓球の那覇オープン大会に出たこと。卓球の試合への出場は、ここ1年間は、南城市の大会と教職員の大会に出ただけなので、新鮮な感じだ。300名の老若男女が参加しているので、久しぶりの出会いも多い。1975年ごろの南風原村在住時代に、いっしょに島尻郡大会や県民体育大会に出場したというかたから声をかけられた。申し訳ないが、私の記憶力では消えさってしまっていた。でも、懐かしい思い出だ。

この大会には、南城TTCとして、若い人中心のAチームと私達ベテラン中心のBチームとが出た。3~4チームによるリーグ戦の結果、各リーグでAチームは一位、Bチームは2位となって、それぞれ一位グループトーナメント、二位グループトーナメントになった。一位グループはとてつもなく強くて、Aチームは残念な結果だった。

Bチームは、最初に那覇西高校、次に那覇卓球同好会と当たり、いずれも快勝。そこで次もと期待されたが、準決勝の相手は卓水会という名門。どうして二位グループトーナメントに出てくるのかと不思議になる。私の対戦相手は、元沖縄チャンピオンで、現在六〇代のチャンピオン。何年か前に一度あたったが、勝負にならなかった。今回は善戦したいと願ったが、善戦目前で負ける。6~7ポイントをとっただけでもよかったというべきか。

今回は、すべてストレート勝ちまたはストレート負けで、セット数で言うと、トータル8勝5敗、まあまあのところ。負けた人は、その元チャンピオンと沖縄三越チームの若者現役なので、強い人の水準を知ることができてラッキーだった。

近くのコートで、トップクラスの試合があった。双方とも、元全日本実業団で活躍した人だが、水準がさらに輪をかけて違う。

私はちょうどいい所で、さまよっていいだろうと、自己満足する。



孫たちの海

岸遊び

8月23日

写真は、中山
海岸での光景だ。
先週は、孫3人



の滞在で大賑わいだった。

彼らは、海岸で生き物を見つけて遊ぶのが大好きだ。蟹、子魚、ヤドカリ・・・ 彼らは遊んでいるつもりだが、生き物にしてみれば、必死に逃げるしかない。

その間、私は、近くでじっとしているしかない。

今は、3人とも小学生だが、来年から順に中学生になっていく。遊び光景が変わっていくことだろう。



孫たちの恐竜づくり 夏休み工作教室

in イオンタウン南城大里 8月18日

息子家族が我が家に17日まで滞在した。

16日には、ブログ「きらいろマルシェ」に掲載されていた工作教室に孫たちが参加した。

HINATA さんの指導で、革で恐竜を制作。



写真は、制作中

家に帰ると、
海岸で拾った貝
殻で工作。

孫たちの元気
よい声と活発な
動きに我が家が
占拠された日々
だった。



腰の変化 出会い

6月8日

来週、沖リハの授業が終わり、琉球大学の授業（毎週土曜の集中型）が始まるから、週に3つの大学・学校に通う生活に変わりはない。加えて、週2回の卓球練習がある。

これらのレギュラー日程のほかにいろいろなスケジュールが入る。

先週土曜日には、学童指導員研修のために来沖された茂木さん（桜美林大学教授、前都立大学総長）と、ほぼ30年ぶりに再会。学童指導員たちと楽しく懇談。茂木さんは、大学院時代の先輩で、いろいろとお世話になった。変わらなく元気なお様子。

昨年11月の須藤さんとの再会など、学童はいろいろな出会いの機会を与えてくれて感謝である。

今週には、齋木さんが代表者である、科研費による川平朝申研究の研究会がある。若手研究者との共同研究を楽しみにしている。

こんな風にちょこちょこスケジュールが入り、結果的に卓球を除いても、週4～5回出かけることになる。8月になると、ようやく一息つけるので、しばしチバリヨード。

私の精神的栄養補給は読書だ。2～3ヶ月に一回、ジュンク堂に出かけて、本を購入して読むというサイクルで、ここ数年の研究生活がまわっている。5日に前回4月初めに購入したものを読み切ったので、6日看護大学授業後にジュンク堂に赴く。今回は、沖縄関連3冊、ハーブ・植物・医療健康4冊、社会・政治関連2冊、歴史関連2冊、教育関連1冊、生き方論1冊、総計13冊2万円余購入。8月初めまでの栄養物だ。

昨年9月から、ここ数年のなかでは繁忙な生活で、生活管理ができる程度近くではあるが、体調的にはなんとかやっている。7月末には人間ドック。良好な検査結果に期待している。

月一回のマッサージ通いを再開している。私の身体をよく御存じのマッサージ「蘭」の具志堅さんには随分お世話になっている。長年の肩痛も完治に近く、肩が以前より飛躍的に大きく回るようになってきている。それでも、右肩はまだよくなる余地があるようだ。背なかで、右手と左手がつなげられるところまで行きたいな、と思う。

前回は、腰をかかえての施術。腰骨がググッときて、歪みが直された感じ。腰痛はもうないが、まだ不具合がありそうな感じだったのが、この「ググっと」で一気によくなった印象。「おなかを引っ込めて、胸を張って」という姿勢をとるのに、長年苦勞していたが、自然にその姿勢が取りやすくなった。そして、もしかすると、「気をつけ」姿勢から、前屈で手が地面に付くという姿勢がとれるようになるかもしれないという、ほのかな期待を持ち始めた。20歳のときから長い間、地面に手がつかず、地面から20センチ以上開いていた。ここ2～3年で15センチまできたが、「ググっと」以降10センチ近くまできているのだ。

こうやって、『良くなる』と言う事は、以前は『悪かった』ことを認識させるものでもある。10数年前は相当にひどかったことを、ますます認識するようになっていく。

まだ「良くなっていく」流れが続きそうだ。



中山豊年祭 南城市学童連絡協議会総会 南城市卓球試合 いろいろとある日々 5月26日

このところ、スケジュールが一杯の日々だ。その最後は、26日の中山豊年祭、例年以上の盛り上がり

そのポイントいくつか

1) 女性の活躍 女性会がたくさんの仕事で盛り上げる。区役員の女性比率増大。JA玉城支店長は、中山在住女性……。『女性の時代』がスタートしたかな、という印象

2) 饒辺愛子グループの民謡ショー さすが庶民派大物グループ。中学時代にラブレターを送って返事をもらったという60代の告白。

写真は、歌いながら、区民と語り合う饒辺愛子さん

3) カチャーシー参加者、終了後の宴会が例年の倍くらいの参加。女性が半数。

中山に勢いが出てきた感じ

25日夜は、南城市学童連絡協議会総会参加。数十名の保護者・指導員の参加。着実に活動を展開し、定着したという以上に、盛り上がってきている印象。

26日午前、南城市の字対抗の卓球試合。4年前優勝の中山は、メンバーをそろえることができず不参加。私は、字船越の『助っ人』として出場。準々決勝で残念。久しぶりに出会う人も多い。

私は、ここしばらく『助っ人』係になりそうだ。来年は、どこから出場するかな。

20日には、2ヶ月に一回の逆流性食道炎の薬を処方してもらいに、メディカルセンターへ。4月1日から新築移転。美しくなった。

今週は、このほかにも、我が家への訪問者が多かった。年のせいか、相談事もしばしばだが、多様な世代との会話も楽しい。

この繁忙状況は、7月まで続きそうだ。



ハープ企画 芸大大学院講師!! 他字補強メンバーとして卓球出場へ 5月14日

新年度になって、1ヶ月余り。4つの授業で忙しいはずなのだが、落ち着かない気分と言うほどではない。昨

年度後半は、新規科目が多くて慌ただしい気分だったが、今回はすべて継続科目であるので、楽な気分で、学生との出会いに臨めるのがいい。

そして、今回は、純情さを感じさえする学生たちだ。沖縄大学子ども学科1年生は、元気一杯型で、看護大学2年生と沖リハ言語聴覚学科2年生は穏やか型だが、いずれも純情さにあふれている。私が用意する活動に、テンポ・トーンは異なるが、生き生きとした反応だ。

先週の看護大学授業では、〇〇の授業では、机・いすなどの教室設計をどうするか、について考え活動したが、アロマ・絨毯・音楽のある教室といった具合に、軟らかく暖かい雰囲気を求めるものが全体のトーンを圧倒した。実際にやってみようというので、今週の授業では、第一希望のアロマを演出することになった。一人の学生と私が担当だ。どんな風になるだろうか。

驚いたこともあった。11月に南城市で開かれる全国ハーブサミットに合わせた企画が、新聞報道されている。その先行企画で、我が庭をオープンにする企画が持ち込まれた。大変興味深いので、受諾した。詳細は相談中だが、とくに飾ったものではなく、日ごろの我が庭そのままをオープンすればいい、というものだ。

さて、どうなることやら、予定日まで2ヶ月もない。

もう一つ驚き。県立芸大から非常勤講師の打診。すでに年間5コマ、特に前期4コマやっているのに、「困ったな」というのが、第一印象。

詳細を聞くと、大学院生の沖縄教育史もからむテーマでの研究にかかわる授業なのだ。近代と近世とを視野に入れた沖縄音楽史、音楽教育史なのだ。この分野は未開拓なので、何か私が知識を提供できるというものではないが、院生と共同探求するという性格が色濃いものなので、お引き受けする方向で調整に入った。

思い返すと、10年以上前、中京大学大学院で、院生がワークショップについて研究するというので、「健康科学セミナー」という科目を担当し、何人かの院生対象に何年か開設した。健康に関わる多様なアプローチで研究活動をしている院生たちと研究型ワークショップをしたが、とても楽しく有意義だった。

今回は、体育ではなく音楽なのだが、私にとって新鮮な領域なので、興味津々だ。そう言えば、3月にも、博士課程で、沖縄教育史にかかわる論文を準備しようとしている方の研究相談に乗った。大学院生だけでなく学部学生の卒論で、沖縄教育史に挑もうとする学生への相談援助は、かなりの回数になる。今では、大学教員となり、沖縄教育史や日本教育史の第一線で活躍しておられる人も多い。

そんな時期とたまたま重なるが、沖縄の戦前戦後、さらには台湾も活躍の場として、文化・教育に重要な役割を果たして川平朝申についての科学研究費による共同研究がスタートし、私も末席に加わるようになった研究チームの会合が近く持たれる。

こう見ると、ごく少数の人しか取り組んでいなかった沖縄教育史が、今や数十名の方が取り組むものになっている。隔世の感さえする。

余談 南城市の字対抗スポーツ大会卓球の部には、中山から毎年でていたが、主要メンバーのケガのため、昨年は欠場した。今年もメンバーをそろえられそうにもないので、断念ということだ。そんな時、他の字から補強メンバーとしての参加の要請があった。いつも練習を一緒にやっている方からの連絡だ。他の字との交流連携も深まるので、受諾した。これまた新鮮な出会いがあるかもしれない。

「浅野誠」の同姓同名が多すぎて困る私

5月3日

最近、偶然、インターネットサイトで、同姓同名辞典というのを見つけた。

「浅野誠」は、84人で全国17201位だ。「浅野」姓は全国で152位、沖縄で10人1278位だ。「浅野誠」は、実際はこれよりもかなり多いと思う。50年近く前、東京の電話帳で、「浅野誠」を大量に見つけてショックを受けたことがある。

「浅野」姓は沖縄では滅多にいないが、それでも10人いるとは驚いた。転勤者移住者が増えてきたためだろう。「誠」は、戦後の小学校教科書に代表的な名前として使われたほど、私が生まれた前後に大変たくさんいたはずだ。時が経つにつれて減少しているようだが、まだまだ若い人にもおられるようだ。

同姓同名が多いと、いろいろとある。全く知らない人から、「お叱り」を受けて、別人であることを納得してもらうのに苦労したことがある。全く知らない方から、別人と錯覚してフェイスブックでの「友達」申請を受けることもある。私が精神医学関連の著書を出していると勘違いされたこともある。同姓同名のよしみで、御丁寧な挨拶メッセージをいただいたこともある。フェイスブックから、何十人もの「同姓同名メンバー」の一覧めいたものをいただいて、「友達」の誘いを受けたこともある。

そんな体験もあって、子どもたちの命名には、同姓同名がないようにと願って工夫したが、「成功を収めている」ようだ。でも、親しみやすい、声をかけやすい名前であるようにした。

同姓同名が多い「浅野誠」だが、インターネットで見ると、人数が多いだけに、諸分野で活躍しておられる方が多いようだ。医学、議員、映画、研究者……。大学教員だけでも数名おられる。

サンエー八重瀬シティのオープン スーパー戦争激烈 4月29日

26日オープンのお店に、27日出掛ける。



玉城から県道を行くと稲嶺十字路に出る。右に行くと、Aコープアトールとイオン大里タウン、左に行くとサンエー八重瀬シティ。いずれも車で2～3分だ。

これまで、主にAコープアトールと地元のAコープ玉城で買い物をしてきたが、選択肢が増えたことになる。といっても、食品を中心に、衣料品、薬、電機、本、パン、コーヒー、貴金属買い取り、保険などの店は、共通するところは多い。変わっているのは、FMなんじょうぐらいか。でも、ここは商品販売ではない。

もっと店の独自性があってもいいとは思うのだが。無論、店の雰囲気には独自性がある。お客さんは、それで選択するのだろうか。あるいは、顔見知りの方がいることが左右するか、長い付き合いが左右するのか。私達自身は決めかねている。使い分けをするのか、どこかに絞るのか、2~3年かけて、決まって行くような気がする。

もっとも、どこかの店が淘汰されて、閉店に追い込まれる可能性がないわけではなからう。

いずれの店も、自家用車をもっている客を前提にしている。将来を考えると、公共交通機関の利用、宅配などの活用も視野にいれなくてはならない。歩いていける店がないのは寂しい。しばし前に紹介した「買い物難民マップ」に該当する私たちの居住地だ。

南城市民度、地元民度がぐんと高まる ハーブガーデン企画の話など 4月25日

四月も残りわずか。たくさんの方が日々ある、にぎわいの月と言った感じだ。週4コマの授業もあるが、南城・玉城・中山の地元での出会いが多いことが今月の特徴だ。

この一週間だけに話題を絞ろう。

20日のシュガーホール・ミニシンポ終了後の慰労会での市内の多様な方との語らいも充実していた。(写真は、シュガーホール屋上から見た佐敷の街並みと知念の丘)



23日は凝縮していた。朝の沖りハの授業には、アップルミントとクールミントを持参し、受講生一人一人に差し上げた。それでリラックスして、握った手やボディランゲージを通しての「発信」、ほめながら頼む活動を展開。穏やかで適度に親しいつながりに広がりのあるクラス雰囲気が生きている。

午後、南城地域デザインセンターの、生き生きしたお二人が来宅。11月に南城市で全国から集まって開かれる「ハーブサミット」への準備企画として、我が庭でハーブガーデンの集いをする提案だ。楽しそうだし、我が家にぴったりのような企画なので、お受けする。私たちの日程都合もあるので、7月2日午後ということになった。詳しいことが決まれば、このブログでも紹介するだろう。お二人は、興味津々にたくさんのお聞きになる。どんな風に進行していくか、楽しみだ。これも南城市が関わる企画で、その業務を受託したのが南城地域デザインセンターということだ。

夕方、若くて情熱あふれる南城市職員が来宅。20日の慰労会のなかで浮上した、私たちの本をお譲りする話がまとまり、ダンボール2箱相当を差し上げる。このブログで月一回書いている書籍譲渡の話だが、4回書いたうちの7~8割がたが引き取られて行った。嬉しいことだ。

25日には、以前から頼んであった堆肥20袋が配達される予定。やんばるの本部で製造されたもので、微生物がとても生き生きしている。実験的に、庭の池に少し入れたら、しばらくして、濁っていた水が透明になった。

26日には、5月中旬に西原でする学童クラブ指導員研修の打ち合わせ。

28日には、字中山共同作業が朝6時から。夜は字総会と新旧役員歓送迎会。

こんな具合だ。この多様な出会いの日々に、刊行間もない、延藤安弘「まち再生の術語集」(岩波新書2013年)を読む。いろいろと、地元にかかわることに首を突っ込んでいるので、響いてくることが多い内容だ。私がワークショップなどをとおして、あるいは南城のいろいろな集まりでしていることと重なりあう事も多い。「上から」ではなく、「下から」の「協同」での地域づくりを考える人には、参考になることが多いだろう。震災復興をめぐる意欲的動きなども書かれている。コーポラティブハウジングとかコレクティブハウジングなどは、私自身もやりたかったが、できないでいたものなので、興味深い。ファーマーズマーケットを「農産物を買うだけでなく、(中略)食べる、聴く、対話するなど、お客さんが多様に楽しめる場所」P141にする話なども興味深い。

私の生活の南城市民度、地元民度がぐんと高まる日々だ。

新年度スタート 沖縄大学特任教授から客員教授に戻る などなど 4月3日

4月1日、沖縄大学と沖縄県立看護大学に出かける。いずれも新年度スタートで慌ただしい。でも、なぜか新鮮な息吹を感じる。

沖縄大学では、健康保険などの手続きに必要な書類を受け取る。印刷依頼してあった授業用プリントを受け取る。客員教授に戻ったので、十数名の相部屋である名誉教授・客員教授室の私の机を確認し、ちょっとだけ整備をする。

間もなく始まる授業の教室を確認する。すると、固定機の大きすぎる教室だ。ワークショップ型授業には最悪である。4ヶ月前から、教室については特段の要請をしていたが、こんなことになってびっくり。強く要請して、ワークショップ型授業ができそうな教室に変更していただく。

どの大学もほとんどがそうだが、教室配置にはプレゼンテーション用の機器の有無などに配慮するが、ワークショップ型授業・討論型授業への配慮が欠落している。FDが言われ、授業改善が叫ばれてからまもなく20年になろうとしているが、依然として授業改善は教師のレクチャー改善に焦点化されているようだ。少なくとも、教室整備・教室配置にそのことが反映されているようだ。

非常勤で授業担当する別の大学でも開講日設定が不確かで困惑してしまっただが、決着してホッとしている。

「仙人の浅野」になったのはいいが、「仙人だから問題なかろう」という気分になっている教職員がいるのだろうか。もう少し「鬼」の顔を残していないとまずいのだろうか、とふと思う。

看護大学では、プリント印刷を依頼し、受講生に販売するテキストを書店に預けてきた。帰り道、自動車修理工場で済ませてあった車検の証明書をうけとり、さらに南城市役所に行き、国民健康保険証を発行していただいた。加えて、マッサージなど施設利用券を発行していただいた。これで久しぶりにマッサージに行ける。

こんなことはともかく、来週から、4つの大学・専門学校で4つの授業が始まる。大忙しだ。

南城市のシュガーホール運営審議会会長、尚巴志活用マスタープラン検討委員会座長の仕事が、今年の私を忙しくさせそうだ。加えて、南城市学童保育連絡協議会顧問の仕事も、単なる名誉職にはとどまりそうもない。

加えて、私が住む字中山の評議員にさせられた。数年ぶりのことだ。

今年、とくに前半は忙しくなりそうだ。後半は、授業も1つだけになるので、一息つけそうだが。

幼稚園生からのプレゼント ハブ取り網

2月26日

日曜日、親子の我が家訪問。幼稚園生が私にお菓子のプレゼント。

子どもからのプレゼントは、孫以外には滅多にないから嬉しい。先月の訪問の際、海岸散歩に行き遊んだことへのお礼かな。

今回も海岸に行く。いい天気で、海岸遊びに絶好だ。海岸につくとすぐに貝集め。ここに客を連れて来ると、子どもに限らず大人も貝拾いをする人が多い。貝だけでない。たいていはヤドカリにびっくりして大喜び。手にとって、「くすぐったい」ということになる。ただの貝殻と思って、家に持ってくると、ヤドカリの行列になることもある。

カニを見つけることも多い。大潮干潮の時は、イノーをどンドンすすんでいくが、そこではヒトデやナマコに会う。そういえば、最近ナマコを取って売る人が多くて漁業関係者が困っているというニュースを見た。このあたりでも、減っている印象。

今回は、死んでいるが、大きなカニを見つけた。1時間以上海辺遊びして帰ると、私の万歩計は5000歩を越えていた。海の生命力溢れる空気を吸って、風邪気味なのが収まったようだ。



25日は、旧暦1月16日、後生の正月。我が家隣の巨大墓でも、『正月祝い』。



ところで、しばし前にハブセンターの方に指導を受けたハブ取り網の設置方法。指導方法通りにやってみた。

この金網を購入するのに一苦労だった。近くのメイクマンでカットしてもらったが、車に入らない。そこで、メイクマンの車を借りて運搬。軽トラ運転は何年ぶりのことか。

設置して一週間たつが、まだハブさんの反応はない。

陽気が春めいてきた。木々・草々の新芽新葉がたくさ

んでてくる。花の蕾もふくらんでくる。楽しい季節の到来だ。

仕事 家電修理 ハブ獲り 知り合いつながり 筋肉痛 2月14日

2012年度の授業、そして成績評価などすべて完了して、ほっとしているところだ。だが、すぐに、次年度の授業準備がスタートする。

外出しないで、自宅作業する日が増えたが、中心はいつものブログ記事書きと授業準備、加えて「沖縄論」についてのかつてのホームページ記事とブログ記事を編集して、HPに掲載する作業だ。

自宅にいても、来客が結構ある。

ボイラー修理は、いつもの加藤さん（ティーダブログの家電修理で有名）。変わった来客は、ハブセンターの方。2、3年前、刺し網でハブを取ることで、このブログでも記事にしたが、その後のメンテナンスで来訪される。全然獲れないので、休業状態だったが、御指導で再開することにする。この環境なら、何匹もかかるはずとの「お見立て」もいただいた。指導を受けた正しい設置法で再チャレンジへ。

ところで、南城市内で出会う人と話していて気づいたこと。

知り合いの知り合いは知り合いだ、という例が大変多いということだ。たとえば、授業の受講生に南城市民がいることが分かって、卓球仲間や学童関係者、あるいは家電修理の加藤さんに聞くと、たいていは誰か一人が「あの子ならわかる」という具合だ。私はもうすっかり南城市地元民になったようだ。

この一カ月間の一つのテーマは、右ふともも筋肉痛の対処だった。昨夏、肩痛も腰痛も卒業したものだから、卓球練習が激しくなったし、ウォーキング歩数も大幅増加させていた。ところが、1月上旬の夜中、右ふくらはぎのこむらがえりで目を覚まし、少々苦勞した。夜中のこむらがえりは初体験。翌朝、インターネットで調べる。筋肉疲労蓄積が冷えてこむら返りになることがあるとのことだ。

数日後、それがふくらはぎからふとももへと移動し、神経痛的な痛みで、目覚めることが何回かあった。

私がした対処法。温める。サポーターを巻く。サロンパスを貼る。筋肉痛の塗り薬を塗る。温泉に入る。卓球練習を軽めにする。歩行数を減らす。

こんな対処法で、ようやく軽減されてきて、80%ほどよくなった。もう少し、継続して見ていく必要はありそうだ。

卓球を再開してから6年になるが、卓球練習の運動量は、この2年間がもっとも激しくなっている。17年以上前までもやっていたが、これだけ激しくやった記憶がないほどだ。

60代後半になっているのに、30代ぐらいのつもりで動くからまずいのだろう。身体の悪いところを、次から次へと処理してくると、その時点でもっとも「弱い」ところに問題が出てくるようだ。その「弱い」ところを次から次へと対処しているという感じだ。しかし、加齢に伴うやむを得ない所も出てきているようだ。もともと身体が弱く、病を数えればきりがなほどの私だから、とくにやむを得ないと思う。

ともかく無理をしないで、身体のことをよく聴いて、うまく付き合っていくことが大切だと思う。仕事だ

けでなく、身体もオーバーワークにならないように、気をつけないと、スローライフにならないと思う。

古布から恵美子が作った私の上着 2月12日

40年前に親が与えた和服がある。年に一回も着ないで、衣装箱に保管してきた。そのうち、虫に食われたところが出てきた。しかし、布は大変上等だ。捨てるには忍びないものだ。

最近、裁縫に関心を持ち、習い始めた恵美子が練習用にとということで、縫い始めた。私の期待はかりゆしウェアだが、あちこちに虫食いがあるし、初心者には難しいらしい。

ということで、写真のようなものができた。外出着には無理なので部屋着だ。虫食いを隠すために、妙なところにポケットがついている。それに独特のデザインだ。

春秋には、しばしば着ることになるだろう。恵美子に服をつくってもらうのは初体験だ。



ところで、私の両親の家業は婦人服仕立てだった。私が小さい頃、父親が背広を注文されたがうまくいかなかったらしく、客にさんざん叱られているのを見たことを思い出した。婦人服と紳士服とではかなり異なるようだ。

満41年の結婚記念日に、沖縄国際洋蘭博覧会（於海洋博公園）を見る 2月7日



2月5日は、私たちの結婚記念日。折から開催されているランの博覧会に行く。昨年も出かけて、美しさに圧倒される。

今年は、昨年以上だ。余りにももの美しさ・多さに圧倒されて、満腹状態



だ。消化しきれないのが率直なところだ。数十枚の美しい写真も撮った。このブログ記事を、一カ月ほど飾ることになりそうだ。

ディスプレイを最後に見たが、これが昨年以上の豪華さだ。

国内外で有名になったのか、県外からの観光客が大変多いというのが今年の印象だ。

一輪一輪が美しいが、それが集まると、豪華有り余るという感じだ。

帰りに、沖縄在来種のアゴランとフウランの苗を買った。木に着生させるつもりだ。着生という言葉も初めて知った。



タマグスク・糸数グスク・奥武島龍宮 正月風景

1月3日



正月元日、2日は、いつも同様歩いた。今回は、滞在した娘夫婦と一緒に。

元日は、ヤハラヅカサでの初日の出に加えて、タマグスク・糸数グスク・奥武島龍宮巡りをした。

最初の写真は、タマグスク。しばしば訪れる。

元日2日ともに、天気予報が外れて、好天のまま続く。四方がよく見える。

次に、久しぶりに糸数グスク訪問。石垣の復元工事が進む。軍事用に作られた様子がうかがえる。

野面積みと切石積みが並存している。ここは、東西南北の見晴らしがきくから、軍事上好都合であった場だろう。

最後に、奥武島龍宮訪問。恵美子は、各所でシンキングボウルで歌う。場に合っている。



2012年

池づくり 恵美子作弁当 泡盛購入 夕焼けと朝の月 12月30日

このごろの話題をいくつか

1) 松井秀樹引退のニュースを聞いていたら、松井の高校先輩が思い出を語るのが出てきた。覚えのある名だった。松井がプロになるころ、私の授業の受講生だった。雑談で、かれは「松井が入学入部してきたお陰で、4番から外されてしまった」という思い出を語ってくれた。そんな彼が、「松井御苦労さま」と語っていた。

思い出の連鎖だ。

2) 琉球大学での私の授業は、12時50分開始だ。昼食をどうするかで困った。初めのころは、途中で弁当を



買って、非常勤控室で食べていた。しかし、非常勤控室は、食事をするには全く不向きだし、味気ない。それで、このごろでは、恵美子に頼



んで、おにぎりをつくってもらって、琉球大学の駐車場で、食べている。飲み物は、自家製のハーブ・葉草茶を飲む。だったら、自宅で食べてから出かければいいのか、といわれる。それだと、11時過ぎに食べることになるし、昼食後は、昼寝習慣があつて、眠くなり運転にはまずい。

ということで、恵美子の弁当を楽しんでいる。この記事も、恵美子は書くなというが、書いた。これまでの40年余りの共同生活の中で、弁当を頼んだのは1~2回なので、今回は画期的なことで、彼女も喜んでいるようだ。

3) 池づくりスタート。

インターネットで池づくり情報を仕入れて学習し、素人には池の既成品を購入して作るのが一番だということがわかり、購入してきた。今は、穴の試掘をして、場所選定の段階だ。穴を掘った土で「らせん型ハーブガーデン」第二号を作る計画。らせん型ハーブ園の底に枯葉枯枝をたくさん入れ込む。

一連の作業を1~2ヶ月かけてする予定。





4) 3年ぶりに、泡盛購入。

授業を4つもして、少々ストレスがたまり、3年近く飲まなかった泡盛を、10~12月の間、少し飲んだ。飲まなかったおかげで、すべて古酒になって美味しかったが、飲んだ分だけ補充する必要がある。そうすれば、長く古酒を愛飲できるというわけだ。「仕次ぎ(しつぎ)」というそう



また、クワンソーなどの薬草を泡盛に仕込んで薬用酒を作る必要もある。

ということで、3年ぶりに泡盛を購入した。

5) 夕焼けと朝の月

28日の夕陽は美しかった

翌朝29日の月も美しかった。

繁忙を乗り切れそうになってきたこのごろの私

12月26日

週4コマの授業

「専門演習」受講生たちが実践している学童保育現場訪問数回

学童保育指導員研修会

生活指導学会研究会での京都市行き

こんなに忙しかった12月だが、ようやく繁忙の峠も越して、「恒例」の年末年始通信作成に取り掛かっている。とはいっても、28日には琉球大学授業が一つ残っている。こんな時期まで、大学の授業をすることは、以前では考えられないことだ。

そんななか、今年はなぜか飲み会が多い。毎年1、2回だが、今年は4回。

卓球仲間の新築祝い

合唱グループの忘年会

「問題発見演習」の懇親会

そして、最後は、南城市卓球祝勝会兼忘年会

卓球祝勝会には、2歳から70代まで、すべての世代にわたって30名余りが参加。男女半々。「ネクラ」とからかわれることさえあった卓球だが、こんなに「ネアカ」なのか、と驚くほどの盛り上がり。超真面目な卓球話から、まさに親睦そのものまで、カラオケも交えてえんえんと続く。われわれ熟年グループは、3時間近く付

き合ってから退散。楽しい3時間だった。

10月からの3カ月は、ここ3～4年のなかでは一番忙しかった。もちろん、久々のたくさんの授業を担当したからだ。今回限りと思っていたが、次年度前期も、同様に4コマやらなくてはならなくなりそう。4つの大学・専門学校と別々なのだが、新規科目がないのがせめてもの救いだ。後期になると、1コマでほっとできそう。

体調はいいのか悪いのか、よくはわからない。疲れ気味なのだが、忙しい割には元気なのだ。繁忙の後、恒例？の体調崩しが無いのが不思議なくらいだ。だから、体力がついてきたのか、とも思う。しかし、「年相応」な感じだ。

体調維持のため、歩き・卓球・ストレッチはきちんとやっている。授業や依頼されたこと以外の仕事を制限していることもある。

そのうちに前期の授業期間に入るので、大きなスパンで息をつけるといえそうなのは、来年の秋からになりそう。

「私は富士山」 城北学童 識名散策 民政府跡 12月10日

12月にはいって、いろいろとスケジュールが入ってきた。

そのなかで、出会ったいろいろを綴る。

1) 4日 金城ダム→識名園→沖縄大学へと歩く

バスで大学に行こうとすると、所用で首里に行く恵美子が途中まで送るという。では、というので、金城ダムまで送ってもらい、そこから沖縄大学まで歩く。距離がありそうだが、実際は2キロ余りだからたいしたことはない。ウォーキングと考えれば普通の距離だ。しかもこのコースは、かつて首里城から王家別荘の識名園のコースでもある。

途中、識名霊園の墓地を通るが、それを嫌がらなければ、結構いい散策コースだ。

左写真は、金城ダム周辺



右写真は、道路から見た識名園

次の写真は、途中の識名霊園の墓地。この下を、最近工事費用で話題



になっている識名トンネルが通る。

2) 4日夜は、中山合唱団の忘年会。目下休憩中の合唱団だが、積立金があるので開催。

皆さん、カラオケに奮闘。

3) 11月から沖縄大学3年生の専門演習の学生たちがわんぱく屋と城北学童クラブに通っている。ということで担当教員である私も通う。通算すると、6~7回出かけることになりそうだ。

7日、城北クラブにいくと、2年生が宿題をしている。学生と私とユンタクしながらだ。突然私を見て「富士山に見える」と叫ぶ。「どうして」と聞くと、「頭が白くて、身体が青いから。」要するに、白髪頭とその時着ていたブルーシャツを富士山に見立てのだ。なかなかのものだと感心した。

写真は城北学童クラブの外観。楽しく元気のいい子どもたちが集まっている。



4) ユインチの温泉と民政府跡

8日また温泉に行く。回数券が8日で期限切れになるからだ。最近、土日は早朝からスタートだ。朝の温泉は何年ぶりだろうか。ゆったりした気分を味わう。



その後、周辺を散策する。ぐるっと回ると、2キロ近くだ。しかも、森の中だったり、中城湾を見下ろす絶景と、楽しいコースだ。

その西端に、写真のように「民政府跡」があった。このあたりがそうだった事は、前から知ってはいたが、碑を見たのははじめて。携帯で撮影した。沖縄戦後史の重要な場だ。

来年の担当授業科目調整 学童クラブ研究会での出会い 11月19日

秋の心地よい日々がやってきて、ウォーキングの回数・距離がぐんと増える。

忙しくて、心のゆとりが狭くなった10月、例年だったら出かけた半島芸術祭 in 南城、沖縄産業祭りに行けなかった。

最近の情報を書こう。

なぜか今年は、次年度の授業担当依頼相談が早い。今年の後期は、ピンチヒッター専任になったこともあって、久々に週4コマを担当した。来年は、それから解放されるので、しばしガマンと思っていた。ところが、来年の依頼を全部足すと、前後期合わせて8~9コマとなり、現状以上になってしまう。私の体力から言って、前後期合わせて5~6コマが上限だ。そこで大慌てで、縮小を懇願する。

その懇願の成果があがって、5コマに収まりそうだ。1月以降依頼があるところもあるので、予断を許さないが。ただ5コマに収まったとはいうもの、前期4コマ後期1コマになりそうなので、前期から後期への移動の相談等もしている。

今学期は、当初うまくやっていたかどうか心配だったが、他の記事で連載しているように、受講生の積極的自主的対応がすごくて、順調に進み始めた。ヤマ場をのりきることができただろう。

授業好きな私だけに、ついノリ過ぎてオーバーペースになることには気をつける必要がある。でも、面白くなってきたので、授業参観を大いに歓迎する。もぐり授業参加も歓迎。

先日、沖縄県学童保育連絡協議会の研究大会が豊見城であったが、記念講演をした須藤敏昭さんは、45年前からの旧知の仲だ。1972年、私たちの沖縄赴任の際、東京晴海埠頭まで車で荷物を運んでもらってことを覚えてる。

彼と久々の懇談をし、昔話今話に花開いた。彼は大東文化大学学長を長くつとめた。彼の後任は、私の同期の太田政夫さんだとのこと。という具合に、旧知の方々の消息を知ることができた。

その懇親会には、他の分科会助言者も来られたが、そのお一人は、30年余り前の琉球大学教育学部で学んだ方だった。各地で卒業生が活躍しているのを見聞するのは嬉しいことだ。懇親会には、学童の保護者役員のかたも多く見えていて、いろいろな事を学んだ。

私の学童保育との付き合いが深くなりそうだ。12月には研修会講師を務めるので、その準備作業をしているところだ。このブログにも、学童保育関係者向けの連載を始めてみようかなとも思う。思案中だ。

我が家の設計監理をしていただいた建築士さんが来訪された。宮古のガマに5年間寝かせてあった「多良川」で乾杯しながら懇談。我が家完成後も、いろいろと維持管理などでお世話になった。この建物は、50年はもつことになっているが、100年ももちそうな感じがする。そのための方策について、いろいろと御指南いただく。現在、沖縄県建築士会の副会長職にあり、各方面で繁忙を極めておられるが、いろいろとお願いしている。

本購入減 授業の繁忙と体力

11月5日

ほぼ三か月に一回、ジュンク堂に本の買い出しに行き、三カ月で読み切るのが、ここ数年の私の習慣になっていた。一回にほぼ2~3万円購入する。それ以前は、東京出張の際、丸善・紀伊国屋・三省堂といった大規模書店で同じようなことを20年近くしていた。

ところが、いつものように10月末にジュンク堂に行ったが、買いたい本がとても少なかった。いろいろな理由があるが、いつもチェックするいくつかの書棚に並ぶ本で、読書意欲をそそるものが少なかったことは確かだ。

と同時に、この10年近く、かなりの読書蓄積をしたので、「受ける」よりも「発信する」ことの方に比重がかかり始めたのかな、と思う。「ため込む」よりも「吐き出す」時期かもしれない。

ということで、このブログも、これまで書籍コメントにかなりの比重がかかっていたが、今後、私自身の考えに基づく連載の方に比重をかけていくことになりそうだ。そして、いくつかの連載を企画しつつある。

10月は、久々の週4コマ授業開始、しかもそのうち3コマは久々の担当科目のための授業準備にもエネルギーが必要だった。毎学期そうだが、各クラスを軌道に乗せる、つまり受講生たちに授業に対応する姿勢をつくり「やる気」を出させ、かつ受講生間のつながりを作り深めるということに、大変な精力を使う。

そんなことで余裕のない状況がしばし続いた。沖縄大学の先生と廊下ですれ違って、「元気がなさそうに見えるがどうしたんですか」と声をかけられた。恵美子にもいわれた。こんな風にいわれるのは、久しぶりだった。

振り返って、かなり緊張と苦勞をしていることを気付いた。週に2~3回はする海岸散歩も、週一回でできればいい方だ。その代わりにバス通勤と授業中の「机間巡視」で、歩数は以前と変わらないが。そして、ここ2~3年間ほとんど飲まなかった酒だったが、久々の晩酌状態が続いた。といっても、0.3合ほどだが。

卓球練習が最大の気分転換の場になっている。しかし、11月17, 18日八重山で行われる県民大会への南城市代表としての昨年に引き続き出場は辞退申し上げた。来年以降、ゆったり生活に戻って、また選ばれれば参加したいと思う。

こう書いてきたが、いずれのクラスも5回の授業を終え、軌道にのってきた。受講生たちもやる気を出している。いろいろな取り組みを始めた。私も、若者たちの新鮮でエネルギッシュな勢いに慣れてきた。なんとか、15回の授業をすすめられそうなメドもたった。

こんな風に、近年にないストレスをもったが、それもコントロールできそうな感じだ。ストレスは体調にすぐあらわれるが、定期的に通う病院でも、異常は出ていない。毎年行う視野検査などの眼科通いは、今回、我が家から10数分の所に転院して検査したが、異常なしだった。

余談だが、この眼科はとても親切で、私の眼の問題の説明がこれまでのなかでは、もっとも理解できた。新設だが、ホテルみたいなトイレには驚いた。ここ数年、病院診療所が激変していることを感じる人が多い。

もう一つの話は、10月末の記事に書いた「老前整理」本へのコメントだ。

私なりのやり方で似たことをしてきたが、この本が、それを一層促進させてくれた。月に1~2回取り組むことにした。10月末から11月にかけては、仕事部屋のファイル整理と文房具整理だ。

バス通勤 10月21日

10月に入ってから、沖縄大学へはバス通勤している。我が家から徒歩5分の中山バス停から、51番（時には53番も）に乗って、約35分、国場で下りる。そこから徒歩で沖縄大学まで10分余り。帰りは、国場のひとつ前の樋川バス停から乗車する。実は上りの国場と下りの樋川のバス停がすぐ近くなのだ。53番で約40~

45分で中山。上りと下りで時間が違うのは、ラッシュにかかることもあるが、下りの時間帯の53番は、奥武島を経由するので、時間がかかるのだ。

上りの中山での乗車は、最初の客に、帰りの中山で降りるのは最後になることが多い。

上りは480円、下りは520円。回数券があるのを発見して、近くの百名のバスセンターで購入。割引が結構ある。

バスは、2~5分ほど遅れるのが普通だが、ほぼ時刻通りの運行だ。30年ほど前と比較すれば雲泥の差。あのころは間引き運転というのもあった、30分以上待つことはざらだった。

バスに乗ると、座席に坐ってから発車。下りる時は、止まってから座席を離れる。高齢者の危険予防もあるだろう。昼間だと、高齢者が多いが、通勤時間帯には、高校生・通勤者を含めいろいろな世代が乗車する。数年前より乗客数が増えている印象だ。

運転も、昔と比べると格段の違いで「落ち着いて」おり、バスの中で本が読めるほどになった。冷房の効き過ぎが少々困る。バス乗車時のための上着を持参することにした。

自動車で行くと30分ぐらいで、バスだと1時間ぐらいという差があるが、バス乗車前後の徒歩が結構楽しいし、健康にもいい。毎日測る万歩計の数が、2~3割は増加した。授業で歩きまわることもあろう。

困るのは、バス待ち時間に浴びる排気ガスだ。私の身体は排気ガスが大嫌いなのだ。

こんなバスだから、乗車時に、運転手さんに「おはよう」「こんにちは」と、つい言ってしまうこともある。

もっとバスなどの公共交通機関が整備されることを祈る。琉球大学へは、バスで行くとなると、2時間以上必要だから、やむをえず自動車で行く。

台風で落ちた枝葉の整理 週4コマ授業で忙しい 10月19日

台風21号は、大被害なしに通過した。重なる台風にうんざりしていたし、海上をうろうろして、気をもませた。昨年今年、当たり年なのか、それとも気候変動のために、こうした状況が長期化するのか。ともかくありがたないことだ。畑の水不足を解消してくれる点ではいいのだが。

先月末の台風で落ちた枝葉の整理は長期にわたった。我が畑では2週間かかった。堆肥用のコンポスト投入だけでは、1割ぐらいしか処理できないので、畑に穴を掘って、かなり埋めた。それでも、かためておいたものが大量に残っている。すべて処理し終えるのは、11月半ばくらいになりそうだ。

片付けの合間をぬって、苗植え・播種などの秋の定例作業をしている感じだ。毎年、この時期は畑作業にかなりの時間を使うが、今年は枝葉整理の時間の方が多い。畑作業の話は、あらためて書くことにしよう。

10月から、週4コマの授業をしている。9年前までの専任教員時代、平均して5コマしていたから、それに近い。授業は、精神衛生上でいうと、とてもよいのだけれども、集中緊張時間が長い点では、体力に響いてくる。週4コマは、私の限度を少々越えているようだ。今期は例外だと思って、授業終了の2月を待つしかない。

大学では、教職員も学生も、若くて元気のいいペースで動く。田舎暮らしの私もついそのペースに引きずられる。無意識に都会暮らしをした昔のペースにもどってしまう。じっとしておられず、何かしていないとたまらなくなる。

そのペースから、いつも自分のペースに戻るのに、2日かかる。だから、金曜日に一週間の授業が終わり、日曜日夜によろやくいつものペースに戻り、火曜日から再び忙しいモードに移る。

授業で忙しくなったので、2月までは新規の仕事は受けないことにしている。当面あるのは、学童保育指導員の研修ぐらいだ。

このブログの記事作成も、3割ほど減量した。

自分なりにしたい仕事があるのだが、しばし、ゆったりムードで行くしかない。

台風と授業以外の話題が少ないのが、このところの私の風景かもしれない。あるとしたら、半年以上ぶりにカラオケに出かけたことぐらいか。

ドリーム・キャッチャー ドラゴンフルーツとクワ

ンソーの花 10月10日

写真のものは、13年前、カナダのトロントに居たころ購入したものだ。先住民たちが、家の窓の外に下げて置くと、外からやってきたドリームがキャッチできると言うことで、制作したものと聞いている。

台風で我が家の日除けが壊されたが、それにかけておいたものだ。それで、今度はブーゲンビリアを支えるロープに吊り下げた。革製だが、雨風にも強く、13年たっても、元のままだ。

私のドリームはなんだろう。沖縄の良さが継承され、さらに良いものになる。そのことに私もかかわれることかな、と思う。

こんなものがあると、なぜかロマンチックな気分になれる。



左の写真は、台風後も、台風にめげずに咲くドラゴンフルーツ

右は、クワ
ンソーの花と
葉



授業準備と沖縄大学専任生活 オオジョロウグモ 9月28日

10月から後学期の授業開始。週4コマの授業というのは、中京大学専任だった10年前以来初めてだ。だから、途中で息切れしないか不安がある。

最初の内は新鮮な出会いでの楽しさと緊張のなかで、『知らぬ間』に過ぎていくだろうが、数ヶ月たったころが「こわい」。ばてて、体調悪化になる前例をたどりはしないか、と。 そんなこともあって、沖縄大学には半年という限定付きでお願いしたのだ。

といっても、担当科目は、経験済のものばかり。過去の経験例を引っ張り出し、応用できるものは使うつもり。また、8月末に完成した「浅野誠ワークショップシリーズNo.6」は、大学授業向けにも使えるようにしたので、その活用を図っていく。

ということで、授業準備とプリント準備をほぼ終えた。

専任になると言うことは、たくさんの手続きをしなくてはならない。事務職員に大変お世話になった。健康保険、年金、通勤・住居・税務書類、名刺作成など、また研究費使用、コンピュータ設定、研究室整備、などなど。きりが無い。とくにコンピュータ設定は、本当にお世話になった。半日かけて、初期設定、インターネット設定、アンチウイルス設定などなど。

9月は、大学研究室にかなり滞在し、これらの対応と授業準備をした。

これらと並行して進めたのは、すでに紹介したHP向け『若者の生き方シリーズ』No.2の作成だ。そして次は、『動植物シリーズNo.1 我が家のハーブ』の作成に取り掛かったが、忙しくなるので、完成の予定は『未定』だ。

余談のニュース

22日のことだ。出かけようと玄関のドアをあけると、オオジョロウグモの巣が、ドアに作られている。大きさ10センチで、オオジョロウグモのなかでも巨大な方。2ヶ月ほど前、ヤモリを食べるオオジョロウグモで紹介した個体か。すぐにとって、近くに移動していただいたが、すぐに戻ってくる。写真はその時に撮影したもの。

毎朝、彼女と格闘するのはいやなので、少々遠い所へと移動していただいた。

※ よく見かける大きくてこわそうなオオジョロウグモはメスだ。オスは、メスの百分の一くらいで、メスが作った巣の隅に数匹住んでいることが多い。交尾を終えた、オスはメスに食べられるという。





繰り返し襲来する台風 我が家の光景

9月16日

今年も去年も、大きな台風が何度も来る。その前年までには、あまりなかったことだ。

今朝、5時過ぎの風音がすごいでだけでなく、地響きを伴ってきたので、目が覚めた。ニュースだと、そのころ南城市は風速40メートル余りだったようだ。

15号同様、16号はヤンバルを通過した。大変だろう。今回の台風では、那覇などでの高潮浸水も大変そうだ。

我が家周辺では、風向きが東北東→北→西ということで、また進路の左側ということもあって、予想ほどの激しさではなかった。我が家は、地形的に南、南西の風に弱いのだ。北側にはタマグスクの丘があり、東側は森があるので、守られる。

高さ4メートルのサボテンが、去年の台風で折れ、その後、7本の新枝が50センチほど伸びたところで、15号と今回の16号でやられ、今や2本が『生き残っている』だけ。横のオオバナアリアケカズラのアーチもやられている。でも、これは1週間で回復するだろう。私の修復作業は大変だが。

右は、折れたマニラヤシの新葉

左下は折れたティートリーの新枝。

11時過ぎ、風雨が少し収まった時、我が家の周りを見て回った。

写真のように、ティートリー、マニラヤシ、サボテンの



新枝が折れていた。昨年と今年の15号で、すでに折れるべきものは折れてしまったためか、今回は、大きな幹が折れるということはないさそうだ。

それにしても、後片付けは大変そうだ。

そんななか、なぜか、クワンソウの花が一輪咲いている。

今回の15号、16号の風はかなりの



もので、数年前までなら、停電になる「はず」の強さだが、今年は、停電にならずに助かっている。補修工事がしっかりしてきたのだろうか。工事関係者の皆さん、御苦労さまです。

仕事 バスでこられた訪問者 台風片付け など 8月31日

台風が去り、息子夫婦・孫たちが帰り、静けさを取り戻した私たち。二人で、「静かだね」と目を合わせる。でも、色々なことが舞い込む時期になる。

この2、3日の中心の仕事は、日本生活指導学会の全体会での問題提起へのコメント作成だ。最近、問題提起の要旨をいただいたので、集中作業となる。でも、興味ある仕事だ。

沖縄大学特任教授就任にむけての準備。文部科学省向けの書類作成は、やっとめどがついた。他に、保険・年金その他の書類作成がまいこんできそう。研究室の準備も必要。

ピンチヒッターなんだけど、書類だけは、一人前だ。

台風後の畑・庭片付け。作業が進むと、いろいろと『被害』発見。

倒れかかったバナナは、途中で折れていて、修復不能。期待した収穫は断念。

台風前に開花して、いよいよ収穫だとおもっていたウリズンマメ（リュウキュウシカクマメ）は、やはりダメだった。でも、再び開花しているので、9月上旬には収穫できると期待したい。

モロヘイヤも折れていたのに、傷んでいない葉を収穫した。

30日、卒業生が訪問。10数年ぶりの再会。10数年間のドラマティックな話を聞く。現在はとても重要な仕事をしてられる。我が家まで、前泊したヤンバルの島から、路線バスを乗りついで到着。インターネットで時刻表を克明に調べておられる。こういう立派な客人は初めてだ。バス愛用は素晴らしい。

30日は、ウンケーで休みのところが多いが、40年前と比べれば大違いだ。私が沖縄に住み始めた40年前は、ほぼすべての商店が休みだった。

29日卓球練習日。参加者はウンケー前日で、いつもの半分近く、明日の30日はどうしよう、と相談。4人が来ると言うので、「やろう」ということになった。



台風のなか、家族は天描画（点描画）に夢中

8月28日



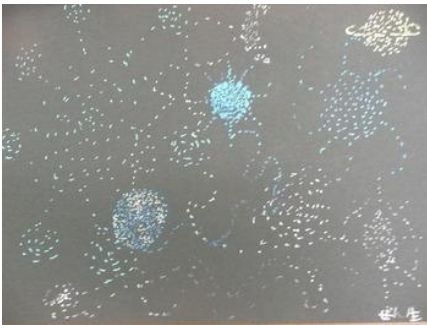
台風で、家に閉じ込め状態。恵美子の提案で天（点）描画を、私以外の皆が描く。皆がはまっている。

なかなかうまい。点描画は、点を画用紙に一つずつ打って描くので、手間暇かかるが、結構おもしろそうだ。見学の私もそれなりに楽しむ。

作品集を紹介しよう。

滞在中の夜は、息子夫婦と私たちのユンタクがはずむ。

孫の話。私の子育てと、彼らの子育て。そんなに変わりはないさそうだ。だけど、私は、もっと厳しかったように思う。しかし、今や、そんなエネルギーは失せてきた。



息子も、ようやく定職で安定し、今が一番平穏な家族生活と言う感じ。今後、孫たちが思春期に入り、巣立ちの時期に入る数年後には、新しいドラマが展開していこう。

同業者になった息子と、授業や大学の話。こんな話をするようになるとは、数年前は予想もつかなかった。不思議なものだ。

今回の台風は、通過前より通過後の方が激しい。北側を通ったので、移動方向とは逆の風になった通過前は、風が抑えられたが、通過後の吹き返しはそのままの強い風になったようだ。

写真のように、海は大荒れだ。写真右手前のように、イノーで白波がたつのはそんなにあることではない。



今回、ベランダの千年木などは、すべてロープで固定した。お陰で、倒れたり折れたりすることは防げた。しかし、茎葉の痛みは激しい。後片付けが大変だ。



息子家族の滞在 孫たち インコ 海岸遊び カレーづくり 8月27日

23日夕方、息子家族到着。2人だけの生活が7人の生活になると、大変化だ。とくに小学生になった孫3人の存在感はすごい。「嵐」になる。とはいっても、年を重ねた分だけ、少しずつ「静か」にはなるので、「助かる」。

久しぶりに見る孫は、みんな、背が伸びてスラッとしてくる。髪型を変えた一人は、人が変わったみたい。

今回は、プラスワンがいる。長男が飼っているインコも訪問滞在だ。5月に生まれたばかりを、貯金2000円で買ったそうだ。私たちに見せると言って、連れてきたという。

インコの飛行機搭乗代が、片道5000円だから、往復1万円。これが想定外の出費だったようだ。

可愛い。時々籠から取りだしてなでている。インコが人間の鼻をつついたりする。人間を仲間だと認識しているようで、私の手にも留まり、私の鼻もつつく。

我が家に着くと、孫たちはさっそく海に出かける。これが毎回の定番だ。

一人は夏休みの自由研究のテーマが、「沖縄の貝」だそうだ。

イノーの砂の上で、自然観察。

去年までは、たくさんのヤドカリを我が家まで連れてきて大騒動だったが、今年は2匹の蟹を取ってきただけで、落ち着いている。

もう一人は、海岸の波と戯れるのが好きだが、最初の日、波が立たない。24日は、台風の波が寄せ始めているので、満足したようだ。



今年は、家事の手伝いもする。写真は、カレーにいれるジャガイモとニンジンを切る場面。結構上手い。一人が包丁でケガをしたが。

「首里城」を自由研究にするという一人が親に連れられて、



出かける。
もう一人は
お絵かき。
もう一人は、
ゲームのカー
ードづくり。





昨年までは、3人がくっついていて、喧嘩が絶えなかったが、今年は、相互距離が少し広がって、喧嘩が激減だ。久しぶりに見ると、成長が見えておもしろい。

25日は、台風来襲前にということで、美ら海水族館へ行く。かつては私たちもついていったが、今回は、息子家族だけで出かけた。静けさが戻る我が家だ。

今回は台風襲来と重なって、外出できる日程は短い、ゆったり滞在となって、かえってよいのかもしれない。

ワークショップシリーズNo.6 作成 クーラー故障

8月20日

8月に入ってからの私の生活風景を書こう。

後期から、新たな科目を含めて、4科目も担当するので、その準備作業が一番大きい。それに合わせて、「浅野誠ワークショップシリーズ」No.6の編集作業を、1ヶ月以上かけて行ってきた。

既刊のNo.2の残部僅少のため、その一部再録を含んでいるが、新たな担当授業科目に合わせた未収録のワークショップ掲載が多く、No.6は128ページと、これまでのなかでもっとも多いものとなった。その作業を、17日に終え、印刷屋に渡した。9月初めには、希望者にお届けできるはずだ。

その仕事を終えて、ほっとする日になった。今週は、いくつかの仕事、訪問者対応、さらに最大の「対応」つまり孫三人を含めた息子家族の滞在があり、結構忙しくなる。

加えて、9月1日からの沖縄大学特任教授に就任準備作業がいくつも出てくる。文部科学省への提出書類の作成は結構大変だ。職員の方々のお手数を煩わしている。

そんな折、クーラーがダウンした。早速、昨年もお世話になった、沖縄民謡の名指導者、福原区長、家電修理といくつも顔をもつ加藤さんに登場願ひ、目下対策中だ。彼は、家庭機械器具の修理名人なので、ウォッシュレット修繕もお願いした。

来週の「繁忙」期を過ぎると、次は日本生活指導学会の準備、大会参加、そして、新たな9月へと入る。そして、秋風が吹く前に、秋にむけての畑庭作業が待っている。まず大きな仕事として、マンゴーの剪定がある。

小さな話題。水槽のグッピーが満員状態になったので、玄関脇の甕に「分家」させた。以前失敗したが、今回の成功を祈っている。

卓球の練習は、いつも通り水木の夜、精を出している。私たちの佐敷スポレクセンターでの練習に、最近は糸満や浦添・那覇から「道場破り」で来る若い人が多い。とてもいい体験になる。参加者が、昨年の今頃までより50%も多く、10人を越すのが普通になっている。

若者とやると、こちらも若い気分になる。

旅する仮面 新都心 人間ドック 我が花々 7月25日

案内が新聞に掲載されて興味を持った「旅する仮面」。県立博物館・美術館での企画展だ。仮面は、私も興味を持っていたが、とくに恵美子は仮面を使ったサイコドラマ等を長くしていたので、強い興味をもっていた。

そんな折、偶然だが、日曜日にこの企画展の関係者でもある須藤さんが、我が家を訪問された。

写真は、須藤さんが企画展の講座で紹介されたベトナムの仮面

そこで早速24日にでかけた。印象を並べよう。

・丸っこい仮面が私の気分にはあう。最高は、ミルク。そして韓国のもの。さらにバリ島をはじめとする東南アジア・南アジアのもの。3月に訪問したバリ島のバロンなどはそうだ。こわいはずの獣形のものも、なぜか暖かさと親しみを感じてしまう。

・変装というか変身としての仮面の役割は、興味深い。24年前に、アングアの面をかむって、2000人の前で、エイサーもどきを踊ったことがあるが、変身してしまうという実感だ。

・怖い面にも、形相そのものが怖いものと、単純化した冷たさが怖さを与えるものがある。

・病気治療に使用された、病気に応じた仮面には興味を感じた。

・左右シンメトリックではない仮面が結構ある。ひょっとこ面などがそうである。ユーモラスだけでなく、訴えるものをもっている。



会場が新都心であるので、久しぶりの新都心光景を見る、というか感じる。そこでの発見。

・私たちは、もうすっかり田舎人になっているので、新都心にくると「異世界」に入ってしまったと感じる。

展示見学と昼食以外にも見よう・買おうという計画があったが、二つが終わると「都会疲れ」で帰る。

・「異世界」 華やかな消費文化。お金を使わないではおれない。食事価格が5割増しになる。

都会的ファッション。「アカヌケ」している。授業で若い大学生たちのファッションに驚くことが多いが、新都心の世界ではごく普通なのだ。若いママたちが結構多いが、「ここは沖縄なの」と思ってしまう。多分、私たちが、「時流」から外れているだけなのだろう。

・街路樹が頑張っているが、葉っぱたちが痛んでいる。

・平日の昼間なのに、人通りが多い。車が多い。美しく光る車が多い。めったにみない軽トラが通ると、ここの「文化」と波長が合わない。我が家周辺では大変馴染むのだが。

・メインプレイスの前は日本銀行、横は博物館・美術館、その向かいには巨大パチスロ。なにか不揃い。

人間ドックの結果が、市役所経由で届く。今は、どこの施設でドックを受けても、そういう仕組みになっていて、市の保健師さんの説明を受ける。

毎年と同様の結果であるが、最近では、大変いい結果で、保健師さんからもおほめの言葉をいただく。無論、逆流性食道炎のように、どうやら一生の付き合いのものはある。私の場合は、裂孔ヘルニアによるものなので、致し方がない、とようやく覚悟できるようになった。長年の気がかりの胆のうポリープも胆のうそのものを取ったから、問題なし。毎年、善玉コレステロールが少なすぎるとい問題がでるが、今年は、正常範囲に収まっている。



恵美子の誕生日に、我が庭・畑に咲く花々をプレゼント。結構種類がある。

ハイビスカス（二種） フウリンブツソウゲ オオバナ
ナアリアケカズラ トレニア・コンカラー サンダンカ
ニチニチソウ レッサーカラミント ダリア メドウ
セージ サガリバナ サルスベリ 三つ葉 ペンタス



二胡の鑑賞 卓球・発汗量・肩・体脂肪・体力 7月18日

14日、シュガーホールでのジャー・パンファン（賈鵬芳）二胡コンサートに行く。すごい人気らしく満席。見た顔の人はほとんどいないので、那覇等からの方々が多いのだろう。相当な人気の演奏者のようだ。揚琴、古箏、ピアノ、チェロ、さらに大城貴幸さんの三線との共演曲がいろいろな組み合わせで演奏された。二胡には、シルクロードのようなイメージしかない私には、驚きとでも言うほど、多彩な演奏が披露された。

シュガーホールのお陰で、多様な音楽との付き合いが増えた。

「趣味」生活では、合唱からは身を引いたが、もう一つの卓球はこれまで通り継続している。週1~2回の練習はずっと続けている。試合出場は、以前ほど多くはないが、年に数回は出場している。回数が減ったのは、チーム編成が難しくなっただけの理由だ。しかし、「TTC 南城」が、今年度からスタートし、そのメンバーになったので、出場機会は増えるだろう。

このところの試合結果報告をしておこう。

7月7日沖縄県教職員大会。団体・個人あわせて、2勝3敗。昨年後半の個人（60代）では、接戦の末、セット率などの複雑な計算で優勝が転がり込んできたが、今年は超実力者複数が出場し、歯が立たない。

7月8日南城市個人戦大会。全く昨年通り2勝1敗で2位。

7月15日、ふれあい大会に、「TTC 南城」Cチームとして、第3部に出場。平均年齢58歳のチーム。リーグ戦では一位だったが、決勝戦では負け、準優勝。私個人は、個人戦で1勝1敗、ダブルスでは4戦4勝。二人合せて130歳を越す、初めて組んだ人とのかみ合いが上手くいった。

こんな具合で、試合に出れば、平均して勝敗数が相半ばする状態だ。実力的には、「まあまあ」だろうが、勝ち負けへのこだわりは減ってきている。楽しみ優先にしているともいえよう。

暑い季節で、毎年発汗量が大変多くなるはずだが、発汗量が激減している。加齢現象のようだ。2時間近くの練習でも、昨年までなら、35000の水分を取っていたが、いまは6割程度だ。他の人が汗タラタラなのに、私は卓球台を濡らすなどは縁遠いことだ。

肩はかなりよくなり、可動域が広がってきたが、接戦になると、影響が出ているようだ。スマッシュがうまく打てない。もっと回復したい、と思う。

朝9時から3時ころまで試合があったので、食事抜きになった。それでも、以前のように空腹でふらふらすることもない。多少は体力がついたのかな、と思う。

最近食事は腹6分目を心がけるようになり、実質的には腹8分目になっているが、それでもスリムな体型に徐々になってくる。鏡で見ると、筋肉質の体に少し近づいた。体脂肪率が15~16%と低くなっている。だが、内臓脂肪は、依然として「要注意」レベルだ。そうした体質なのだろうが、「安全」レベルまで下げたいと思う。

古酒甕を飾りに 発酵雑草第二弾 カーナビ 我が家の話題 7月14日

話題1

字百名と字新原の境目にある、クラブ陶スタジオK'Sとは、長いお付き合いだ。店横にある見事な古酒甕（4~6升入れ）を廃棄処分にするという話を偶然耳にしたことがあった。聴いて見ると、焼く過程がうまくいかなく、漏れる可能性が少しでもあると、廃棄するのだそうだ。



もったいないというので、もらいうけて、我が家のあちこちに飾っている。

先日も、廃棄予定のものを、たくさん持ってきて下さった。我が家玄関を美しく飾っている。





話題2

美しい雑草の花だ。玄関脇の隣の敷地で咲いている。多分、サキシマボタンヅル。発酵雑草を集める時に、毒があると教えられた。これが伸びて庭木などに絡まると、面倒なことになる。右写真は、その本体だ。



1週間前に完成した雑草発酵のジュースはおいしく飲んだ。客人にも評判がいい。

第二弾は、混ぜる砂糖の量を半減させてみたので、完成には一週間以上かかりそうだが、16日の週には飲めそう。ドクダミ・カンダバー入りなので味はどうだろうか。発酵過程で、すでにドクダミ特有のいやなにおいは取れ、甘酸っぱい香りができている。

話題3

最近のカーナビには我が家をきちんと案内してくれるものが出てきた。これまでの旧式のもの、番地で登録しても、山の中に連れていかれた人、道がないところを指示された人、などいろいろ大変だった。つい最近、カーナビだけで、我が家に到着した第一号の方が現れた。

グーグル地図もすごすぎる。番地だけで、我が家をほぼ指示している。厳密にいうと、ちょっと違うのだが。地図を航空写真に切り替えると、我が家が立派に写っている。

これまで8年近く難儀してきた我が家への交通案内も、これで一発解決。といきたいところだが、これはインターネットをうまく使える人に限定される。



梅雨明けとエメラルドグリーン

の海 来客ラッシュ 御嶽光景

6月25日

23日の梅雨明けと同時に、海が劇的に美しくなる。仕事部屋から見る。

毎年のことだが、暑くなるという印象より、ほっとし、楽しさを感じる。ジメジメ風ではなく、さわやかさをもたらす風が舞い込んで来る。



例年なら、マンゴーの収穫は何個だろうと数える時期だが、今年は隔年現象か、

2～3個だ。昨年は300個ぐらいつけたが、台風で全滅。ご難続き。写真は、落ちたばかりの青い実

梅雨明けに合わせてと言うわけではなく偶然であるが、週末の3日間で来客が5組13人あった。

普通の週の何倍もの来客だ。楽しい語らいが続く。

最後の来客は浅川さん。もう15年ぐらいのお付き合い。世界を飛び回り、多様な情報をもたらしてくれる。フィリピンのダバオで開かれた国際学会の話。近隣の屋根の上の水タンクを見て、パレスチナではイスラエル兵がタンクを射撃し使用不能にして、水攻めにするという話。

タマグスクと濱川御嶽・ヤハラヅカサを案内する。



梅雨明け 慰霊の日 奥武島ハーリー

卒業生訪問 6月24日

23日は、たくさんの方があった。



まず梅雨明け。

慰霊の日。写真は、我が仕事部屋から写した摩文仁。二つ塔が二つあるが、左





の卒業生との出会いが多い。

が平和祈念資料館、右が平和祈念堂、その間で式典が行われる。

そして旧暦5月4日で、ユッカヌヒー、ハーリーの日仕事部屋は、絶好の観戦場

来客が重なった。親戚家族訪問に続いて、30年ぶりの卒業生が訪問。

同級生カップルの行武哲治・明子（旧姓中田）さんたちが広島から訪問。いろんな話に花開く。

なぜか、最近、1970年代から80年代初めにかけて

『南城物語』公開 畑・庭 講演など

6月19日

最近の私の話をいくつか個条書きで書こう。

1) 電子出版「写真集沖繩田舎暮らし」を2月に出したが、電子出版の普及度は低いし、出版社側の事情もあって、その後は芳しくない。当初、続編として『南城物語』を出す準備をしていた。しかし、そんなこともあって、準備過程で「方針転換」した。

私と恵美子の共有ホームページを立ち上げ、そこで、電子出版の形を取って公開することにしたのだ。無料公開だ。3月に始めた編集作業が最近完了し、あとはホームページ立ち上げ作業のみだ。

もう間もなくスタートするが、詳細は、改めてお知らせする。今回はタイトルだけを紹介しよう。

- シリーズ南城物語1 南城の聖地・名所
- シリーズ南城物語2 南城の文化
- シリーズ南城物語3 南城のカフェ・レストラン
- シリーズ南城物語4 南城で暮らす
- シリーズ南城物語5 南城を盛り上げる

2) 台風と畑・庭仕事

今回の台風は、あっという間に過ぎた。ほっと一安心というところだ。

それにしても、昨年からのほぼ一年間、雨量の多すぎ状態が継続している。そのため、庭・畑の水分過剰状態が続いている。数日間晴れている時でも、地下水が絶え間なくにじみ出てくる。苗の水腐れも多い。

庭の芝生も、グチャグチャ状態が続く。そこで、踏み石を並べることを検討し始めた。

まずは、数個の御影石を購入して、試行的に並べ始めた。価格も高いし重いので、ゆっくりしたテンポで、試行していくことにする。数年、いや10年ぐらいかけてじっくりと作り上げていくことになろう。自然のテンポだ。

3) 講演・ワークショップなど

私が「自由人? = 暇人?」であることがようやく? 知れ渡ってきて、いろいろな仕事要請が舞い込んでくるようになった。

当面の予定

- 6月28日 沖縄大学 「社会教養セミナー」
 - 7月 ティルル企画 家族・人間関係相談 詳細調整中
 - 8月4日 同友会大学
 - 9月 日本生活指導学会
 - 9月 沖縄保育合同集会
 - 10月以降 後期授業 琉球大学の授業が新規に加わりそうだ。
- そして、常勤に近い仕事話が突然舞いこんできて、目下『困惑』状態だ。



写真は、台風4号の波

このごろの私 5月31日

このごろの生活と関心事をつらねよう。

1) 3つの大学・専門学校で、3コマを並行している前期の授業だが、いずれも6~7回終え、後半に入って来た。受講生には慣れてきて、ノッてきた半面、中だるみの様子も一部にみられる。

これから、さらにどうノセていくかが焦点だ。

私流だが、「特別メニュー」とか「特別レポート」と称して、提出するかもしれない受講生の自由というものの提出が始まる。日頃の授業過程の深まりが反映するものだ。読むのを楽しみにしている。

2) なのはな保育園など、いろいろな依頼ごとや行事などは、一区切りがついた。今、7~9月、そして10月以降のスケジュールの相談調整が始まっている。新たな企画もいくつかある。決まり次第、このブログでもお知らせすることになるだろう。

最近では、他府県に出かけるよりも、県内でいろいろと要請される比率が高まってきた。8年目の沖縄生活だが、ようやく「私が沖縄にいるのを気付く」人が増えてきた。30~40年前の卒業生から声をかけられることもしばしばだ。

3) 日常生活の大半は、書齋派生活だ。読書、研究ノートの作成が中心の生活だからだ。今、原稿執筆はしばしの休憩期間だ。次の執筆への準備期間とでもいうべきだろう。

ブログの過去記事を整理する作業も並行している。今は、「南城物語」を作成している。それらを、ホームページの形で公開することを検討している。

ブログでの書籍の紹介・コメントは今がピークだ。今後、随想や小論の比率が高くなりそうだ。

4) 畑・庭作業はいつも通り順調だ。昨年のような台風被害がないことを祈る。

5) 趣味生活では、卓球はいつも通りだが、試合と一緒に出る人が減ったので、試合出場は激減している。合唱はしばし休憩中。

ウォーキングは、以前より、歩数をかなり増やしている。

6) 悩みの一つに内臓脂肪を減らすことがあったが、ようやく減らすコツのようなものが分かってきた。腹周りは昨年より、2~3センチ細くなっている。この件は、改めて書くだらう。半月ほど前に書いた肩痛は、かなり良くなってきて、「夜明け」を迎えている感じ。

7) 悩みの一つは、Facebook。

よくわからぬままに、登録だけした。すると、「友達」要請が数百も舞い込んできた。どう対応しようか。しばし様子を見ながら、考えることにする。「友達」要請をなされた方には、大変申し訳ない。

対応時間が相当に必要な印象を受けるので、どうつきあい、どう活用したらいいか、いい知恵が浮かぶのを待っている。



モズク取り

イノー

名称不明の

蝶 5月

7日



ゴールデンウィークの話。

左右の写真。5日午後、天空の茶屋からの散歩コースで、玉城・中山・奥武島のイノーを撮影。

5日夕には、3回目の「猿人の湯」 ユインチホテルは超満員。駐車するのに行列。「猿人の湯」も、前回の5~10倍の客。驚き。我が肩痛にはよく効く。



6日午前、時々見る蝶がチシャノキの花蜜に集まっている。何枚か撮影した。2冊の蝶の図鑑で調べるが、



ぴったりするものが見つからない。どなたか、わかりませんか。ベランダから撮影。

6日11時過ぎ、新原ビーチでモズク取り。大潮干潮。

2枚目の写真東側のイノーでとる。

今年は例年より少ない感じ。モズク取りの人も例年の半分以下

それでも、40分ぐらいで、4キロ余りの収穫。

新鮮で美味しい。

右の写真は、私の収穫分だ。

授業 執筆 畑庭 身体 講演・ワークショップ

5月3日

5月になった。ゴールデンウィークだが、いつもと特に変わりはない。それでも、メディアがゴールデンウィークと叫び、近くの道路を通るレンタカー数が増えると、ゴールデンウィーク気分になる。

そんな私のこの頃を並べよう。

1) 4月から、週3日の授業。近年は、せいぜい週2日だったので、多く感じる。2年生が多いので、若いエネルギーを感じるとともに、「専門学習に打ち込む」前のおおらかさ・おおざっぱさも感じる。いつか現代若者論を形にしようと思う私にとっては、若者風景を実感できるチャンスだ。

2) 私の40年余りのもう一つの仕事の執筆だが、依頼原稿などの宿題が少なくなったこのごろは、気楽な作業を中心にしている。一つは、できれば「南城物語」を電子出版にしようと、作業進行中だ。7月ごろには鮮明になるだろう。

昨年出版した「沖縄おこし・人生おこしの教育」の継続発展作業、人生・生き方論も、形にしようと準備はしているが、まだはっきりした形は見えていない。

こんな作業を進行させるなかで、次の数年間の私の仕事像が浮かび上がってくるだろう。

それらの基礎作業として、乱読的読書を重ね、気になる書籍の紹介・コメントのブログ掲載を重ねている。そのためもあって、ブログが少々硬くなっている。硬いものではなく、人生おこし・人付き合い・子育てといった具体的な話も書こうかと考えるこのごろだ。

3) 3月から4月にかけて旅が多かったが、しばし予定はなし。旅もおっくうになりつつある。年に7~8往復の航空機搭乗回数も少しずつ減っていきそうだ。次は、9月初めの京都での生活指導学会だ。

4) 降雨量が多くて、畑・庭仕事も滞りがちだった。春から夏へと移り、畑・庭の様態替えが必要だ。と同時に、8年近くたつ畑・庭の「次期構想」をたて、実行していく必要もでてきた。これまでの「なんでも植えて見る」試行錯誤期を終えて、我が庭・畑に合った形を押し出していくことになるだろう。

いずれ、我が庭畑の植物の一つ一つについての物語をブログ掲載したいと思う。

5) いろいろとあった身体状況も、ようやく落ち着きを見せている。

緩やかに老いを受け入れつつ、かつ元気に年をとる作戦へと移行しつつある。この10年近くで、ようやく自分の体の特性がかなり分かってきた。お陰さまで、寝込むことがほとんどなくなってきた。病気がこんなに減ったのは、私の人生史上空前だろう。

卓球も順調に強くなってきたが、そろそろピークが近づいていそう。上手くなることから維持することへの移行を図る必要があるそう。

6) 学童保育とか、シュガーホールとかでの「地元貢献」業務も、なんとか進行している。

7) 保育園や中小企業家同友会といった各地での講演・ワークショップは、時々声がかかってくる。ワークショップはどこでやっても、新鮮な体験が出来るので、私にとっても楽しみだ。今、夏場のスケジュールが少しずつ

入り始めている。今回は、5月19日、南風原の“なのはな保育園”での“仲間、子どもとの付き合い方ワークショップ”。



孫たちの沖縄

来訪 蟹 プ

イアート 4月

19日



3月31日、鹿児島指宿の砂むし温泉に出かけている途中で、孫たちだけで沖縄訪問することが話題になる。2番目と3番目が、すぐに「行く行く」と叫ぶが、一番目は躊躇。親と一緒にない旅は、未体験だからだ。鹿児島→沖縄は、私が同行。帰りは、ちびっこ一人旅で、航空会社職員の世話になる。前から提案していたが、なかなか実現しなかった。

いろいろと迷った結果、1番目と2番目が来ることになった。3番目は次回からということになる。



4月1日、
沖縄にきて、
すぐに海岸へ。
孫たちは大きな蟹を見つける。





孫たちは、ブイアート描きにも挑戦

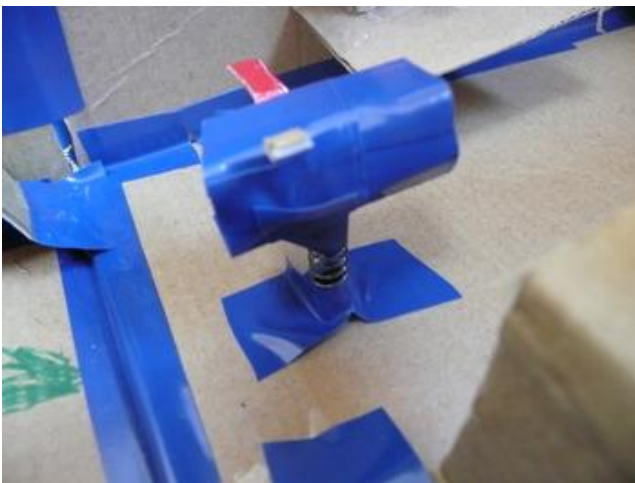
戻る時、大風での欠航が相次いで、空港は大混雑だが、鹿児島便は無事運航。

帰ってから、孫たちは、親とは別の階の部屋で寝るようになったとのこと。私と一緒に寝た部屋だ。

一步、成長へ。

私は孫との数日間。楽しかったが、疲れた。「年だな」と思う。

孫たちの遊び 公園づくり ベーゴマ ドミノ倒し 4月6日



30日に北野天満宮訪問を終えた後、京都から孫たちがいる鹿児島島に行く。
孫たちが創造的に遊んでいる。

上右の写真は、段ボールの箱に作った公園。今年から全員が小学生だが、3人各々が作っている。
シーソー、滑り台などの公園遊具が並んでいる。

上左の写真は、小さなバネを使って作った馬?の遊具。よく公園に設置されているものだ。バネを使うなどは本物そっくりだ。

ベーゴマで遊ぶ。息子と孫と『戦い』をしている。

息子が、インターネットで購入したもの

「子どもの時、しただろう」と誘われたが、私が子どもの時期は、ベーゴマ流行以前で、もっと古い形のコマだった。





直方体の木を使って、ドミノ倒しを作っている。
息子も、小学生のころ、こんな工作を上手にしていたが、孫たちもなかなかうまい。

マンゴー花 ライチ花 シンジュサン 大型クレーン車の事故 3月21日

このごろの近隣。さとうきびの季節は早くも終了。
菊の出荷も、10日ほど前に終わったようだ。
周辺の畑では、オクラの苗がもう大きくなっている。
我が家の庭畑では、金煌マンゴーの開花がほぼ終わった。(右写真)



ライチの開花が真最中だ。(左写真)



20日朝、仕事部屋の網戸に大きな蛾がとまっている。朝4時30分に見つけたが、8時ごろまで動かなかった。

ヨナグニサンに似ているが、こんなところにいるはずがない。いろいろと調べてみて、シンジュサンであることが判明。10センチぐらいの大きなものだ。ヨナグニサンとは模様が少し異なる。

暖かくなってきて、羽化したのだろう。

浜下りも近い。今年は閏3月がある。

こういう時、諸行事は3月と閏3月のどちらですのだろうか。





このところの近隣の大ニュースの一つは、重機が中山集落のなかの三差路で、家にぶつかったことだ。新聞にも大きく掲載されたので、ご存じの方も多いだろう。近辺が停電したそうだが、我が家は大丈夫だった。

中山集落内を通る道路は、レンタカーなどの観光客も多く、交通量がすごい。狭いので、すれ違うのに苦勞する時もある。少しずつ改良されてはいるが、抜本的対策が必要だろう。こんな狭い道を、一日に何百台もの観光向けレンタカー・タクシーが通ること自体が問題だろう。

老眼鏡を買う 3月2日

ついに老眼鏡、カッコよく言えば、読書メガネを購入した。新聞や通常の本などは問題なく読めるのだが、辞書などの小さい活字を読む時は苦勞するようになった。最近、写真にあるような小さい活字の本を読む必要がでてきたので、ついに決断した。

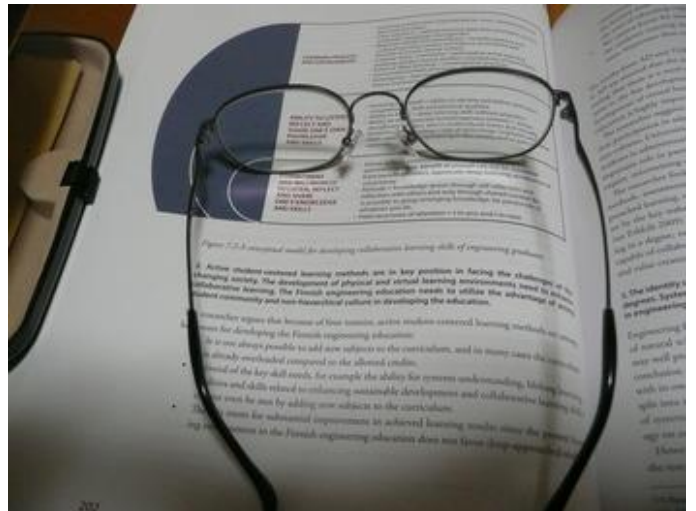
私の使用開始は随分遅いらしい。近眼だったので、遅くなったのか。

つけてみると、小さな字は明るくよく見える。それ以外を見る時は邪魔だ。だからもっぱら小さい字の読書専用になりそうだ。

コンピュータ作業時間も多いが、でかい画面を使用しているので、メガネは不要だ。

私のメガネは、小さい文字用と卓球用の二つを、一週間に数時間使用する、ということになる。

メガネ店は、常時使用をすすめるが、私は必要最小限にとどめている。



年末から2月までの私 2月13日

年末から2月前半までの2ヶ月の間にしたことを並べよう。

1) 電子本「写真集 沖繩田舎暮らし 自然につつまれて」の作成

販売元への閲覧アクセス数が多くて、気をよくしています。実際に売れているかどうかは、まだ分かりません。

2) 次の小論2本を書きました。

『高校生活指導』192号2012年春号

「今、大学へ行く意味を問う ——「人生創造=人生おこし」のなかで——」

「ヒューマンスキル教育研究20号」2012年3月

「「人生おこし」の時代——モノ・コト・ヒトとのつながりを充実させるなかで——」

2本とも、かなり楽しんで書きました。30~40年前、1本書くと体重が1~2キロ減るという時期が嘘のようです。創造的な仕事をするのは楽しいことです。

いずれも、3月発売です。一般書店での購入が難しい人はご連絡下さい。紹介します。

3) 授業

沖縄大学と看護大学です。2月13日に終了しました。

このブログで毎回の報告を書いてきました。だんだんに盛り上がってきました。二つとも『打ち上げ会』を我が家でします。

4) 健康回復から体力増強へ

昨年10月の手術以降、体力回復が順調に進み、年明けぐらいからは、「体力増強」ステージになっています。歩行数の飛躍的増加、腕立て伏せなどを行っています。私の健康維持・回復には筋肉量増が必要だと判断しました。

5) 畑庭仕事

天候不良が続いたのですが、12月ごろからは、畑仕事を増やせるようになりました。2月にはいって、収穫もなんとかできるようになりました。

ということで、今一区切りついています。

ぼちぼち、次のステージへ移っていくことでしょう。

こしばらくは、こんなことがあります。

1) 沖縄大学集中講義「問題発見演習」 2月20~24日

4月からは、沖縄大学、沖縄県立看護大学、沖縄リハビリテーション福祉学院で授業をします。その準備もします。

2) バリ旅行。 10年間お会いしていない、バリ島居住でインドネシア人とカナダ人のカップルとの再会です。

3) これからの仕事の計画作成

昨年9月発刊の「沖縄おこし・人生おこしの教育」のための仕事の次のステージの計画を作成中です。2~4月には計画を確定し、着手します。

4) ワークショップ・講演準備

2月15日、3月3日のワークショップ実施、そしてその次の企画の相談中です。



子どもたち、孫たちから、結婚40周年祝いが届く 2月6日

「40年になったよ」と伝えておいたが、5日午前、いろいろと届く。

花、夫婦茶碗、寄せ書き、写真など

お互いに祝い合うのも楽しい。遠くに暮らしているので、集いは持てないが、それでもいいと思う。子どもたちは忙しい年齢時期だし。

孫たちのメッセージも年々しっかりしてくる。

私たちがよく続いたものだと思う。

私

は、40年前、せめて21世紀を見てから死にたいぐらいに思っていたが、二人とも、十分に21世紀を生きている。しかも一緒に、だ。不思議なものだ。



2月5日結婚40周年記念日 何をしようかな

1月29日



40年前の1972年2月5日、東京神田で、私たちは結婚パーティーをした。いわゆる会費制結婚式だ。1500円会費だったように記憶している。70名余りの方が参加して下さり、それですべてをまかなった。宮古から来た恵美子の母親が、初めてさわる雪に興奮していたのを覚えている。

それから話が急展開し、4月10日に那覇港にダンボール50余箱とともに、当時としては大型船「なは」で到着し、沖縄生活が始まった。お金がすぐになくなり、上司に給料の前借りをした。

そして、5月15日「復帰」。あわただしい日々だった。

あのころの話をして、聴き手の多くは、いつもの浅野の冗談だろう、というが、『事実は小説より奇なり』のころだった。



結婚パーティーで三つの誓いをしたが、その一つは、オープンな家庭にして色々な人が交流できる場にしようというものだった。実際、40年間に我が家に入り出した人は、1000人を超すかもしれない。それらの方々との再会も、最近は多い。新しい出会いも多い。

その40周年だが、二人で何をしようかと話したが、まだいい知恵が浮かばない。このブログ読者のアイデア提供に期待したい。

当日、我が家に来たいという希望者がおられたら、事前メールをください。

木曜金曜ぐらいまでには、何をするか決めたいと思う。

写真は、我が家のある中山を背景に、イノーに立つ恵美子。恵美子は私の写真をとっている。



生まれてはじめてジーパンを買う

サチバルマヤー半額セール 1月22

日

雨の中、傘をさして、いつもの海岸散歩の帰り道、サチバルマヤーで、セールをしているので立ち寄る。ここは若い人たちでいっぱい。もうすぐお産という方が3人もおられた。旧正前日で「お



めでたい」話だ。

半額セールを29日までしている（水木は休み）とのこと。そこ、二人で買い物。

私は生まれて初めてジーパンを買う。試してみようかと思う。

「生まれて初めて」というと、その場にいた梅原龍さんに「エッ、そうですか」と驚かれる。

このものは、Big Hug というブランドで出している。デザイナーとは時々会うことがある。

話題二つ プリンター修理 懸賞締切前に正解掲載への怒り 1月16日

年末に依頼したプリンター修理が、年を越して20日近くかかったが、ようやく戻ってきた。沖縄では修理ができず、新年になってから茨城の工場まで送って修理ということになった。ギアがこわれたらしい。

早速、滞っていたプリントやスキャナーの作業を再開。

先日、ある方にプリンター故障修理に時間がかかって困っている話をしたら、もっといらいらすることがある、という話を返された。

話はこうだ。

正月の新聞はいろいろとバラエティに富んでいるが、そのなかに超大型のクロスワードパズルがあり、それを埋めていくのが楽しみだ、ということだ。辞書や参考書を片手にすごく時間をかけてやっとできたので、解答を書いて懸賞に応募なさったとのこと。

ところがだ。応募締切前に、新聞に解答が発表されたというのだ。とすると、パズルを解く苦勞なしに、懸賞に応募できるということだ。その方、新聞社に電話をして、「どうなっているのだ」と尋ねたら、担当者はニコニコしながら、「応募者を増やすために、解答を公開した」とのこと。

その方の怒りは収まらない。新聞社に、抗議の気持ちをこめた質問の手紙を送ったとのこと。さて、新聞社はどう答えるのだろうか。

こうした類いを時々見かける。クイズと言いながら、答えがすぐ近くを書いてある類いだ。

しかし、今回は大変な労苦を求めるものであり、解答者はチャレンジの気持ちが強い。そういう人と、労苦なしに応募する人とは、雲泥の差だ。労苦をかけた人の怒りはもっともだ。だから、笑ってすますわけにはいかないかもしれない。

よく報道における倫理ということが話題になるが、これは範囲外のことだろうか。

訪問者 畑作業 原稿書き 忘新年会 体調 1月13日

2012年になってまもなく2週間。

今年の正月、訪問者が数組あったが、いつも通り静かな正月。

正月だからといって特別のことはない。所用が少なく静かなので、毎年のことだが、原稿書きなどにいそしむ。もう30年余りそうだ。子ども・孫たちの来訪は、別の季節だ。

雨と曇りが交互にきて、たまに晴れるということで、秋の長雨のような状況にはないので、この間、結構畑・庭仕事をし、収穫整理や種蒔きなどのやり残しをほぼ終わることができ、通常スタイルになった。12日には、昨シーズン最後の収穫のウコン作業を終えた。毎年やっていて、「備蓄」が多すぎるので、今年は植え付けを休止しようと思う。

昨秋播いた葉野菜も成長し始めた。それにこぼれ種からの三つ葉などが大きくなっているの、葉野菜は自家製で間に合いそうだ。

電子出版編集作業もほぼ完了した。前にも書いた通り、ブログの過去記事を編集したものだ。写真中心なので写真集というべきかな、と思う。

12月下旬にトラブルで動かなくなったプリンターの修理がいまだに完了せず、使用できないのが、年末年始の最大の困りごとであった。メーカーの年末休暇で修理ストップもあったが、1月10日になって連絡があったが、他府県の工場に送っての修理になった、との内容だった。修理ができた、という連絡かと思ったのに、がっかりだ。お陰で、プリンターを使用する作業進行の大幅な変更を余儀なくされている。日常いかにプリンター（スキャナー、コピー機能を含めて）に依存していたかを思い知らされる。

また、5年間保障というのは、こういう事態を含んでおり、「甘い」ものではないことも知った。代替物を探してくれたが、ないとのこと。いっそのこと下取りで新品購入したい、といったら、そのシステムもないとのこと。なんとも融通のきかないことか。ともかく1ヶ月近くプリンターなしの生活だ。

年末年始の忘年会とか新年会などは、合唱グループのものだけだった。これもほぼいつも通り。少ないから、結構楽しめる。それにしても、私は飲まなくなった。まさに「付き合い」程度。周りの男性の2割程度の量か。よく飲んだ時代を忘れてしまったかのようだ。

合唱の時のDVDをいただいて見るが、私の水準がまさに初心者であることを改めて確認し、少々がっかりもしている。

いつもと変わらないのは卓球練習。年末年始は、練習参加者が少ない。でも新年になって、もう4回練習した。11月終わりから風邪気味だったが、対処の仕方が上手くなったのか、12月下旬からは、風邪っけも飛んで行った。もう少し運動量を増やそうということで、ウォーキング距離を伸ばしている。内臓脂肪を筋肉に変えたいと思う。

ループタイ オジガール 1月6日



NHK 衛生放送番組（英語）の日本の若者風俗紹介を偶然見た。Oji-girl という、見たことのない単語が目に入った。おじさん風俗を活用する若い女性たちの話だった。

その代表的なものとして、ループタイが紹介され、お店で品選びするシーンまで放映された。

私は、20年以上前から、普通のネクタイではなく、ループタイを使用することが多かった。だから、結構持っている。ネクタイの方は、息子・婿など若者に譲って、今では数本しかもっていないが、ループタイはもらい手がない。おじんくさく、というよりはおじいさんくさく見えるからだろうと思う。そういう私も、ものによってはおじいさん臭くて、いやだなと思うことがあった。

私のループタイには思い出深きものがある。いくつか写真で紹介しよう。

右写真。上から1番目は、20年ぐらい前に旭川で購入してシマフクロウのデザイン。

2番目と4番目は、どこで購入したか記憶していないが、色と形が好きだ。

3番目は、30年ほど前か、八重山で購入した黒真珠。全体的に見ると、長い間、青・緑系が好きだったことが反映しているようだ。

左写真。1番目は、8年ぐらい前、北海道阿寒湖岬で、アイヌ木彫りをしている方と親しくなった際、手に入れた。裏に私のイニシャルを掘ってもらった。彼はアイヌ・沖縄交流で沖縄にも来ている。

2番目3番目は、10年以上前、カナダのバンクーバーのUBC（プリティッシュ・コロンビア大学）構内で、工芸をしているハイダ族の方から購入した。

4番目は、思い出せない。どこか海外で購入した民族工芸品。

5番目は、シーサー。重すぎて、つけることは少ないが。

他にもあるが、ここまでにしよう。

我が家の正月 花 私の料理 ムーチャー 仕事部屋を飾る 1月1日

正月風景いくつか



左写真。恵美子が飾った花

右写真。1985年から毎年大晦日に作り続けてきた私の料理（製作中）



1984年正月当時、埼玉に1年間だけ住んでいたが、家族で秩父方面に出かけて、峠の茶屋で食べたものが美味しくて忘れがたい味だった。それを真似て、毎年、自己流に作り続けている。

簡単だ。長く煮るだけ。鶏肉、昆布、大根、ニンジン、牛蒡、こんにゃく、椎茸。少量のみりんとうしょうゆを加えるだけ。いつもサトイモも入れるが、手に入らず。ほかに、タケノコを加えることもある。

下左写真

今年の正月は、ムーチーと重なる。

ムーチーは買ってきたもの。子どもたちがいた時は、自分た作ったこともあった。子どもたちは、今でも味が忘れられなくて、土産はなにがいいかときくと、ムーチーと答える。

右写真。

我が仕事部屋も少々飾る。

久しぶりに、アロマの香を楽しんでいる。フクロウ3種。花瓶にさしたティートリーの枝。木彫りのコマ。大里の刀鍛冶さんから購入した文鎮。ネパールのポカラで現地画家から買った絵。



2011年

日常と変わらない私の年末風景 12月31日

ここしばらくの私周辺を紹介しよう。

1) もともと忘年会は少ないほうであったが、ついに今年はゼロだ。25日の「中山音楽の夕」後に懇親会があったが、忘年会ではない。この2年余り酒もほとんど飲まなくなった私には好都合だ。酒よりティーパーティーの方を好むようになってしまった。

2) 卓球練習も年末は集まりが少ない。22日は二人だけだったし、28日は会場のさしきスポレクセンターに行ってみれば、清掃のため臨時休業という看板で、がっかりして帰ってくる。

3) 歯痛がしたので、歯医者にしてみると、どうやら磨き過ぎで、歯肉を痛めたためらしい。歯間ブラシによる歯磨きをしばし休止したら、痛みがなくなった。歯医者さんによると、私の歯は相当にしっかりしているらしい。

4) なぜか、原稿執筆依頼が二つも舞い込んだ。私のブログ記事も参考にしての依頼だ。読んで下さり、更に書いてほしいということなので、とても嬉しい。そのうち一本の作業を進行中である。

5) 困ったことに、プリンターが故障し、現在修理中。ギアが割れたとのこと。メーカーが年末年始休業のため、修理完了は1月10日。困るけど、どうしようもない。必要不可欠のものは、恵美子のプリンターで印刷する。恵美子のワードが古いバージョンなので、いちいち変換しなくてはならないのが、面倒。

6) 下旬になって、雨が降らない日が多く、ため込んだ畑庭作業に精を出す。隠れていたしょうがや、ツルムラなどをたくさん収穫する。

7) 長雨で、アリが室内にたくさん入ってきて困った半年だった。晴れてきて、ようやくアリの侵入経路を発見。対処して激減させた。

8) 体力は、ようやく入院手術前に戻ったかな、とは思う。だが、ここ数年、冬の寒さで体調を崩すことが多い。今年も寒くなると、風邪気味になって、息苦しくなったり、気管支炎になったりした。それを事前察知して、対処するが、時々失敗する。

9) これから年末清掃と正月用料理作りに入る。

電子出版への挑戦 合唱練習 12月15日

このごろの私を報告しよう。

11月26、27日の沖縄県民体育大会の卓球で張り切り過ぎて、1週間近く体調を崩したが、体調も回復し、7日から卓球を再開した。

このところの主なトピックを並べよう。

1) 12月25日の『中山合唱の夕』の練習 合唱は、ハーモニーについて初挑戦。5年かけて、やっとである。独唱は、イタリア歌曲「カロミオベン」に挑戦

2) 11月下旬から12月は、私にしては、珍しく忙しい。大学授業・卓球練習・合唱練習以外は、1~2の用件・会合しかないのが普通だが、2~4件もあると、超繁忙と感じてしまう。

3) 電子出版への挑戦を始めたこと。

以前から、娘たちから、「お父さん、今は電子出版の時代だから、紙の出版から移行していかないと駄目だよ」といわれていた。紙の本を購入しても、スキャンして、アイパッドやコンピュータに取りこんで読み、紙の本は廃棄するそうだ。本箱・本棚の時代ではないというのだ。

私の近辺はそうでもないのだが、時代はその方向へとぐっと傾き始めている。

そんな時、沖縄の産業まつりで、電子出版のコーナーに遭遇した。ということで、その会社と、何度か話をし、いよいよ試みをスタートすることにした。

その会社も、今年になって始めたばかりで、いろいろと開拓中のようだ。

電子出版にはたくさんの可能性がありそうだ。

手始めに、このブログで、容量の都合ですでに消去した記事が2000近くになるが、「もったいない」し、読者に迷惑をかけていることもありそうなので、それらをベースにして、電子出版書を発行してみる気持ちになった。

ワードの中級マニュアル本を買ってきて、レイアウトなど、いろいろなワザを見つけて、編集を開始したところだ。2月ごろには発刊する、というのが目標だ。

仕事部屋の模様替え 10月7日

フィンランド、スウェーデンに行くと、デザインというものに、眼を開かせられる。私のようにデザイン性とは随分遠い位置にいるものでも、刺激を受ける。

ということで、まずは自分の仕事部屋から取りかかる。

まずは、木創舎に作ってもらった超大型機の配置を変えた。これまでは壁に貼りついて置いていたが、斜めに置いてみた。この机、長さが2メートル以上あり、上の板だけでも一人の力では持てない重量だ。ゆっくりずらし移動するしかない。



左が配置
換え前の写
真
右が配置
換え後の写
真



ひとまず
写真のよう
な位置にし

た。

移動する際には、たまっている不用品とゴミの処理が並行する。

そして、本棚に置いたままのふくろう収集品の置き場所、再検討にも入る。

この作業、1～2ヶ月かけようと思う。落ち着いてきたら、また報告することにしよう。

時差ぼけがなかなか直らない

9月21日

戻ってから5日たつというのに、時差ぼけがおさまらない。今朝も8時近くによろやく目が覚めた。西向きより東向きがきついといわれるがその通りだ。フィンランドに着いた時は、2、3日で収まった。

帰ってからは、この間にたまったことの処理が中心の生活だ。畑の収穫・整理、種・苗の季節だが、取りかかれるのは来週か

メール・文書の整理・返信なども結構多い。旅の整理。生活指導学会報告・フィンランド報告の整理作業。ブログ掲載記事作成（これは、まだ1/4しかすんでいない）。

それでも、後期の授業準備、依頼されている文書書き、10月9日の研究会準備などに、ようやくとりかかれる段階にいたった。生活指導学会報告・フィンランド報告の整理、ブログ掲載文作成と並行して、10月初めまでにメドをたてたい。

フィンランド調査研究の進行を含めて、本職の研究生活に取りかかれるのは11月にはいつてからか。

ということで、ゆったりとした田舎暮らし生活を取り戻しつつあるこのごろだ。

太陽光懐中電灯

8月29日

やんばる学びの森で出会う。なかなか性能がいい。

販売していたので、購入。明るさ十分。三段切り替えだ。





小さな盤で囲碁をしながら、久しぶり

の親子対話 8月22日

我が家に滞在した息子家族。夜、息子が囲碁をやるという。囲碁をするのは、10年ぶり以上だ。息子は、ほとんど経験がない。私は、かつて1~3級ぐらいだった。

「正目」置いて、やる。でも、時間がかかってしま

う。そこで、碁盤を少し小さくする。小さくするやり方が正式にあるのだが、どれだけ小さくするかは忘れた。

3~4目置いて、やる。短時間で結構楽しくやれる。数回やると、息子もだんだん分かってくる。ちょうどいいところで私が負けて終わる。

やりながら、世間話をする。同業になった息子と、授業方法なども話す。

毎年一回、こんな感じで親子対話だ。以前は酒飲み話だったが、私が飲まなくなったので、こんな感じに話をする。

孫物語 8月12~16日

1. 熱いスープを食べる

息子家族がやってきた。おおにぎわいだ。

スープを食べるのだって大騒ぎになる。

年に一回の楽しい日々



いろいろな企画もあり。





2. ヒトデとたわむれる孫

ヒトデも多い。赤、黒、青いろいろ
ナガンヌ島にて



3. 幼稚園生の孫の絵

孫がくると、恵美子はお絵かきをさせる。
全く自由に想像・創造させる。
描きながら、物語が発展するので、絵も発展する。
何か、物語が飛び出てきそうだ。



魚の物語？
それとも
鳥？ 右上
写真



4. 2年生の孫の絵
これは何だろう？

性格が絵に表れる 左と右
この生き物は何だ？

5. 孫の絵 小学4年生

9階建てのウンチ。この年齢は、大人がいやがる、こんなことを話したが、描きたがる。でも、面白い。



ホテルが病院になると、なかなかいい

7月16日

今日、旧東急ホテル後の病院に見舞にいった。
かつて沖縄随一の高級ホテルで、私が訪問したのは、なにかの会合で一回あったかなかったか、ぐらいの記憶だ。近づきが

たい印象を漂わせていた。

以前のホテルの建物がそのままなのか、建て替えたのか、詳しくは知らないが、病院らしからぬ雰囲気。

病室からは海と泊港・安謝港がよく見える。病室も、明るくゆったりした感じだ。

よくあるきつい薬のにおいもない。

世の中の変化は、病院にも訪れている感じ。

中に入ると、医師めいた職員が、そちらから面会受付場所を教えて下さる。

首からかける面会者用のカードをかざすと、エレベータールームのドアが開くスタイルだ。

世の中変わった



作家的生活？ 書齋派生活？ 沖縄教育論執筆最終段階

6月24日

この頃の私。一週間と一日の定例の動きは、こんなものだ。

月	午後	沖縄大学での授業	夜	中山合唱団の練習
火	午前	沖リハの授業は、今週で終了		
水			夜	卓球練習
木			夜	卓球練習
金土日		定例はなし		

平均的一日 上記の定例の仕事がある時以外の日

午前 「沖縄おこし 人生おこしの教育」などの執筆

午後 午前の継続と読書 ブログ連載記事作成

夕 畑・庭仕事

夜 読書

定例以外のことが、しばしば入ってくるが、それでも作家的生活、書齋派生活だ。「沖縄おこし 人生おこしの教育」の執筆を中心に、日々が回っているからだ。私の人生のなかで、一日の中で、研究時間比率がもっとも高くなっている。でも、自分の体力気力にあった程度に仕事・休養をしている。かつてのように執筆作業が終わると病気になる、というのとは正反対だ。

以上の流れは、8月に入ると、ガラッと変わる。

沖縄大学の前期の授業が終わり、下旬には集中講義が入る。

孫たちを始め、訪問客が多い季節。

「沖縄おこし 人生おこしの教育」執筆作業が終わり、次の計画へ

9月にはいると、沖縄外にでかけることが多くなる。

10月に入ると、後期の授業の開始。

床屋話 5月26~27日

火曜日、いつもの床屋。沖縄に来て、1ヶ月半に一回。同じ床屋で定期的に。

いくつかの話題

1) しわ発見

首にしわができています。体重減の影響かな、と思う。それにしても、自分のしわに気づくのははじめて。これから、いろいろな所にできている事に気がついていくのだろう。いまのところ、こうした老化の発見は、あまりいやではない。でも、皮膚にできるしみのようなものができる時は、いやに感じるだろうな。

2) 私の床屋歴

子どもの時以来、床屋に行くのがあまり好きではない。きれいさっぱりになることより、体をさわってもらふことへの抵抗感か。特に初めての店に入る時、そう思う。

だから、できるだけ、短い時間でやってもらえる床屋を選んだ。安価で『大量生産』的な床屋だと、30~40分ですむし、理容師との会話は必要最低限ですませられるからいい。都市生活の際には、そういう店に入ることが多かった。

玉城にきてからは、7年間、1~2回を除いて、知り合いになった床屋に定期的に通いつけている。そこが休みの時に、別の床屋に行くのではなく、日ないし時間を置いて、また行く。

気心が知れたところが安心だ。

3) 余談。

トロントにいた時の床屋はちょっと苦勞した。希望のスタイルを英語でどう伝えるか。理容師からの話しかけへの対応にも困った。そういう際の会話などという便利本はない。もう一つ厄介なのは、チップはどれほど払えばよいか、ということだ。

寒いところだったので、長髪にして、行く回数を減らした。

4) 価格

近年、価格破壊が進行している。20年前、愛知にいたころ、近所の床屋は4000~5000円ぐらいで、1時間かけてじっくりやる店だった。『おしゃれ』追求中心だった。近くに、大量生産システムで、2000~3000円余りぐらいのところのできたので、そこに移った。だけど順番待ちが大変だった。東京に定期的な出張があったころには、東京の10分(15分だったかな)1000円(1500円だったかな)という店を利用した

こともある。床屋に3000~5000円をかける気持ちはない。

南城市周辺では、1200~1800円ぐらいのところか。都会では3000円以上のサービスをこの値段でして下さる。申し訳ないくらいだ。

5) サービス

私は、基本的流れ、つまり髪切り、剃り、最小限の洗髪などで十分。

6) ゆんたく

床屋でのゆんたくは、それほど好きではなかったが、最近は、結構それになじんできた。知り合いでもあるからか。昔から、床屋が地域の情報基地であるといわれてきたが、そのことがわかる年齢になってきたということか。床屋と客という関係をはるかに超えるお付き合いをしている。

7) 付けたしの笑い話。床屋での卒倒事件

床屋のひげそりで卒倒したのは、私ぐらいか。若いころ、貧血低血圧だったので、よく卒倒した。血液検査の時などは、50%の確率だった。

卒倒するには、いくつかの条件がある。

空腹 寒さ(特に寒い外から暖かい室内に入った時) 睡眠不足 とがったものとの出会い(注射針など)

この条件のなかの注射針が剃刀と入れ替わっただけで、床屋で条件がそろってしまったのだ。私より床屋がびっくりしただろう。

ウチナーグチ学習

4月10日 5月2日

書店で、西岡敏・仲原穰「沖縄語の入門(CD付改訂版)——たのしいウチナーグチ——」(白水社2006年)を見つけ、ウチナーグチ練習をスタートさせた。

沖縄居住25年近くなるので、ウチナーグチは多少わかつて思い込んでいた。しかし、2年前に字評議員をして、会議でのウチナーグチ会話にほとんどついていけなかったことはショックだった。そんなこともあって、いろいろとウチナーグチ本を読んだが、きちんと練習になる本は今回が初めてだ。

スタートして、ウチナーグチができないのが、ますますわかった。聞き取りでいうと、数%のレベルだ。話すということだと、1%ぐらいだろう。以前、多少は分かると思っていたのは、ウチナー式ヤマトグチのことだったのだ。

英語よりはるかにできないというのが率直なところだ。一カ月かけて、この練習をするつもりだが、終了して、10%近くぐらい聞き取れるレベルまでにいけるだろうか。それが当面の目標だ。

その2

一カ月間やってきた、CDによるウチナーグチ学習が終わる。合計して20回近く聴いた。

3回は、解説なしで聴く。分かるのは0~2割。全く分からないのは、漲水のクイチャー、鷺の鳥節だ。宮古、八重山だし、歌なので、当然ではあるが、宮古婿なので、ちょっぴり分かってもいいとは思いますが、どうしようもない。

解説文・対訳を読んだ後になると、5~6割は聴き取れる。宮古・八重山はそれでも歯がたたない。そして、口に出すのだが、滑らかにはいかない。雰囲気がつかめればいいか、と思う。

おおよそわかると思っていた人名・地名も初めて知ったのにたくさん出会う。

ティーラ（テラではない） トウムシ インミ ジノーン ウジミ などがそうだ

先日も、集落の集まりで、ウチナーグチを聞く機会があったが、この学習成果はまったく感じ取れなかった。

旅は長い。20年ぐらいて、人付き合いのなかで、地元老人との比重が高くなるころまでには、半分以上は分かるようになりたい、という息の長い話だ。当面、あと5年で、1~3割は聴き取れるようになりたい。

琉歌を作れるようになりたい、というのは、実現不能の夢のようだ。

「我が家が売りに出ている」という風評？ 噂？ 4月29日

最近、近くの集落内で、「我が家が売りに出ている」という噂がある、という話を聞いた。

近くの某有名人宅が売りに出ているという噂は、ここ数年何度となく聞いた。本人もそれに困っている、という話を本人から聞いた。その噂が『風評』的に「尾ひれ」がついて、「我が家が売りに出ている」という噂になったのか。あるいは、本当に売りに出ているところと勘違いした風評なのか。

「某有名人が、近くに土地を買った」ということをはじめ、こうした噂・風評は多い。

私たちが困ったのは、ここに住み始めた当初、我が家が某有名人宅だという噂が広がったことだ。観光タクシーが毎日何十台も止まり、写真撮影をする観光客も多かった。私がベランダにしようものなら、わたしをその関係者と決め込んで、手を振る人もいた。観光客にしてみれば、間違いで残念だろう。こちらは、もっと迷惑だ。

さらに困ったことは、近隣の人までそう思い込んで、観光客にそう案内していたことだ。近所の中学生が、そう決め込んで話しかけてきたが、違うと知って、がっかりして帰って行ったこともあった。

最近では少なくなったが、いまでもそう思っているらしき観光客もいる。

有名人は、こうした噂に日常的にさらされて、大変なようだ。ある時、ある有名人と、ぼったり出会う、立ち話していると、通りかかった観光客が写真撮影し、他にも人が集まり始めたので、私たちは会話をそうそうに切り上げた。

本の買い出し 3月26日

23日、ジュンク堂に行き、3ヶ月ぶりの本の買い出し。これが私の生活習慣となった。

書店コーナーで回るところは、沖縄、教育書、新書が定番だが、今回は、たっぷり買うつもりだったので、思想、栽培、スポーツ・健康などまで回る。

合計17冊、26,784円の買い上げとなった。久しぶりに2万円を越した。レジでくれたコーヒー無料券で、コーヒー一杯飲んで、満足感に浸る。

ちなみに、購入した本をジャンル別に並べてみよう。

・沖縄関係書 いつものように硬軟織り交ぜて7冊。「CD付沖縄語入門」を実践的学習向きと考えて購入。もう少しウチナーグチ能力を高めたい。現状1割を、せめて2割は分かるように。

もう一冊「沖縄苗字のヒミツ」もおもしろそう。

・自然科学書 以前から気になっていた自己組織化、非線形科学の入門書を買う。時々こういった全く専門外の本を読むのはとても楽しい。

・栽培関係の本2冊 自然農法関係、そして沖縄農業関係だ。これも時々買う。

・古い問題。今回は一冊見つける

・経済問題 今回は一冊

・思想2冊 最近関心が増しているバウマン、そして全く未読のベックを買う

・全く読んだことがないので、卓球ルール書を買う

・現在執筆中の論文作成の参考に、『多文化』問題の新刊一冊

以上で合計17冊

結果的に、教育関係は『多文化』問題一冊のみ。私の専門は「何だっけ」と言う感じ。年々その傾向が増している。

これで、これから3~4ヶ月は、十分に楽しめそうだ。



このところの仕事 3月23日

私にとっても、このところの最大の関心事は、東北の大災害のことだ。テレビをこんなに見たことは記憶にない。

東北に親戚などはいないが、知人は沢山いる。連絡がとりにくいので、様子は推察するしかない。

沖縄でも避難者受け入れ態勢準備が進み始めている。近隣でも、避難者というわけでないかもしれないが、関東

在住の親戚が一時的に滞在する例が出てきている、とくに小さな子どもを持つ例が多い。

さて、私の仕事の話だ。3月に入り、大学の授業はないので、外出はとても少ない。

4月からの授業の準備は、ほぼ終わった。これまでの引き続きのものと、新規のものがある。新規のものは楽しみであるとともに、チャレンジングなものだ。40回目の大学授業の年を迎えるが、何年やっても新規の科目は新鮮だ。

3月に入ってから中心の仕事は、原稿書きだ。依頼された論文『多文化社会と生活指導』（仮題）にとりかかっている。ここ10年間考えてきた事をまとめる意味もあるので、結構楽しく書いている。

原稿書きに夢中になり過ぎたためか、寒暖の変わり目に体を少し冷やしてしまったためか、卓球のやり過ぎか、災害への気遣いのためか、久々に気管支炎の症状がでた。2年ぶりかな。なにせ、50年の付き合いなので、対応は慣れている。今回は不思議なことに全く発熱なし。平熱のまま、痰だけが症状だ。1日だけ床に就いて休憩した。発熱がないのは喜ばしいのか、発熱する能力が低下したのか、よくわからない。

もうよくなって、原稿執筆再開。論文の第一次稿を書き終えたら、再び沖縄教育論の作業にかかる。論文の原稿は4月末、沖縄教育論は7月をめどに進めている。

大里南小学校跡地にジャスコ！ 私たち近辺のスーパー事情 2月18日

新聞報道では、大里南小学校跡地にジャスコが進出決定
Aコープ「アトール」のすぐそばだ。どうなっていくのだろうか。

これをきっかけに、私たちが住む玉城中山近辺のスーパーについて、振り返ってみた。我が家から近い順に並べてみよう。時間は車使用でのものだ。利用回数は私の場合だ。

Aコープ玉城店 4分 月1、2回利用
Aコープ「アトール」13分 月1、2回利用
佐敷金秀と佐敷丸大 双方とも15分 年に一回あるかなしか
東浜金秀 20分 月1回
南風原ジャスコ 21分 年3、4回
南風原丸大 21分 年に一回あるかなしか
津嘉山サンエー 22分 年5、6回
西原サンエー 25分 年1、2回

並べてみると、結構ある。

当たり前のことだが、近ければ近いほど、知り合いの人に会うことが多い。

ジャスコやサンエーなどは、都市的雰囲気になる。入ると『都会』にきた気分になる。なにせ「つかざんシティ」「にしはらシティ」というほどだから。ジャスコは、年齢層が若い。「田舎」雰囲気の私には、こうした店はたまにいくぶんにはいい。Aコープは畑作業着で行ってもいいが、これらの店は、そういうわけにもいかない。

さて、大里にジャスコができるとうなるのだろうか。

それにしても、スーパーの余りにももの多さに「いやげがさしてくる」。

この1週間で使ったお金は、2450円 1月22日

手持ちのお金が少なくなったので、郵便局ATMでお金を引き出すどうか迷う。

それを機にこの一週間で使ったお金を振り返ってみる。

15日	ゼロ	
16日	ゼロ	
17日	ゼロ	
18日	昼食代（大学の食堂）	450円
	歯医者（定期検診にあわせての歯の掃除）	550円
	ふろ代（湯どころ「さしきの」）	600円
	夕食（同上）	650円
19日	卓球会場費	100円
20日	卓球会場費	100円
21日	ゼロ	
	合計	2450円

解説1 17日に合唱団の懇親会で、近くのホテルでバイキング&飲み放題に行くが、日ごろの合唱団積立金（毎回500円）使用で、出費なし。ちなみに料金は2600円か2400円かだと思う。この地域のホテルならではの料金。那覇あたりだと、5000~8000円ぐらいか。安価もあってか、平日なのに順番待ちである。

解説2 大学の食堂で食事を取るの昔からの習慣。ここでいろいろな学生と会話。カフェテリア方式の450円は一般料金で、学生だと350円。

解説3 歯医者は、半年に一回定期検診。ついでの歯の周囲の掃除をしてくれる。

解説4 風呂は、1で書いたホテルが経営している。割引券が期限切れ近くなので、出かける。定価は800円。風呂の後、食堂で夕食。

解説5 卓球は、会場費（市営施設）と球代で、毎回100円徴収である。

解説6 17日、21日も、授業で大学に出かけているが、お金使用なし。時間割が4限、5限なので、食事もなし。

こんなのがほぼ普通だ。

このほかには、こんな支出がある。

週に1回あるかなしかで、スーパーで食料品などのまとめ買い。

月1~2回のガソリン代。

三ヶ月に一回ぐらいの本のまとめ買い

畑の苗種代堆肥代などが、月に平均して2000円ある。

大きいのは、自費旅行 年に3~4回か。学会参加も自費なので大きい。

税金・保険料・電気ガスなど自動引き落としがかなり大きい。

冠婚葬祭・飲み会などの交際費使用は、年に数回。

ちなみに、衣類はめったに買わない。今年は寒いのが、愛知時代に着ていたものが活躍。この1年間購入記憶はない。靴は買った。

まさに田舎暮らし。近くにコンビニ（便利という意味だ）もない、不便なところなので、お金を使わない。

家族 親子関係の新しいステージ 正月個人随想 1月10日

「2010年ニュース」に、こう書いた。

娘夫妻の誘いで、フィンランドのヘルシンキに半月余り滞在しました。発見続々の日々でした。

息子が、数年以上の苦節を経て、鹿児島に定職を見つけ、家を作りました。応援で3度も鹿児島に行きました。孫たちも小学3年、1年、幼稚園と元気です。

繁忙だった恵美子は、少しは仕事量を減らして、楽しいことをどんどん開拓しています。

いくつかのステージをもつ親離れ子離れは、私たちの場合、ほぼ20年間の過程だったが、そのほぼすべてが終了した。それに代わって、独立した親と独立した子が必要に応じて協同し合う関係へと移行した。ケースによっては、孫の世話などという形で親から子への支援があるが、私たちの場合は、それは想定していない。

この協同の期間がどれだけになるかは予想をつけられない。その期間の後に、介護などの形態で、子どもによる親への支援の期間があるのかどうか、私たちの場合、それも予想をつけられない。

ともかく、20年間続いた親離れ子離れのテーマが後景へと退いた。新たなテーマをどうすすめるか、まだほとんど考えていないのが率直なところだ。

確かに移行したのだが、それを示したのが、息子の家づくりと、娘によるフィンランド滞在招待だった。私たち親世代と子どもたち世代との考え方には随分開きはあるが、それは当然のことで、違いが新しい発見・出会いを生み出すだろう。

私たち自身の職業ということでは、フルタイム職業をやめ、「非常勤」型仕事にはいって7年余りたった。アメリカンスクール・イン・オキナワ校長で忙しかった時期も2年半前になり、新たなステージに入っている。恵美子も繁忙だった仕事の任期が終了し、次のステージに入ってきた。

非常勤的な仕事をできるのも、私の場合、残り10年もないだろう。六〇代半ばの今から七〇代初めにかけて

どんな職業生活を送るのか、それを少しずつ考えていくべき時になってきた。

職業的な仕事とは別に、ボランティア的な仕事は、すでにやってきたことだが、今後、職業的な仕事より長く続くことになるだろうが、どんなことに力をいれたらよいか、そのことも考えていきたい年頃になってきた。

2010年

大島紬で飾った私の携帯電話

12月18日

私の携帯はらくらくフォンで、高齢者向きだ。ある学生が見て「おばあちゃんと同じだ」と言った。同世代以上に愛好者は多い。

11月鹿児島に行った折、空港で、大島紬を簡単に貼りつけられるものを売っていたので、やってみた。しろうと細工なので、うまくはないが、結構いいもので、満足している。大島紬は、10数年前大島に訪問した際にネクタイを買って以来だ。

この携帯を見て、別の学生が「おしゃれ」とほめてくれた。

ちなみに、恵美子も同じことをしている。彼女はラクラクフォンではないが。



月桃（さんにん）で染める 12月8日

恵美子が草木染めに興味を持ち始めた。最初に染めたもの。きれいに染まっている。

5年ぶりに岩盤浴に入る 12月4日

具志頭の摩文仁よりの「伊の前」。玉城に移住したころ、新開店のここに、よく通ったものだ。

あのころは、流行のはじめのころだった。さきがけのような店だったが、その後各地に誕生した。

気分転換に「上等」だ。



久しぶりに忙しい 12月3日

このごろ忙しくなった。ここ1年の間では、大変珍しいことだ。予定の沖縄教育論執筆作業も少しずつ先延ばしだ。このブログ投稿回数も少なくなっている。

理由はいくつかある。

看護大学の教育原論の授業が始まって、週に三回も授業などに定期的に出かけるようになったこと。これは、来年の2月初めまでの事だ。

「中山音楽の夕」を12月26日に控えて、合唱練習や準備に時間が必要になったこと。

加えて、12月1日に、沖縄大学の授業公開で授業参観して、そのコメントを執筆したこと。

だから、第一週は、4回も仕事で外出。最近では、とても珍しいことだ。

18-19日には生活指導学会理事会で、久しぶりに東京行きが控えている。

などなど。

この他の外出というと、買い物と卓球練習だ。

だが、世間でよくある忘年会がないのが、私の特徴でもある。このところほぼ毎年そうだ。

一つもないのは寂しいので、恵美子の年末のクラス会にゲストとして参加することにする。自分の同窓会には、滅多に出ないどころか、誘いも来なくなったのに、妻の同窓会に出るとは、少々変だが。

私自身の同窓会に出かけるとすれば、はるばると飛行機に乗っていくしかないが。

20年前、35年前の古切手 11月13日

我が家には、たくさん古切手がある。写真は、昭和50年のお年玉切手。10円切手だ。

そして、41円切手と62円切手。いずれも消費税3%がつくようになってできた半端な額の切手だ。その後の料金改定で、この額の切手は、発売されていない。

どうして、こんな切手を持っているのかというと、切手販売を副職にしていた姉が早逝したために、残ったものだ。私が切手をたくさん使うだろうと言うので、引き取った。50円切手とか80円切手とかは使いきったが、半端な額のもの的大量に残ってしまった。仕方なく、定型外郵便のときに2~3枚貼って、半端なオーバーは「寄付する」ことにして、使っている。しかし、電子メール時代になったので、なかなか使いきれない。

他の額はともかく、62円切手はどうしたものか





な、と思案に暮れている。

孫たちの大河づくりを見学 11月13日

新しい家で、庭整備に手がつけられていないので、子どもたちが自由に遊べる。しかも砂なので、こんな遊びに絶好だ。近所の子どもも参加。

家族——ブログ記事の振り返り・再発見 9月30日

この間、娘の結婚、息子の孫が1人から3人へ増えるなど、我が家の家族人数が増えた。孫たちは、小学生・幼稚園生だ。私たちと同居しているわけではなく、年に1~2回の出会いだ。孫たちが一週間も滞在すると、私たちは疲れ気味なのだ。遠く離れているのもいい。

息子の正規雇用への就職。娘はその準備過程。研究者としての道を歩んでいる。専門分野は異なるが、大学教員とか研究者とかいう職業は、彼らには自然の選択のようだ。

こうして、経済的支援などからは解放され、自分たち自身の生活費を考えればいい生活になった。そして、私の主たる収入は、年金となった。

各々の家族が、これからどんな風に進んでいくのか、見守っていきたい。

実は、フィンランドの旅は、娘夫妻が出費してのものだった。全く望外の喜びだ。

衣食住——ブログ記事の振り返り・再発見 9月25日

2004年9月から、ここに住み始め、この間、台風襲来はあったが、被害が出るほどの事はなかった。津波とか、がけ崩れなどが心配されたが、無事、何もなかった。今後もそうであることを祈っている。

「住」については、エレベーター設置工事、ウッドデッキ設置などをしたことが特筆事項だ。私個人で言うと、机を木創舎（きづくりや）で作ってもらったこと。

もうしばらく工事はないだろう。最近太陽光発電の売り込みが激しいが、しばらく先の話になろう。うちっばなしの外壁に塗装をする売り込みもしばしば来る。

食は、以前より恵美子がつくる比率が増した。今は6対4ぐらいか。野菜は、我が家製の野菜が、季節によるが、2～6割を占める。チャンプルー、ゆし豆腐、魚汁など、沖縄式料理が多い。

衣では、新品を買うことをほとんどしないで、長年ため込んだ衣服を使う日々だ。余り気味だった愛知時代の冬物もようやく減ってきた。家にいることが多いので、外出着が余り気味だ。

腰回りが減ってきたので、長年ダンスにあった20数年前の衣類が再び着られるようになった。当時の卓球ズボンが何着も残っているので、最近、家のなかでは、クラシック卓球スタイルだ。

衣というわけではないが、2004年正月ごろから振り返ると、ヒゲ伸ばし・カットを2往復した。ヒゲ伸ばし→カット→伸ばし→カット というわけだ。これも気分の問題だ。髪の毛も短髪が基本だが、冬になると長めにしている。

周りの人からは、年相応に見られるようになってきた。

写真は、そのクラシックスタイルの卓球着。1980年代から90年代はじめまで着けていた。卓球ルールでは正式試合は公認のものが必要だが、これらが公認されていたのは10数年前のこと。今では、これをつけては出場できない。だから、夏用の普段着にしている。数年前にも着ようとしたが、腰が入らなかった。スリムになった今年からはけるようになった、というわけだ。

4着も残っているのは、製品が強いので、残ってしまったのだ。それに団体やダブルスで出る時、チームやペアでそろえるので、増えてしまったのだ。



孫たち帰る 加齢は子育ての体力・気力を低める

8月17日

一週間という長期の滞在をした一行が、今日帰る。我が家は、元の静けさに戻る。それにしても、子育てには体力・気力が必要だ。私たちは、だんだん減ってきている。

昨日、グスクロード公園を連れて行っただが、孫たちを遊ばせて、私は木陰で見つめているだけ。時々、声をかけられるが、動かない私をあきらめて、自分たちだけで遊ぶ。毎日、海などに出かけるが、私が付き合ったのは一回だけ。

いろいろと私に注文を出すのが、自分たちでやってみよ、というのが私の対応の基本。もっとも、このやり方は、私自身の子育ての時からだが。

最近の子どもたちは、過剰に世話されていると思う。大学生を見ている、それを感じる。大人が何かしてくれるのを待っている。自分でやり出さなくてはならないとなると、抵抗を感じるようだ。そんな中、受身性が増している。大人が世話をすればするほど、子どもの成長が遅れ、消極的になるという悪循環を断ち切りたいもの

だ。

子どもの自立より親の自立が焦点となる事態がとても多いのだ。40代からの人生後半期の生き方創造という私の問題提起は、こうした性格をもっている。

そしてまた、孫を甘やかす祖父母の問題も、実は祖父母自身の「自立」問題でもある。つまりは生きがいを持った自立的生き方、そして適切な世話要求ができる高齢者へと成長していく必要がある。



3世代7人で絵を描く

8月16日



昨日からお絵かきがブームになる。大きな模造紙に描く。時に、リレーお絵かきにするこも。

シーサー会話 一対のシーサーを使って

8月15日

「どうして、お前の口は開いているんだい」

「お前の口は、横側があいているぞ」

「よだれをたらすためだ。お前のヒゲは長いな」

といった具合に、孫と恵美子がお話。

盛り上がる。交替で、シーサーをもってお話。

前回のお手玉は、息子の発案。これは恵美子の発案。

私は、みて楽しむ役目



お盆のお祈り

8月15日

息子家族が来ているので、月遅れ盆でお祈りをする。

この近辺は旧盆がふつうだが。



手のひらにお手玉が何個載せられるかな

8月14日

8個、9個、10個、11個、落ちた・・・

と、孫たちはブームだ。

恵美子が教えたゲーム。

手のひらだけでなく、反対側にも挑戦。

この三日間、テレビなし、ゲーム機もほとんどなしで遊んでい

る孫たち。

踊る亀

8月13日

孫たちは美ら海水族館に行ってきた。

帰ってきてお絵かき大会

